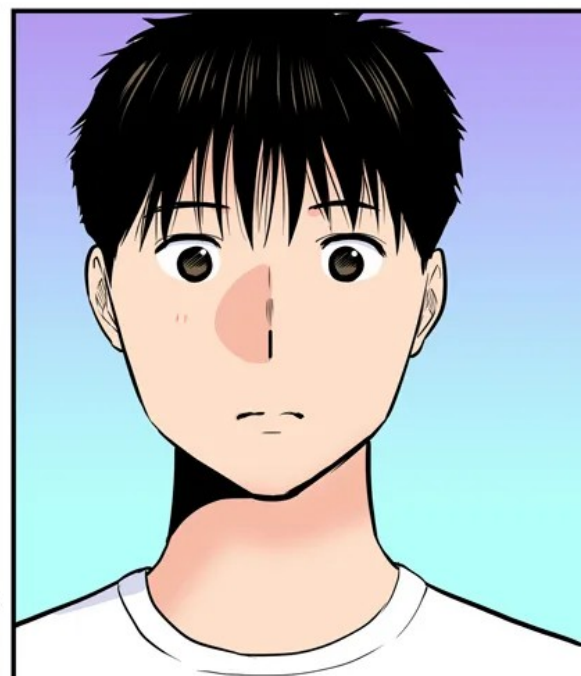
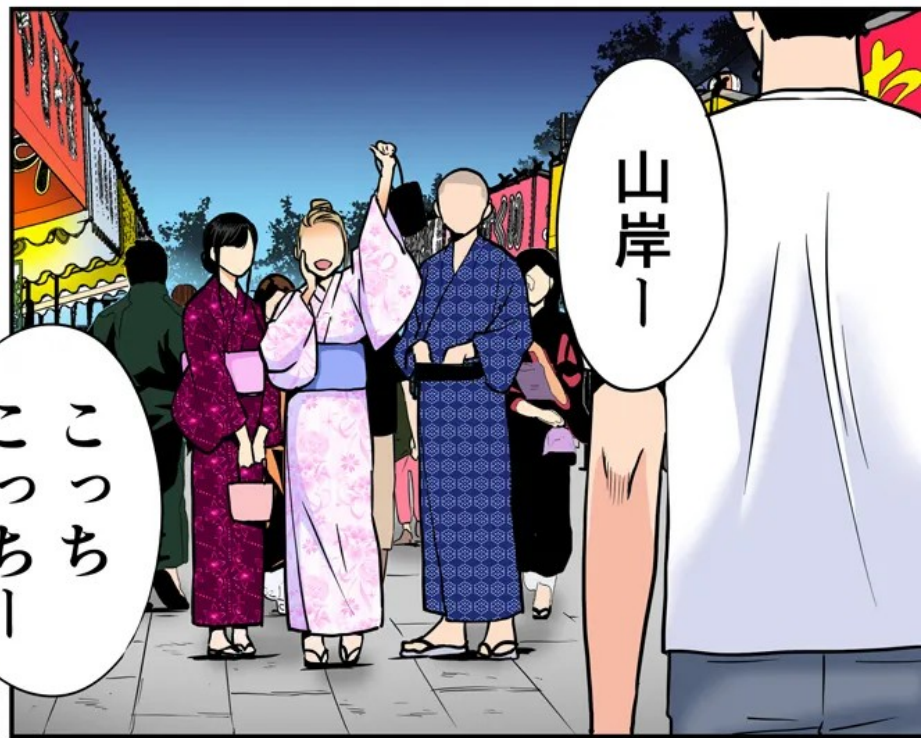
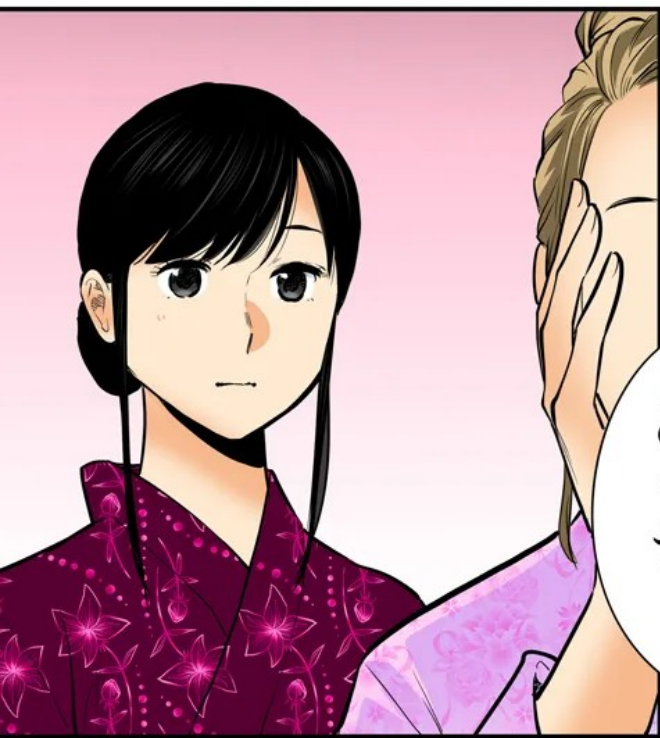


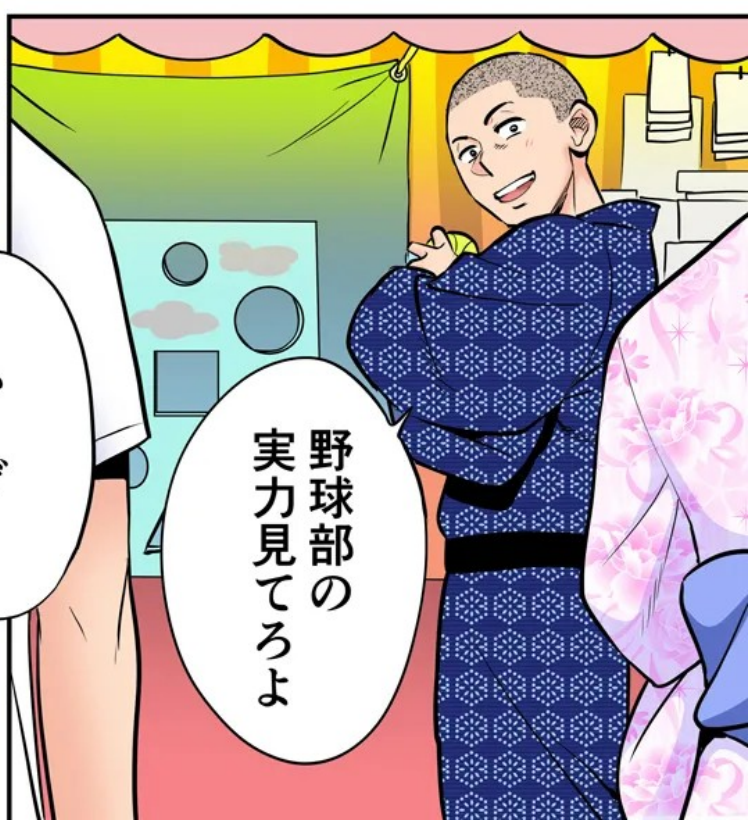
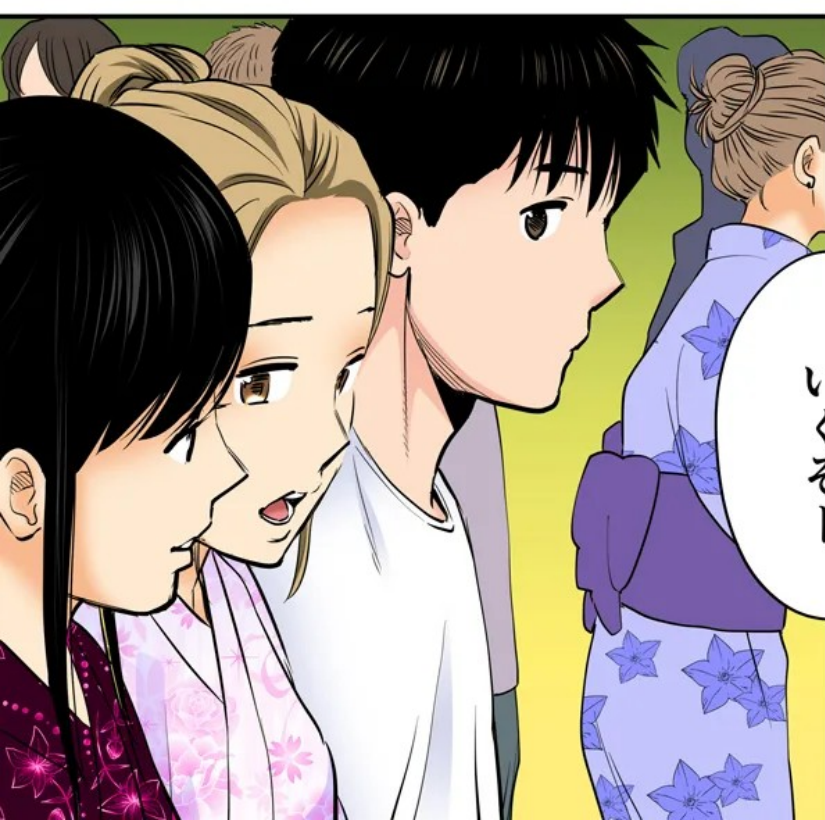
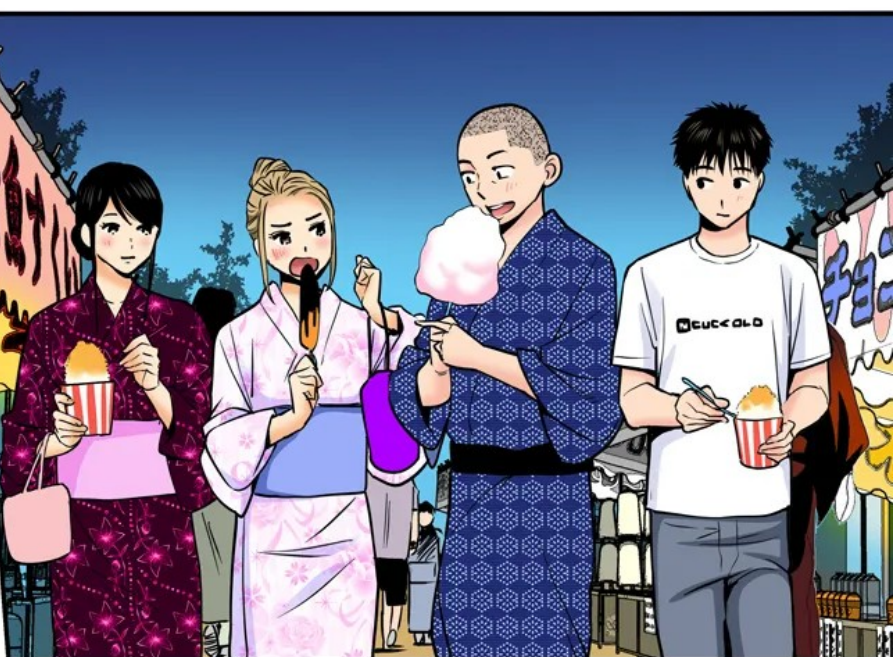


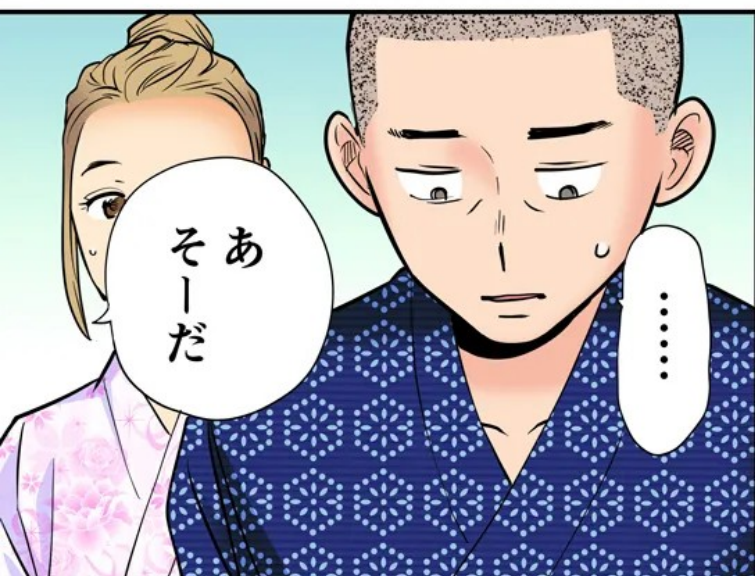
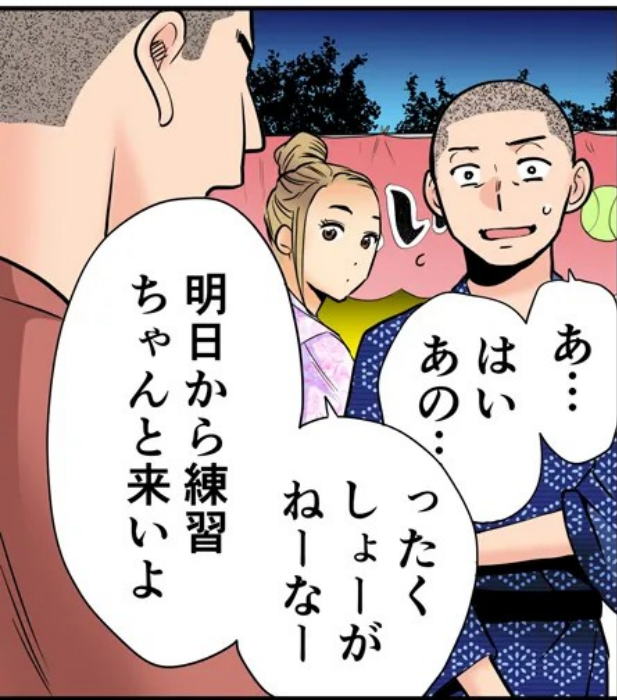
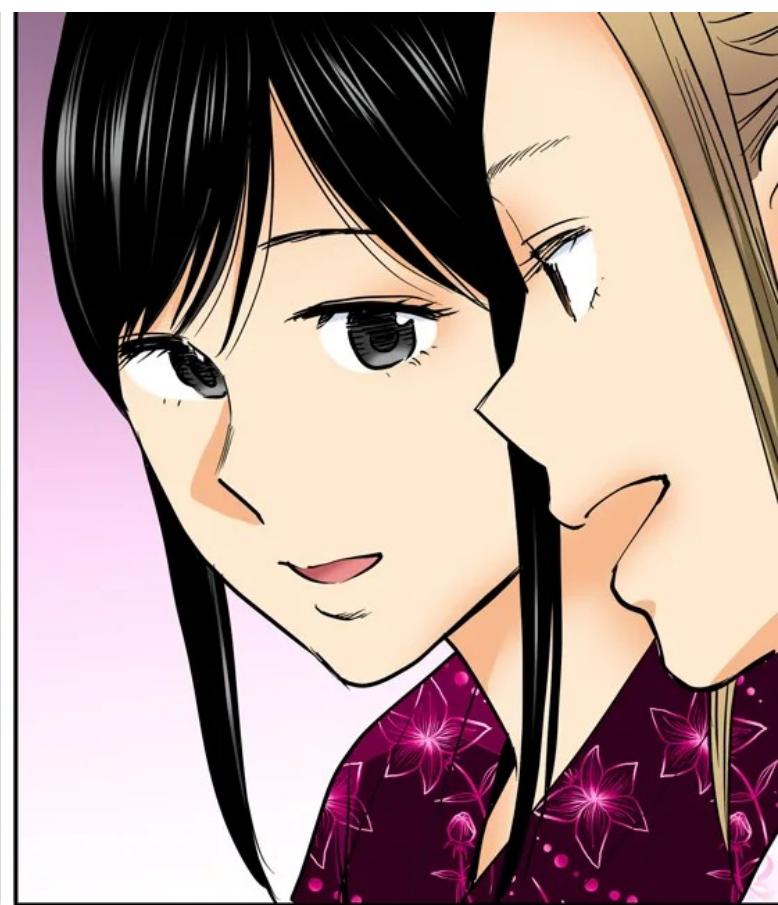
カラ
ニ
ざ
か
り

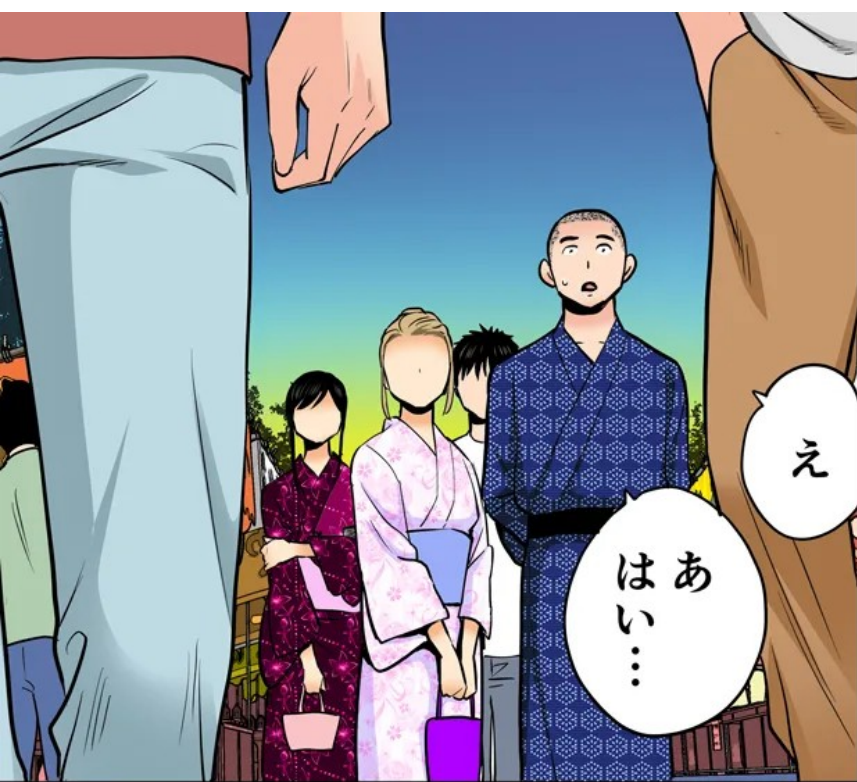
vol.2
後編











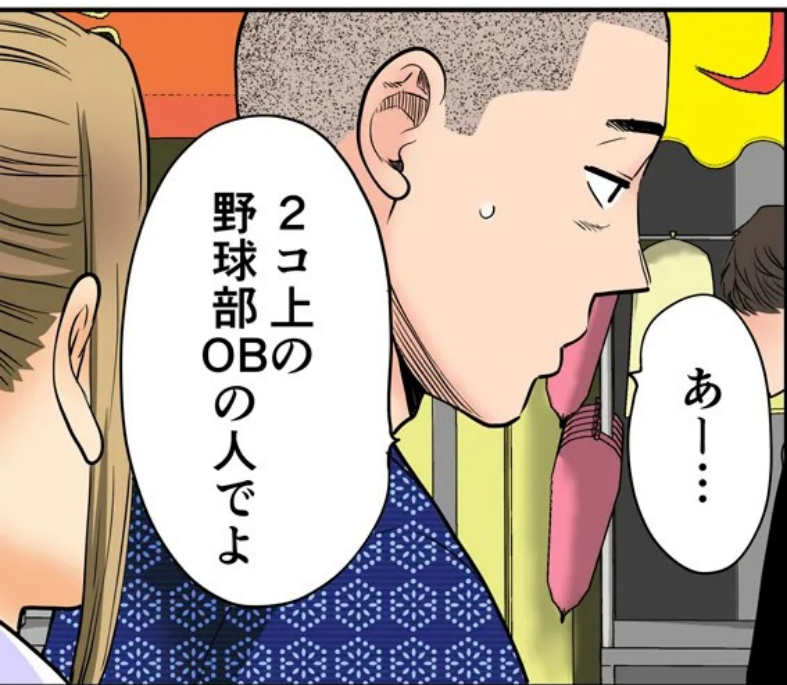
え

あ
はい…



さっき木戸先輩
見かけたから

なんつーか…
気をつけろよ



2ユ上の
野球部OBの人だよ

あ…



なんなの
木戸先輩って

…ね
なに?



あー
てゆうか
明日から練習だよー

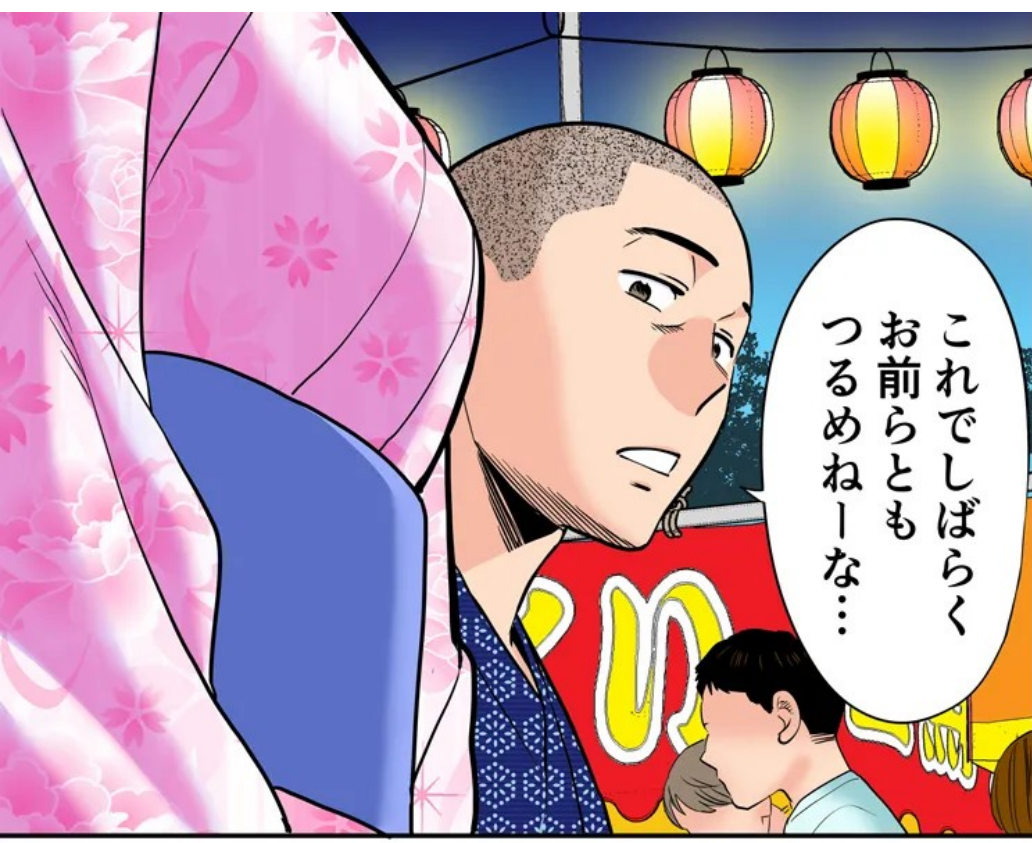
うあー
地獄だ



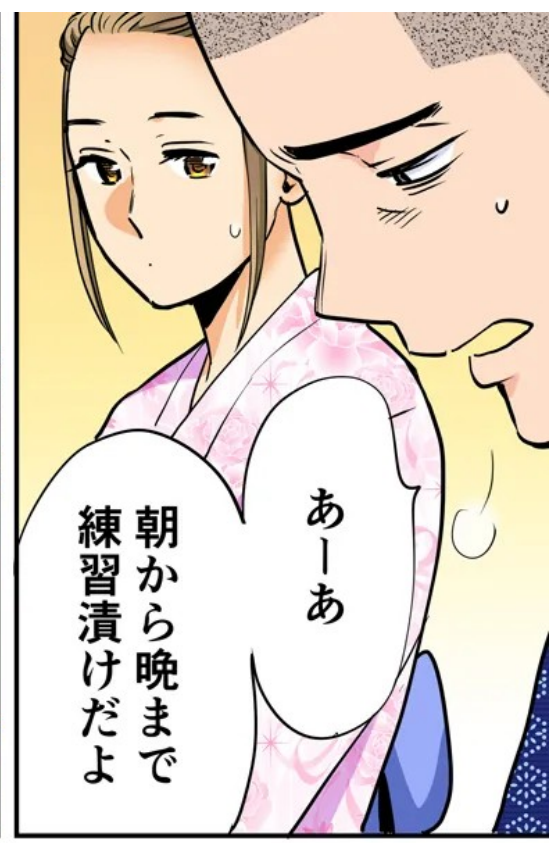
あんま
関わんねーほうが
いいっていう
話になっててさ…

なんか
ヤベー人らと
つるんでる
らしくて

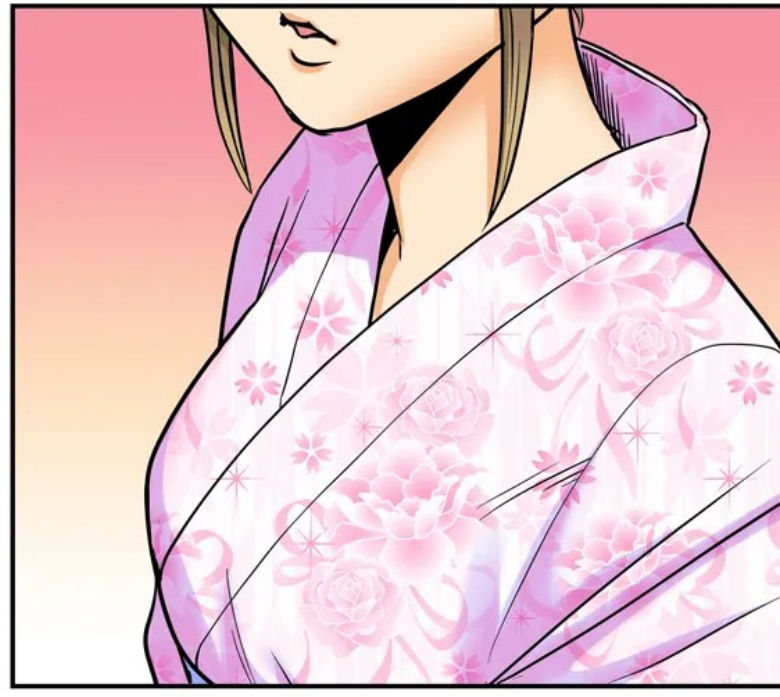
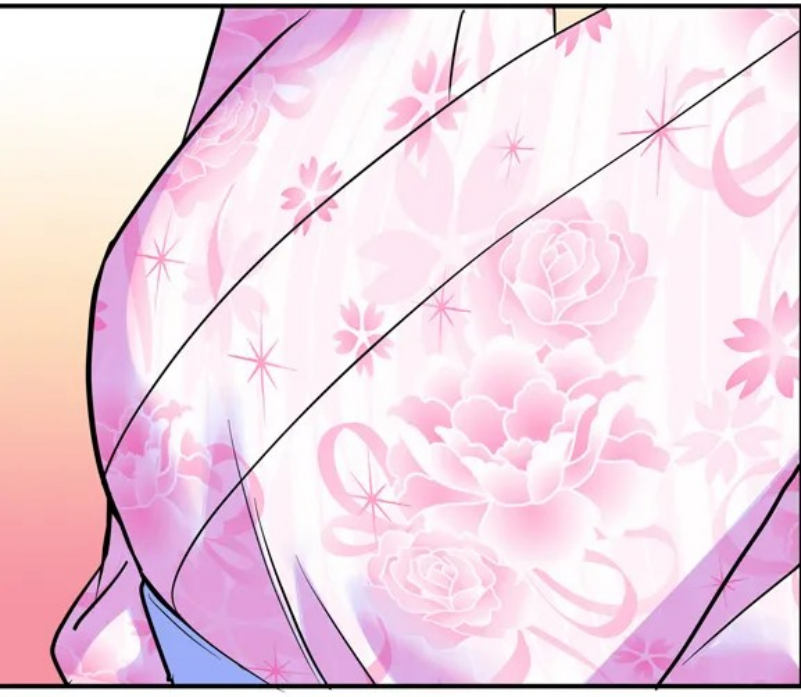
QUELO



これでしばらく
お前らとも
つるめねーな…

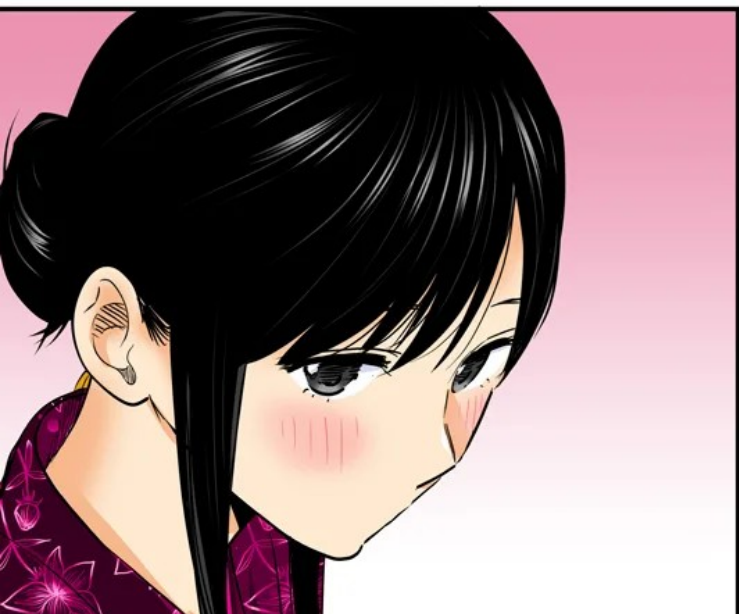
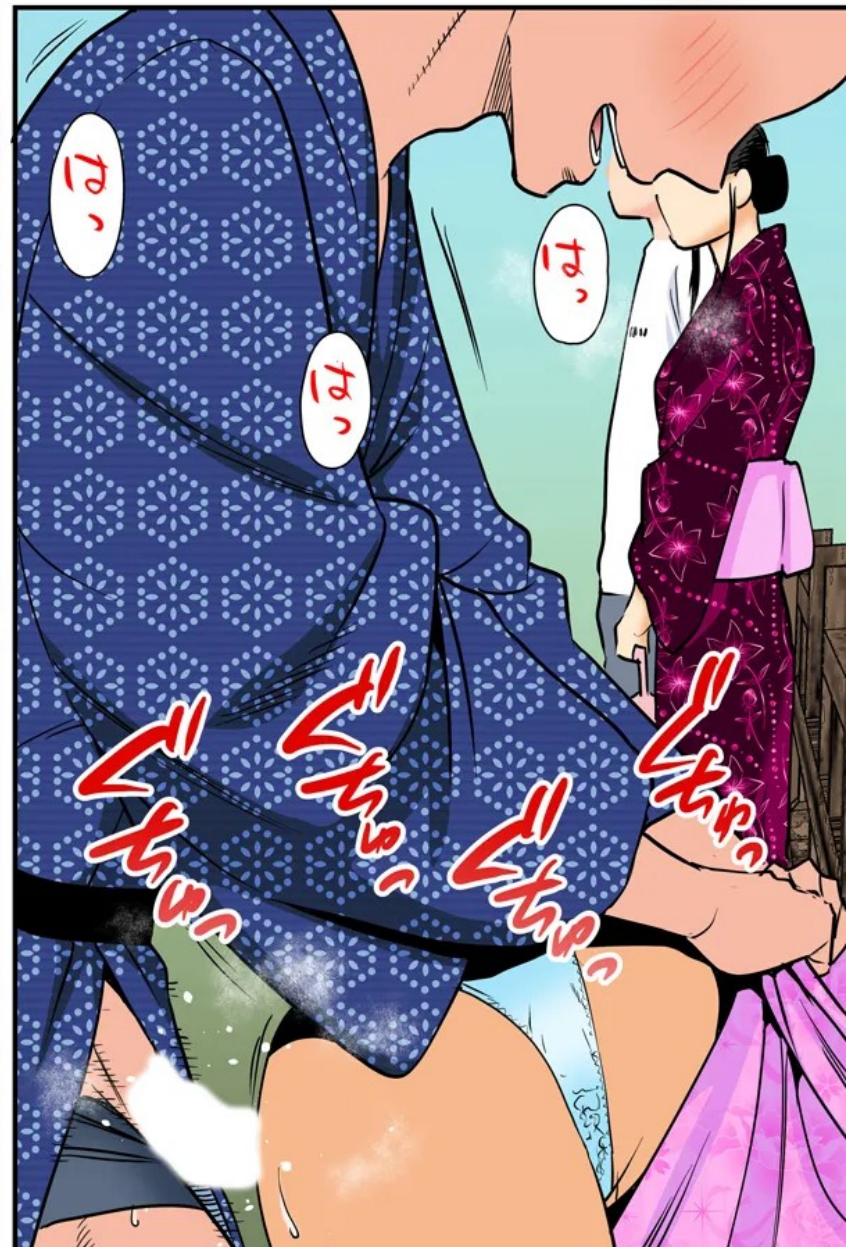
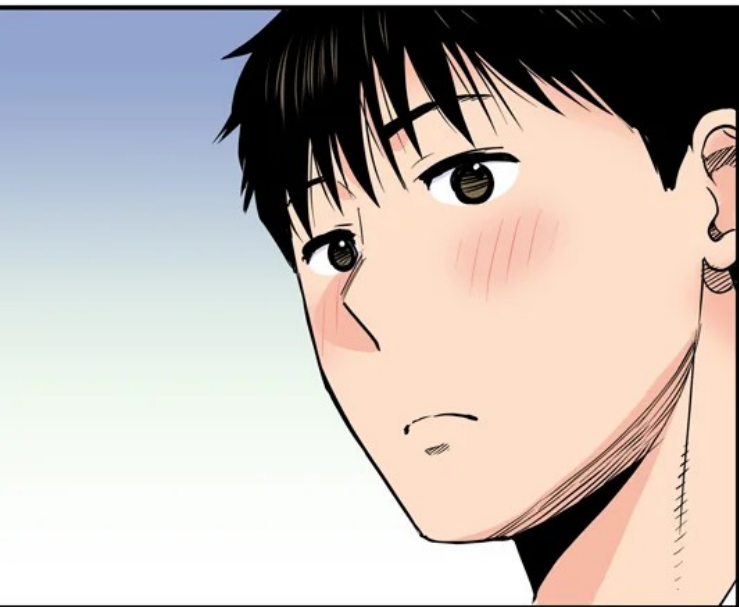
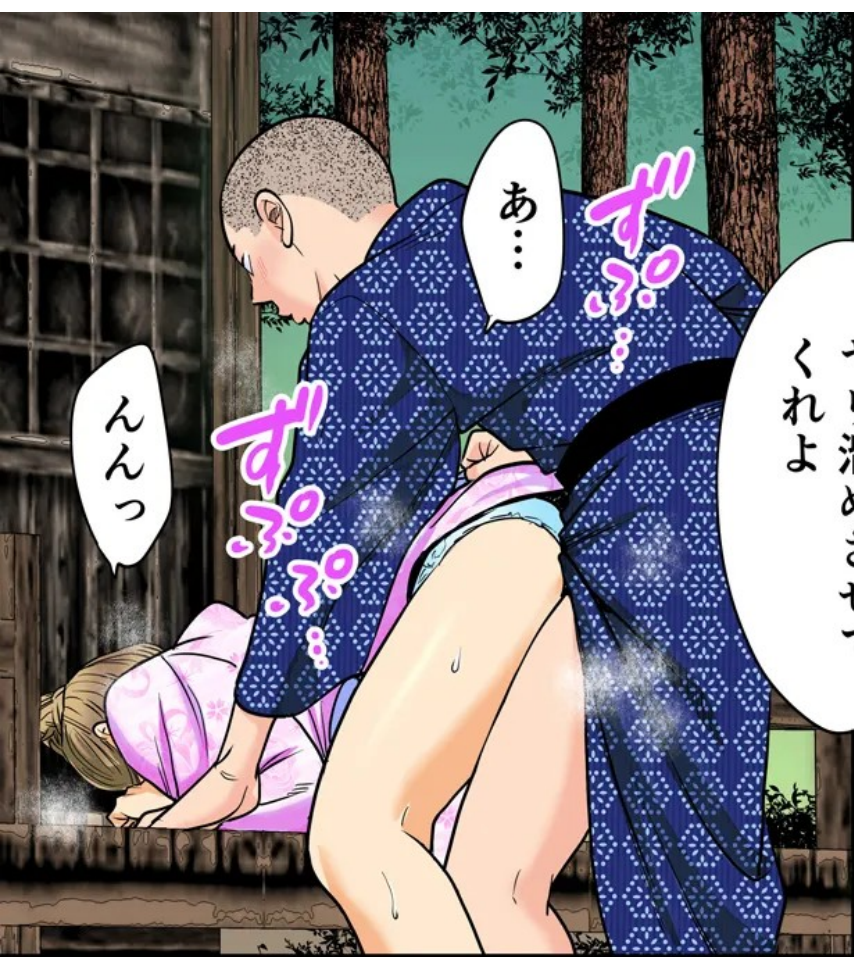


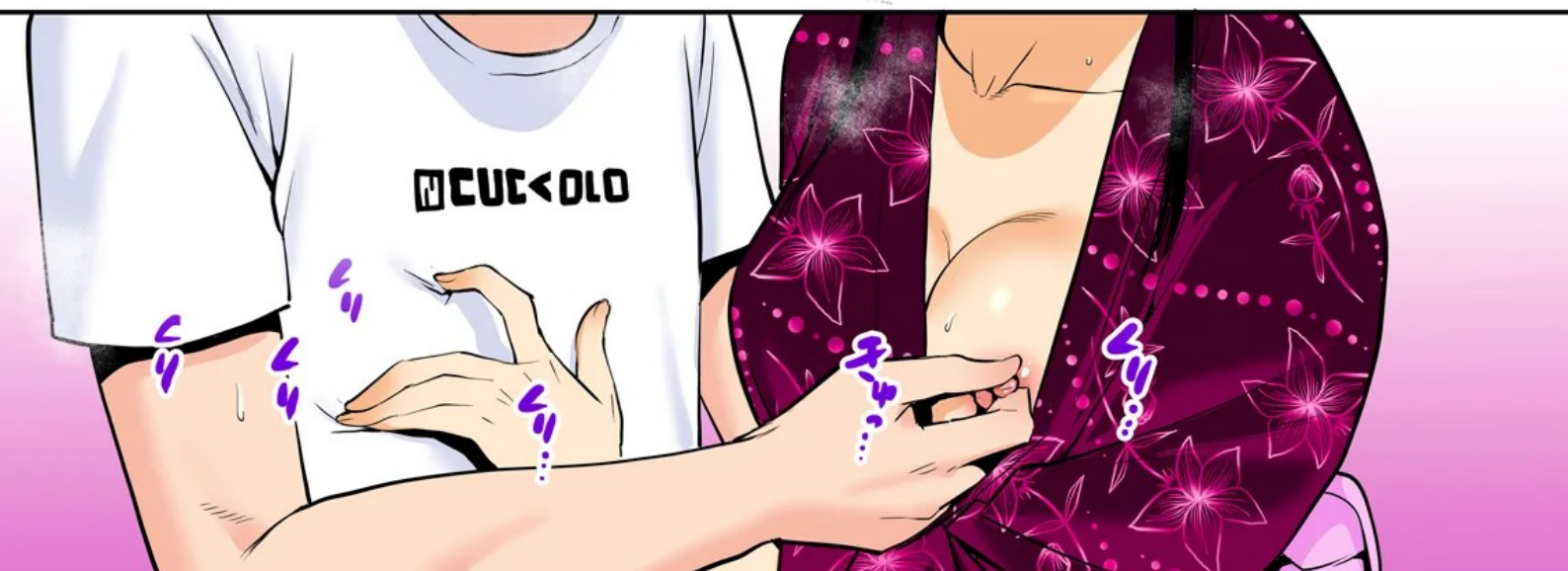
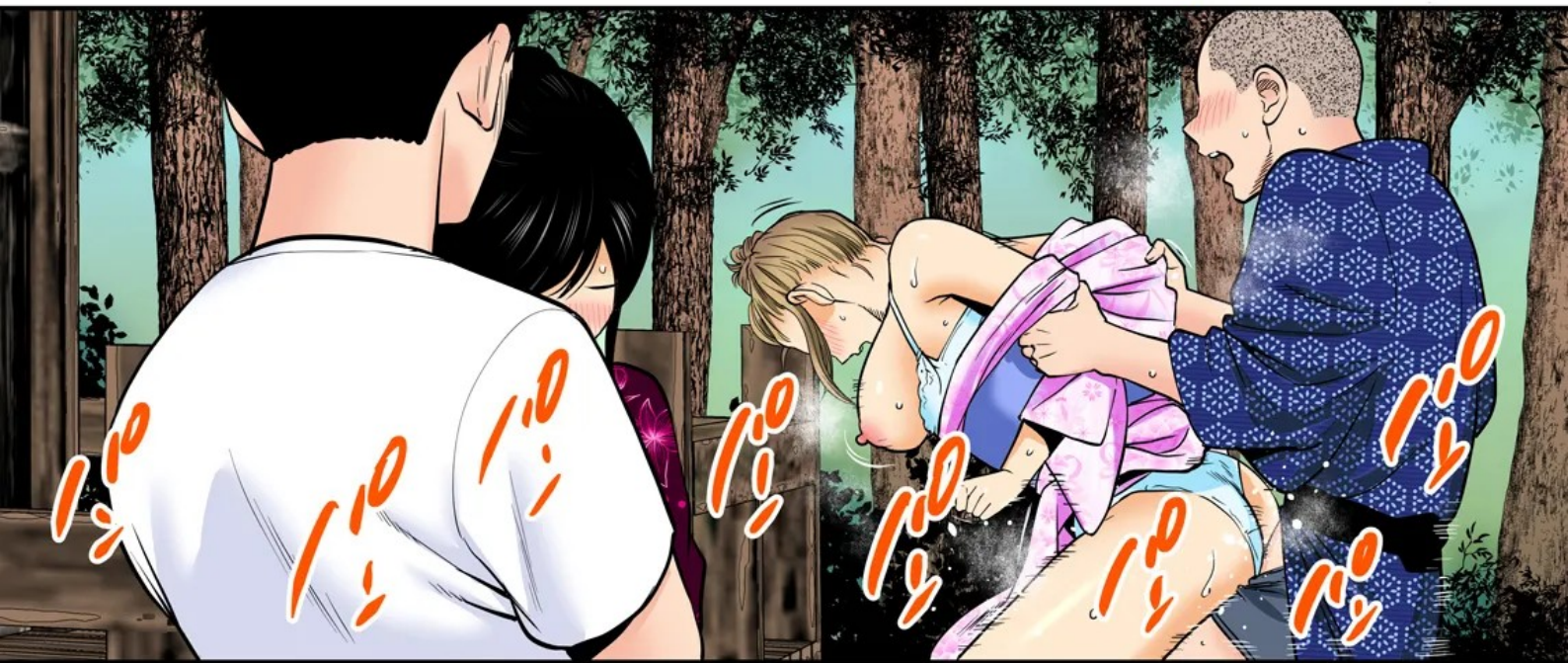
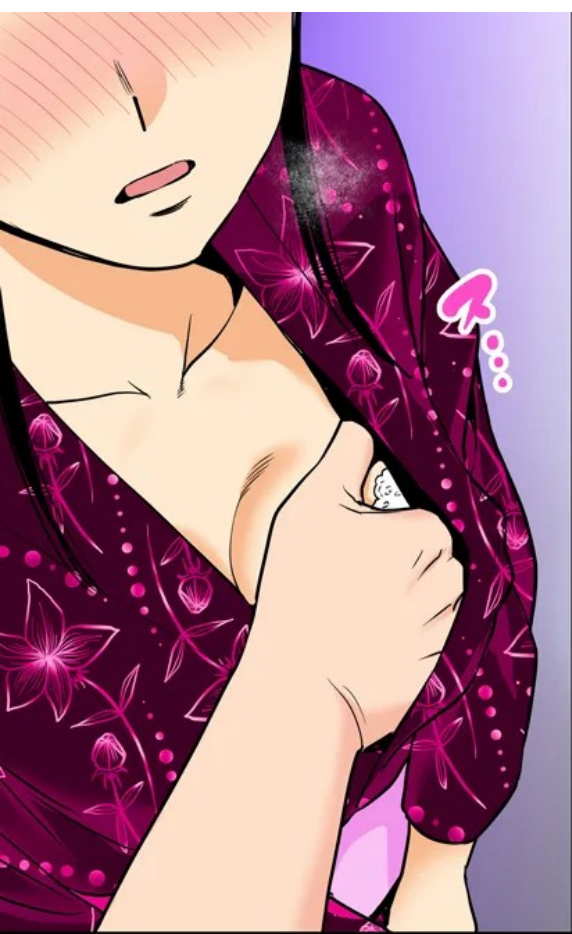
あーあ
朝から晩まで
練習漬けだよ

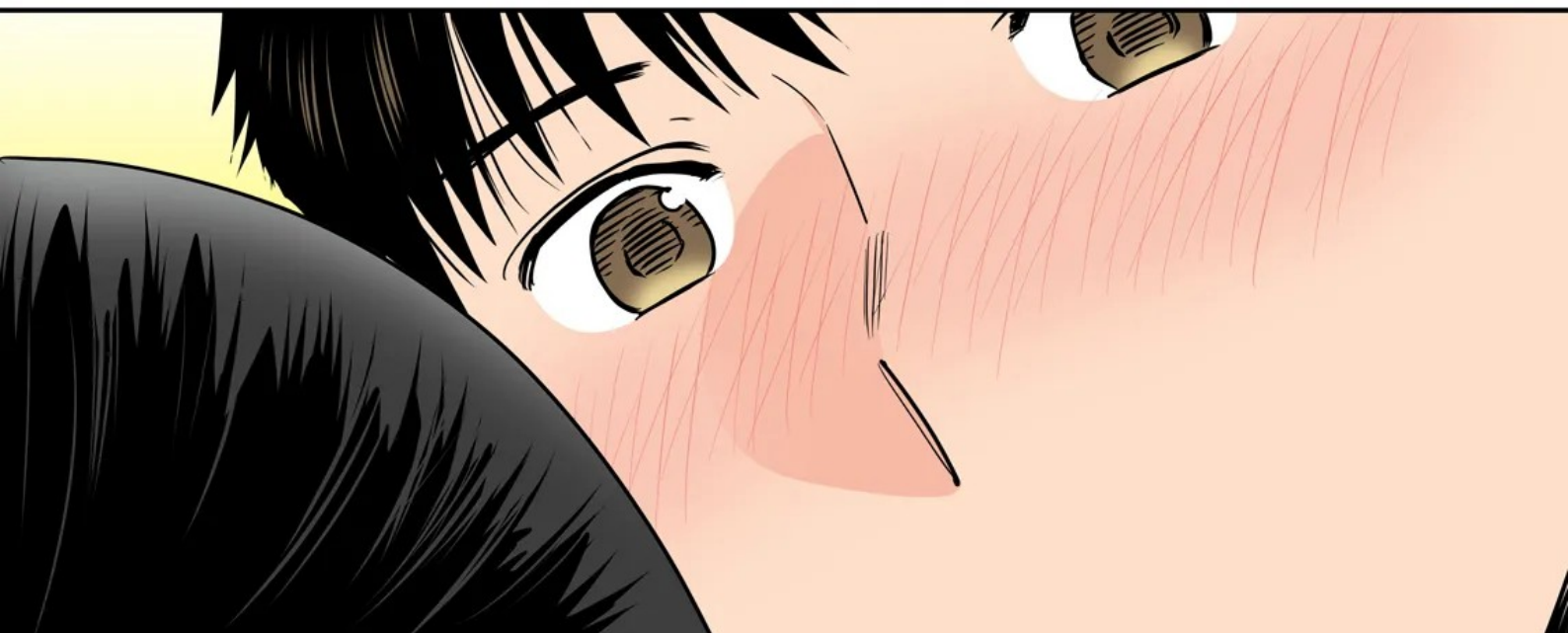
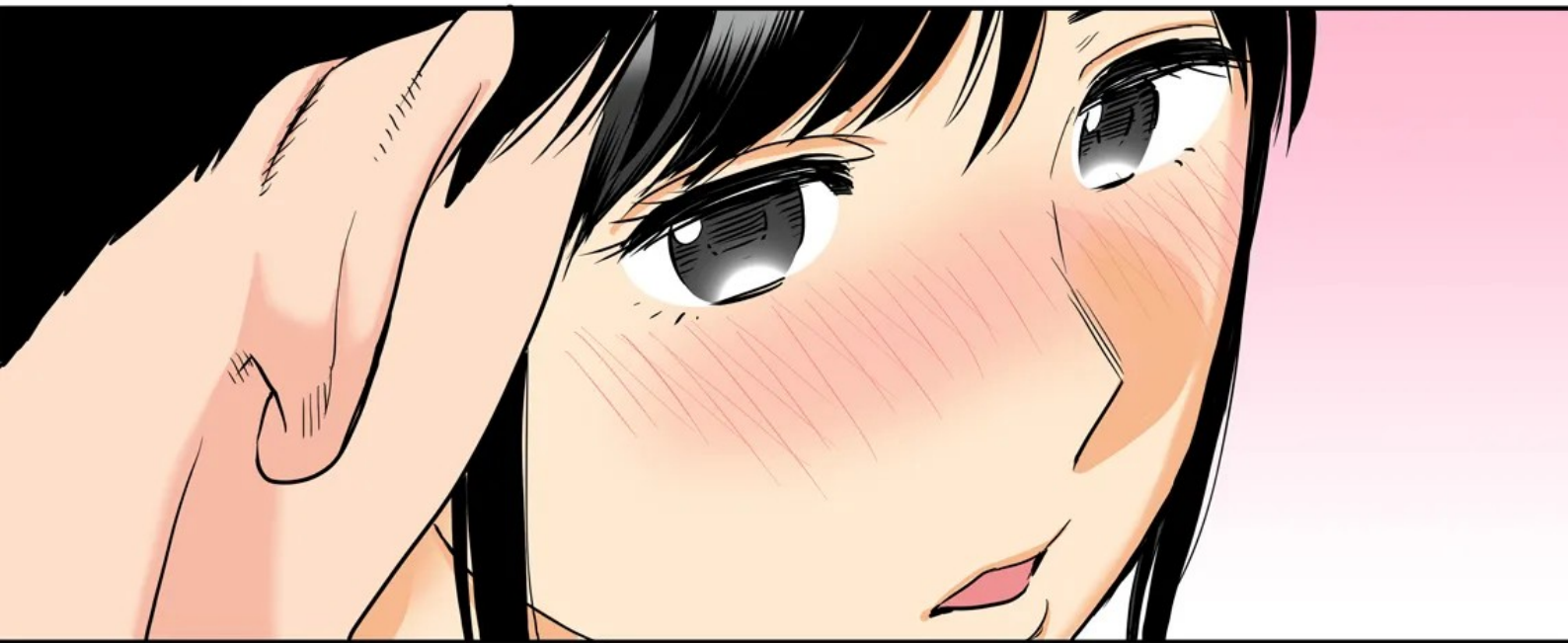


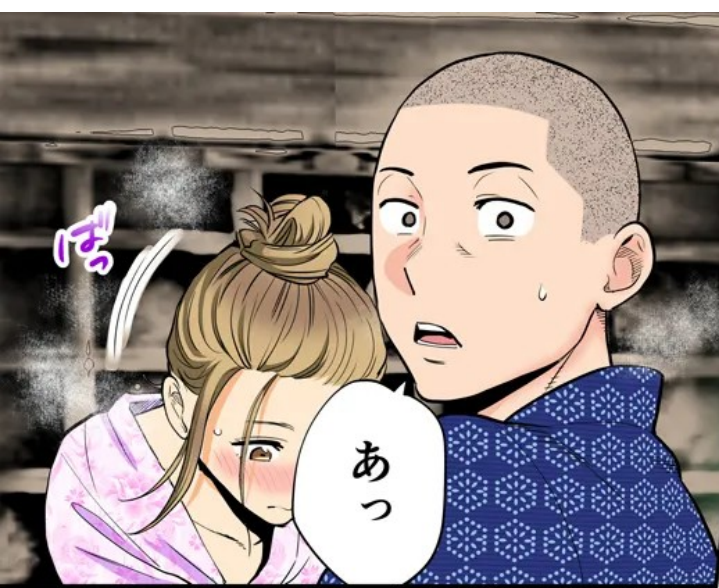
…なあ

…

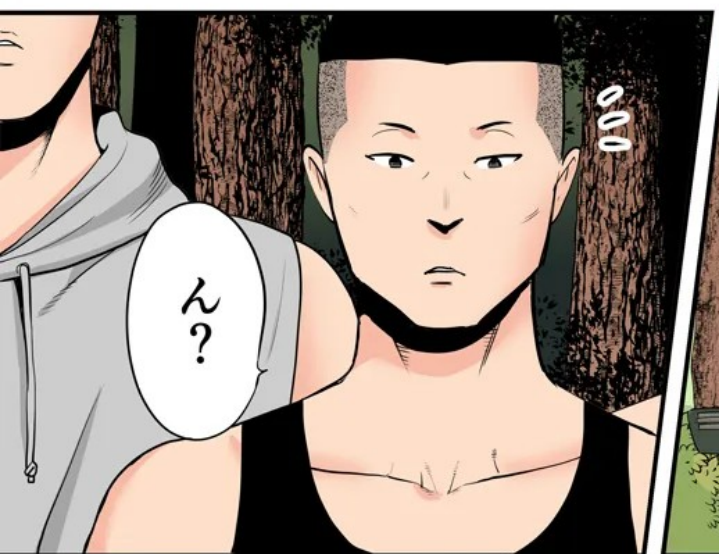




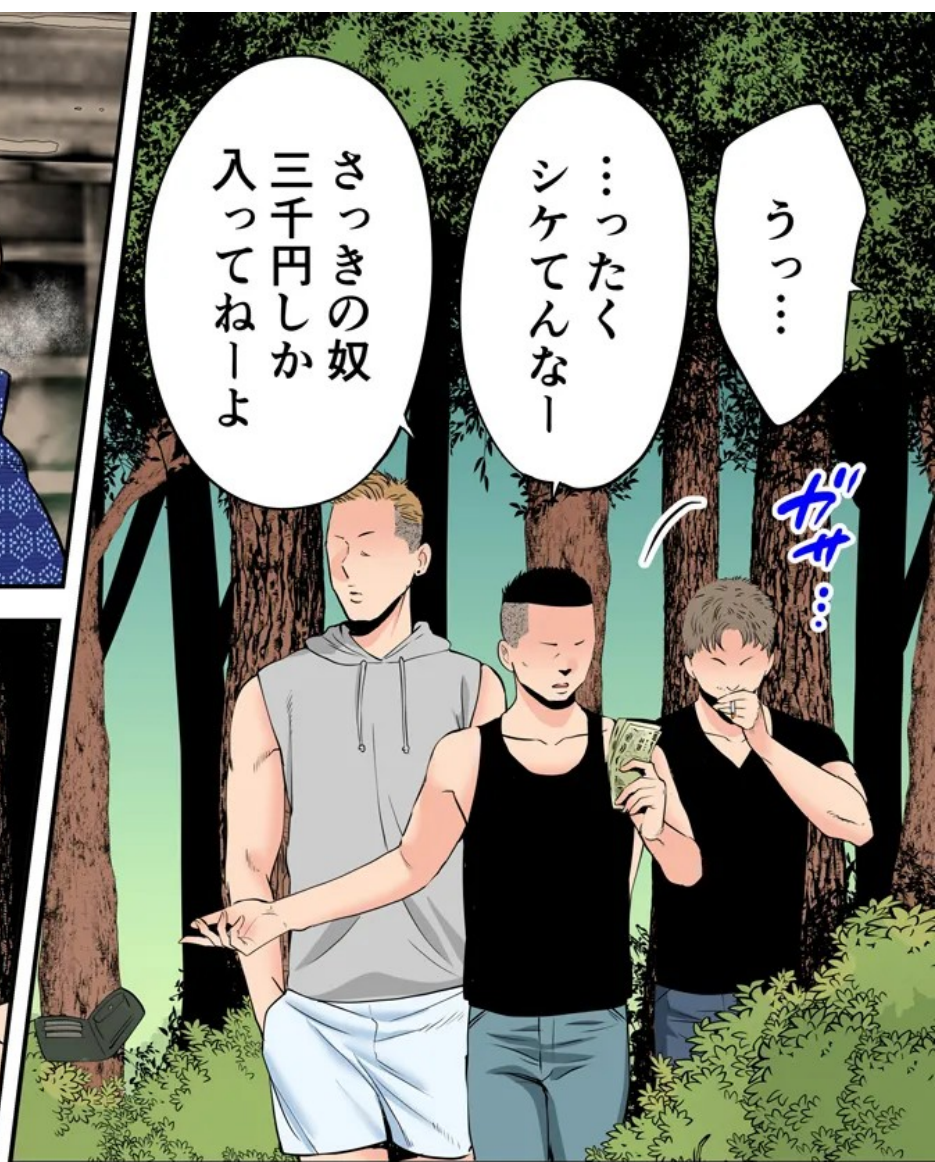




あっ



ん?



さっきの奴
三千円しか
入ってねーよ

…まったく
シケてんなー

うっ…

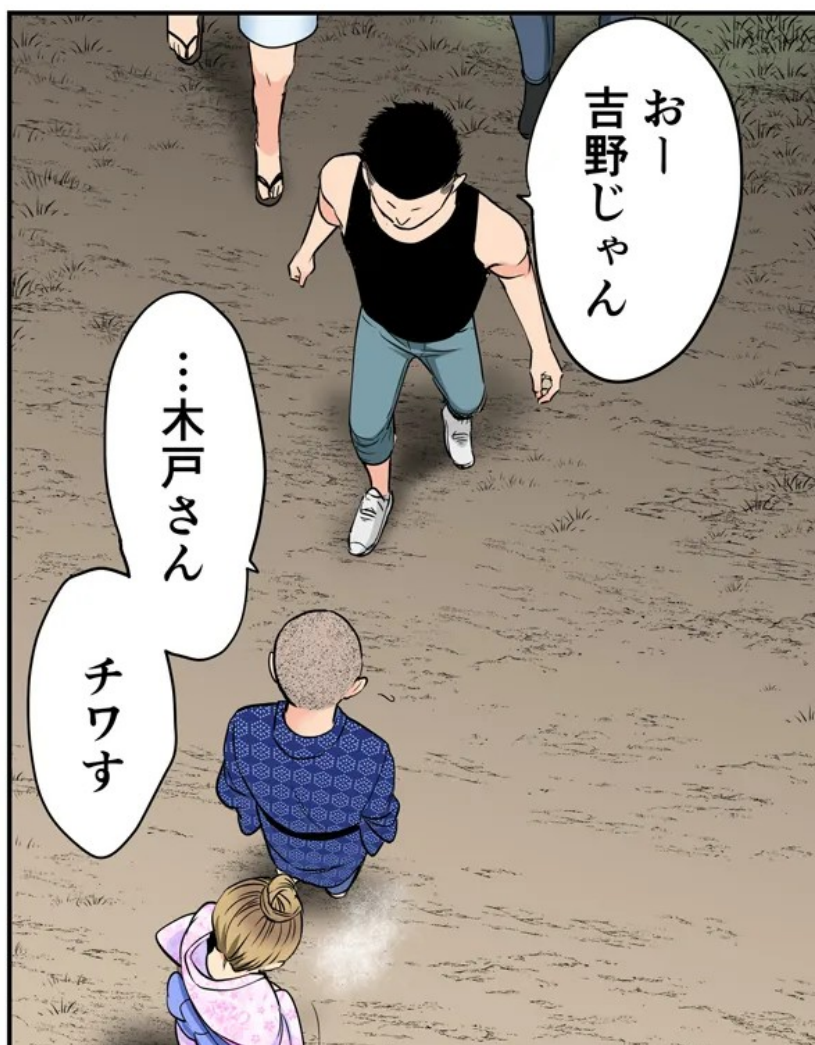
ガサ…



久しぶり
じゃんよー

元気
してたか

あ…はい



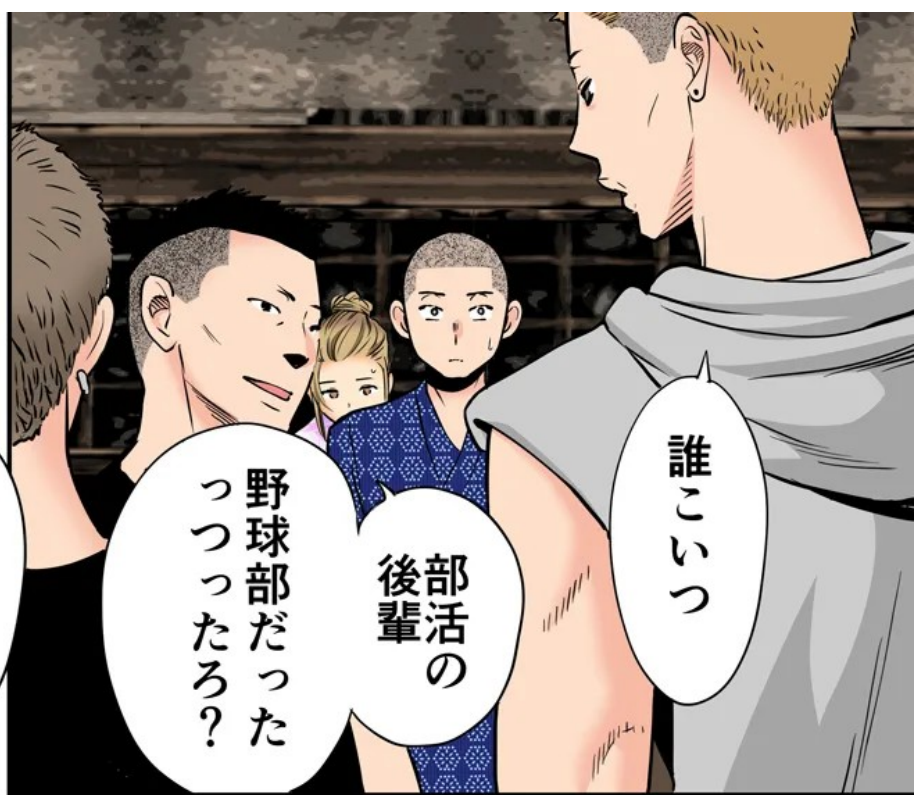
おー
吉野じゃん

…木戸さん

チワす



ふーん



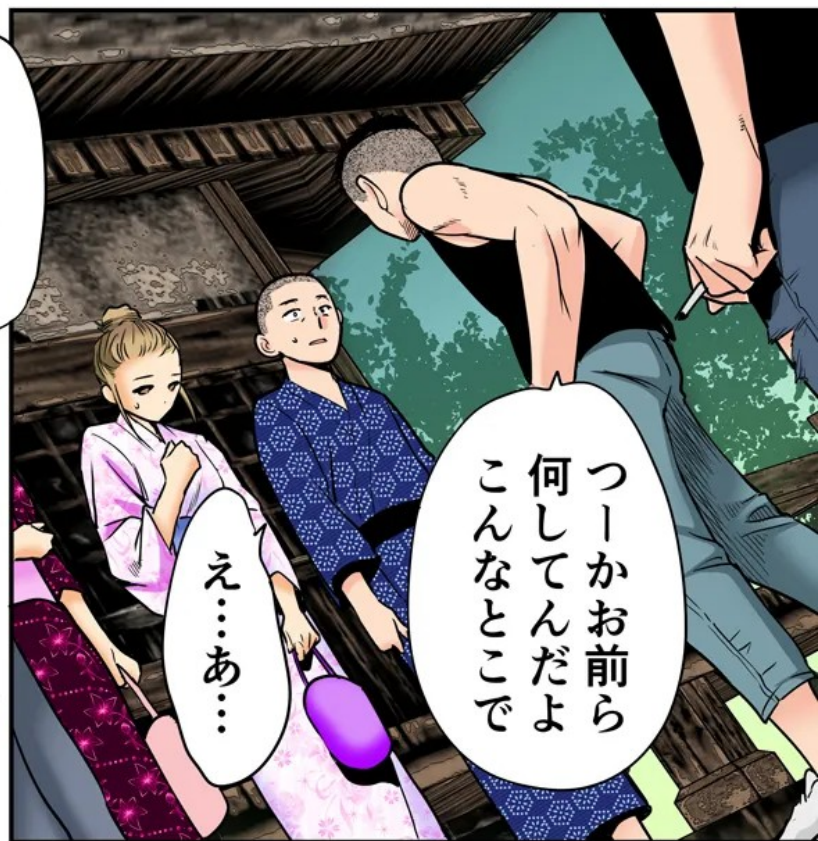
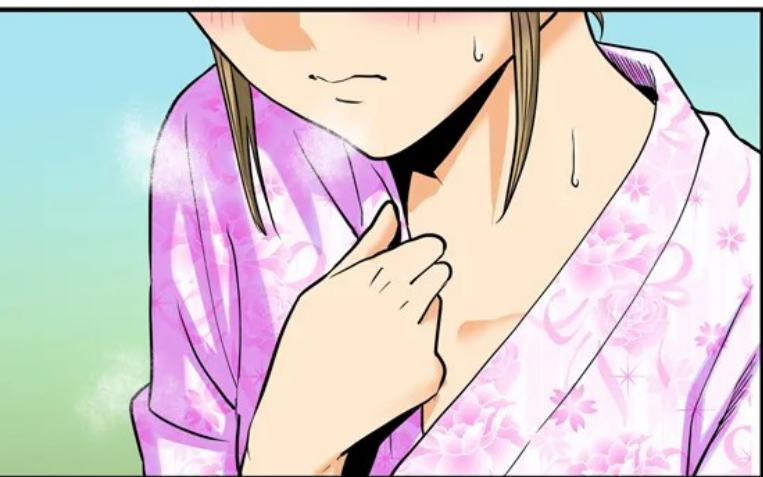
誰こいつ

部活の
後輩の

野球部だった
つつつたる？



いやその…



つーかお前ら
何してんだよ
こんなところで

え…あ…



おいおい
お前ら

もしかして
やってたんか
ここで

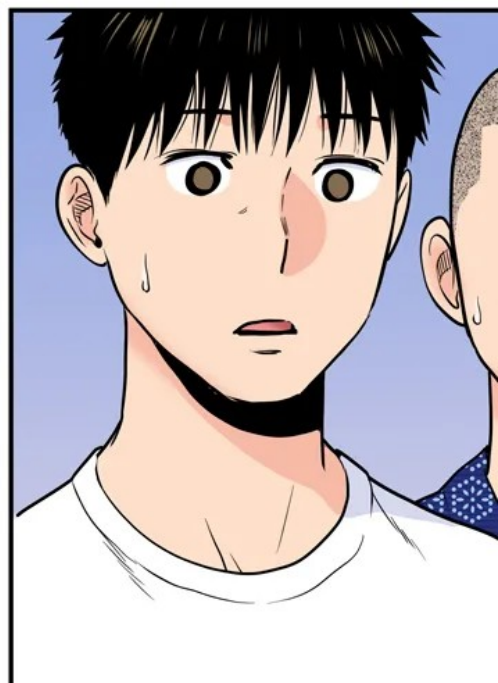
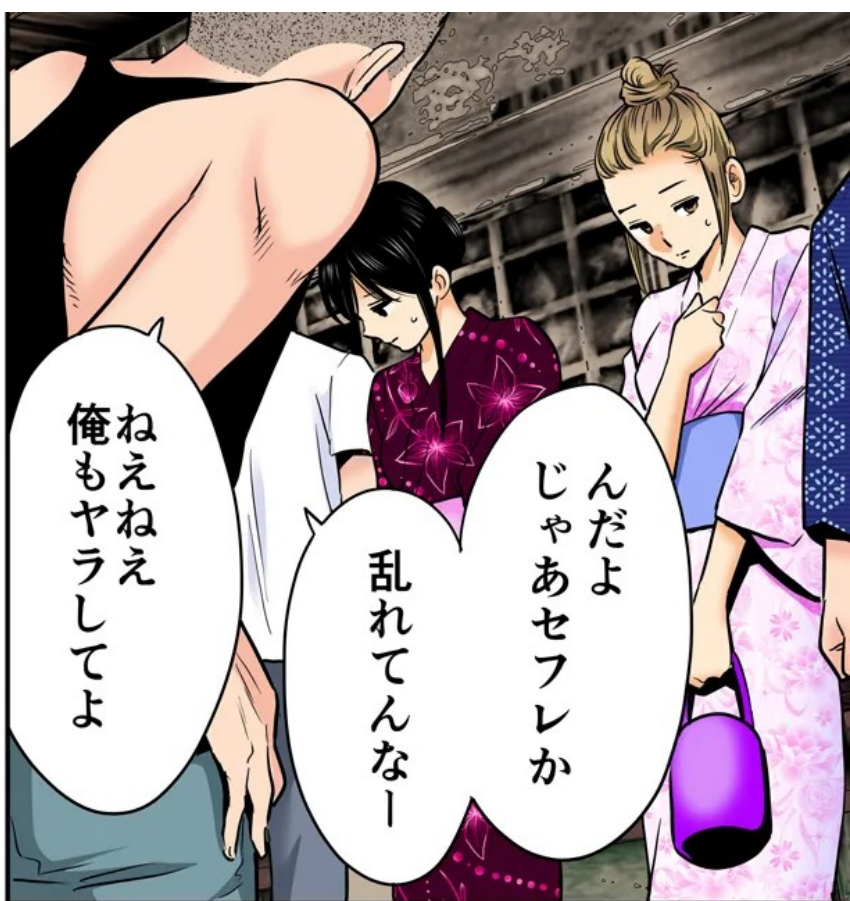
ああ？

えっ

いえあの…

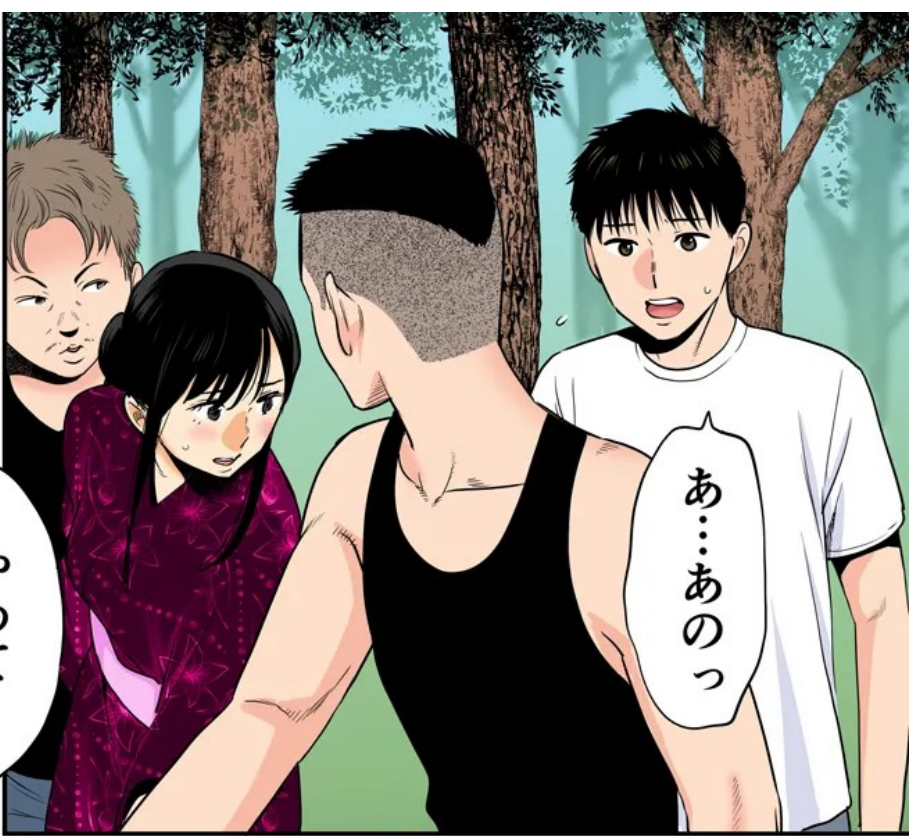
コイツ
お前の彼女か？

いや…えと
彼女とかじゃ
なくて…

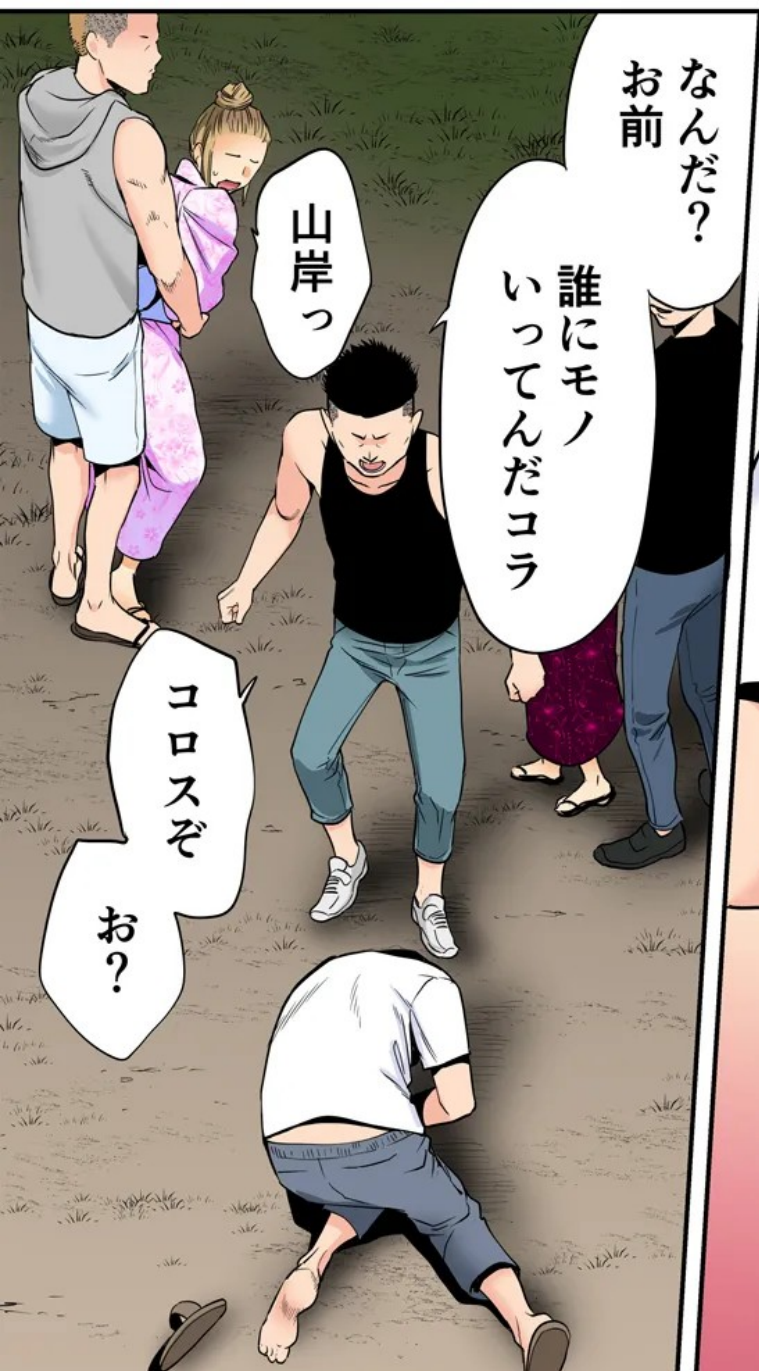




やめて
くださ...



あ...あのっ



なんだ?
お前

誰にモノ
いってんだコラ

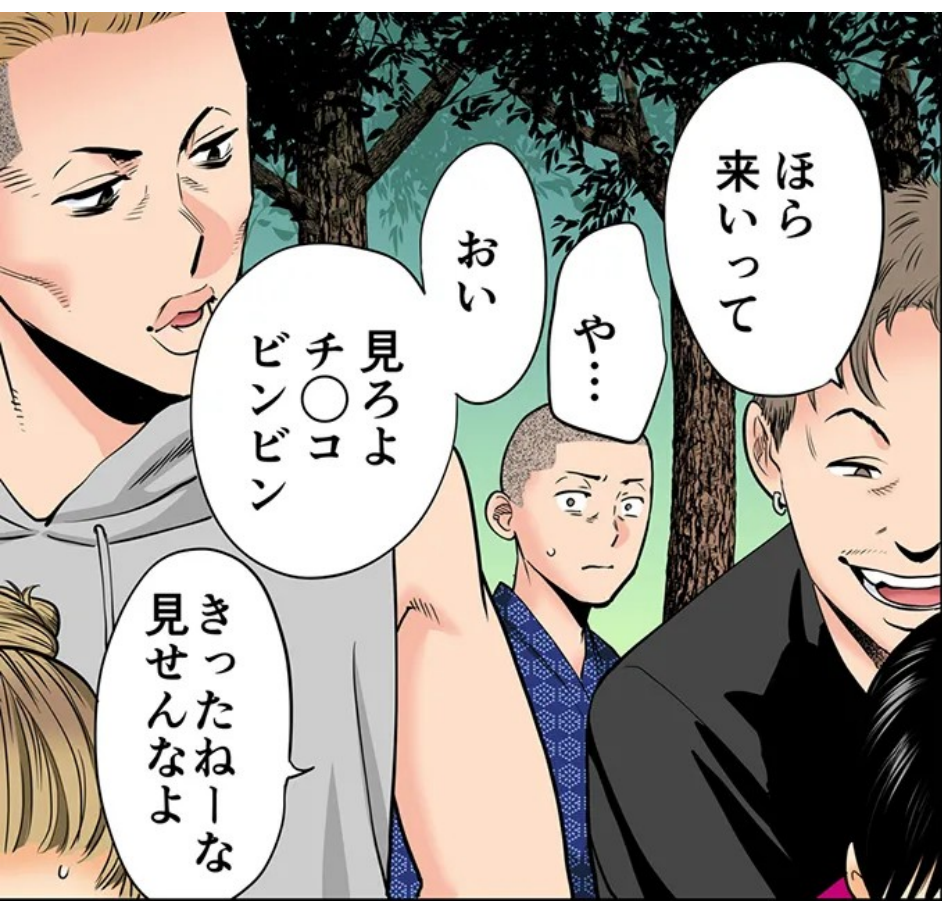
山岸っ

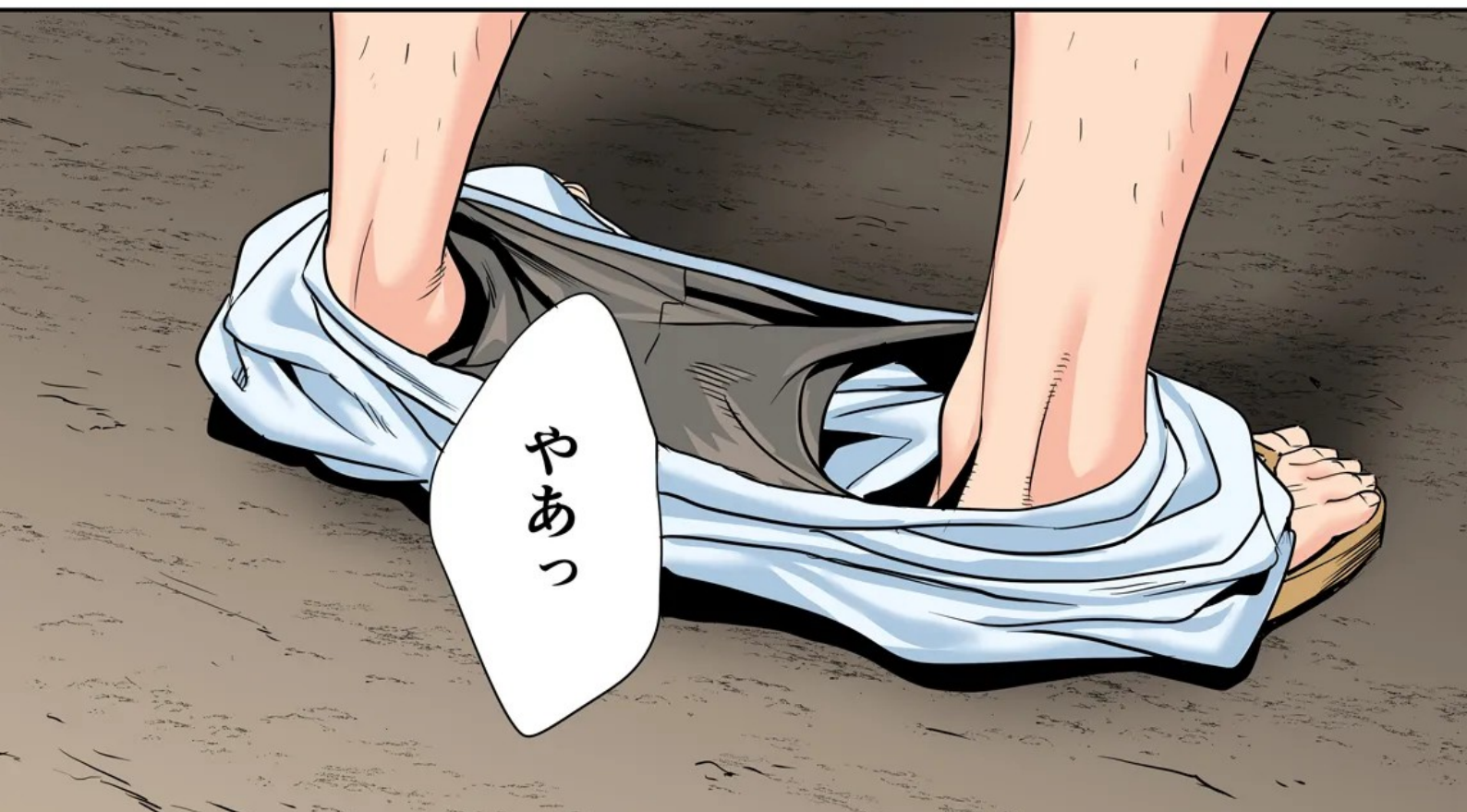
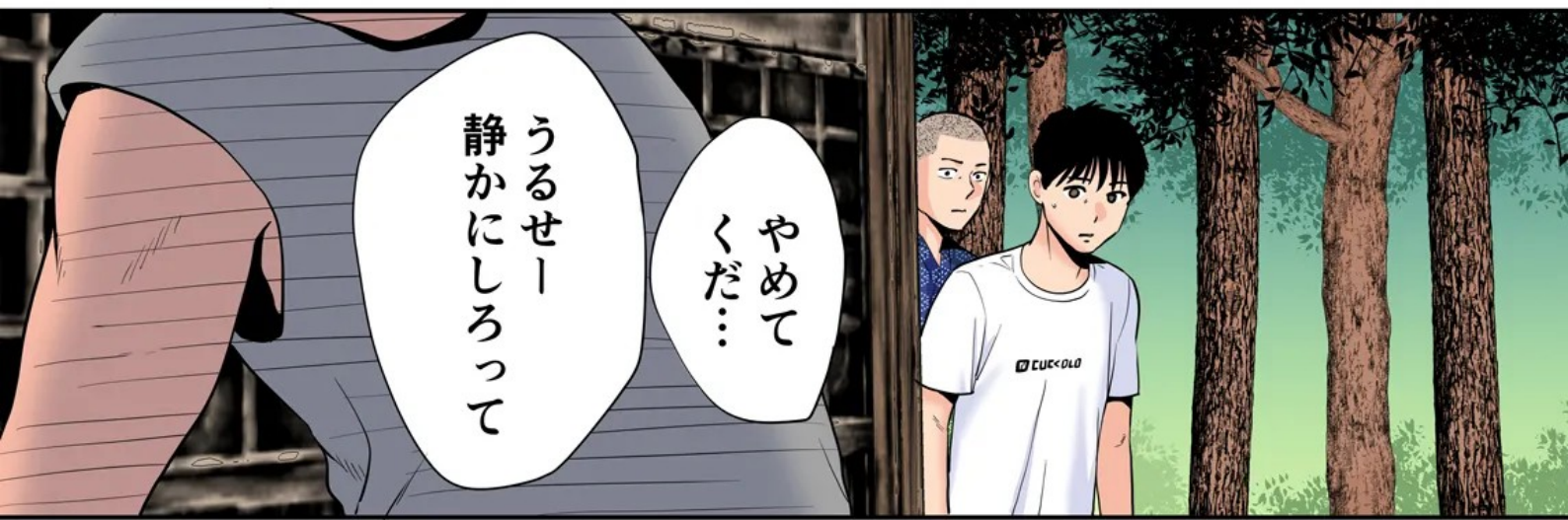
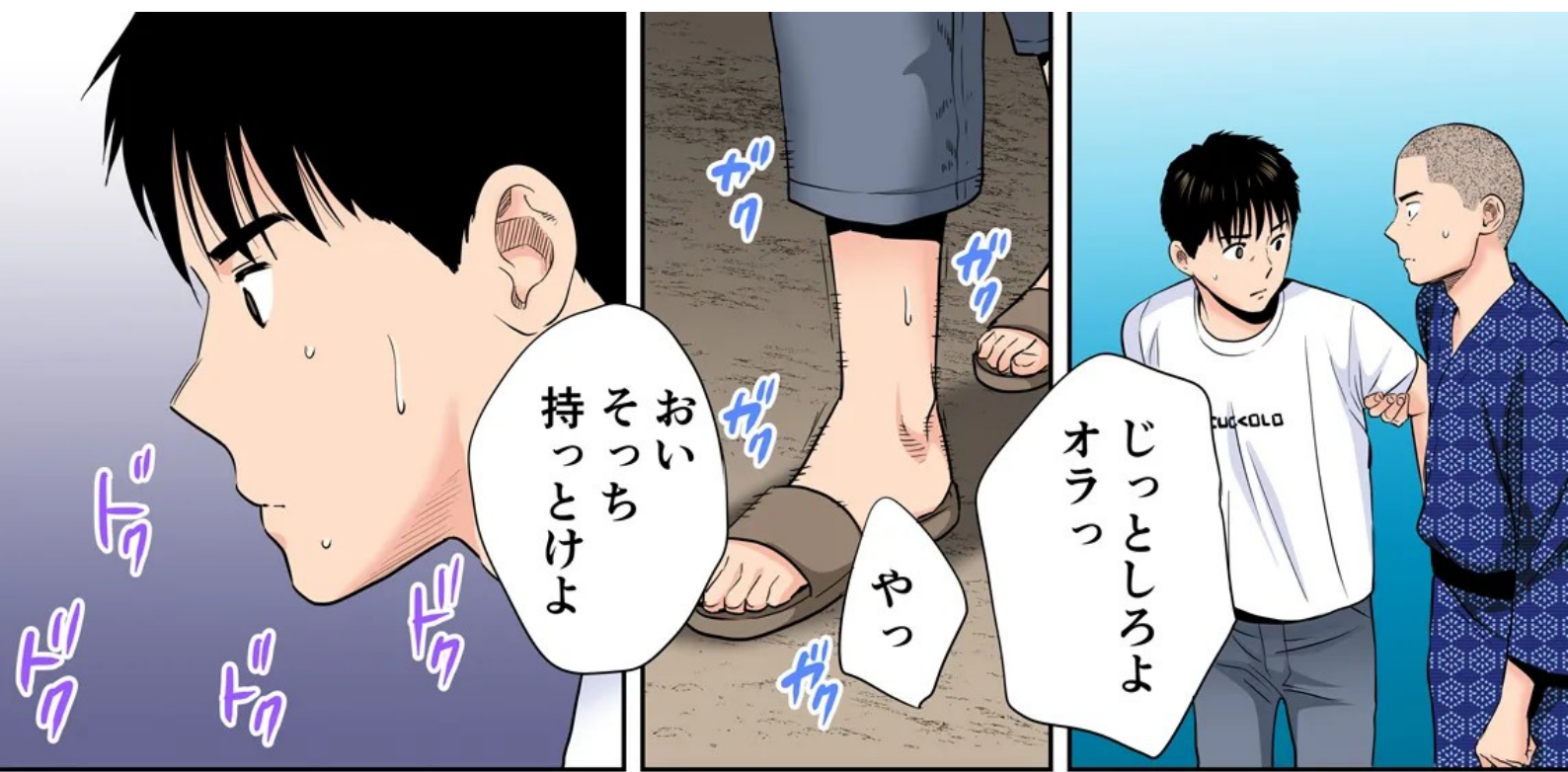
クロスぞ
お?

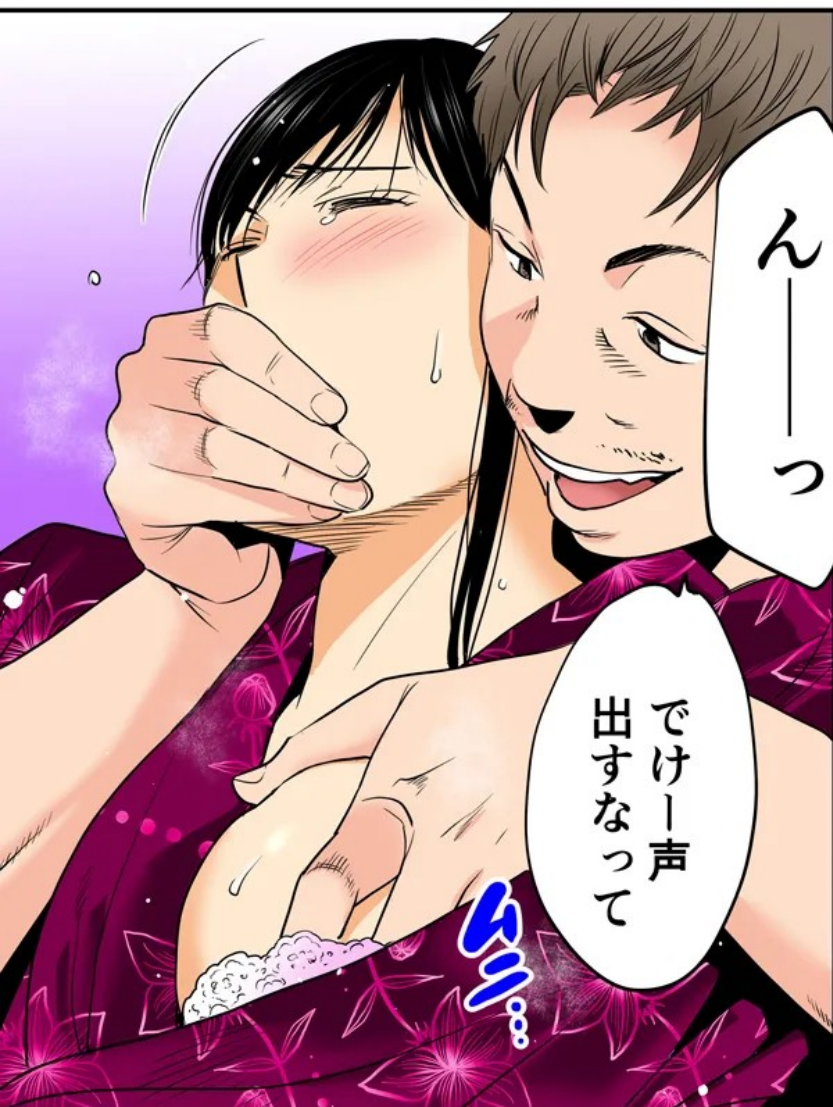


うっ

うっ
うっ







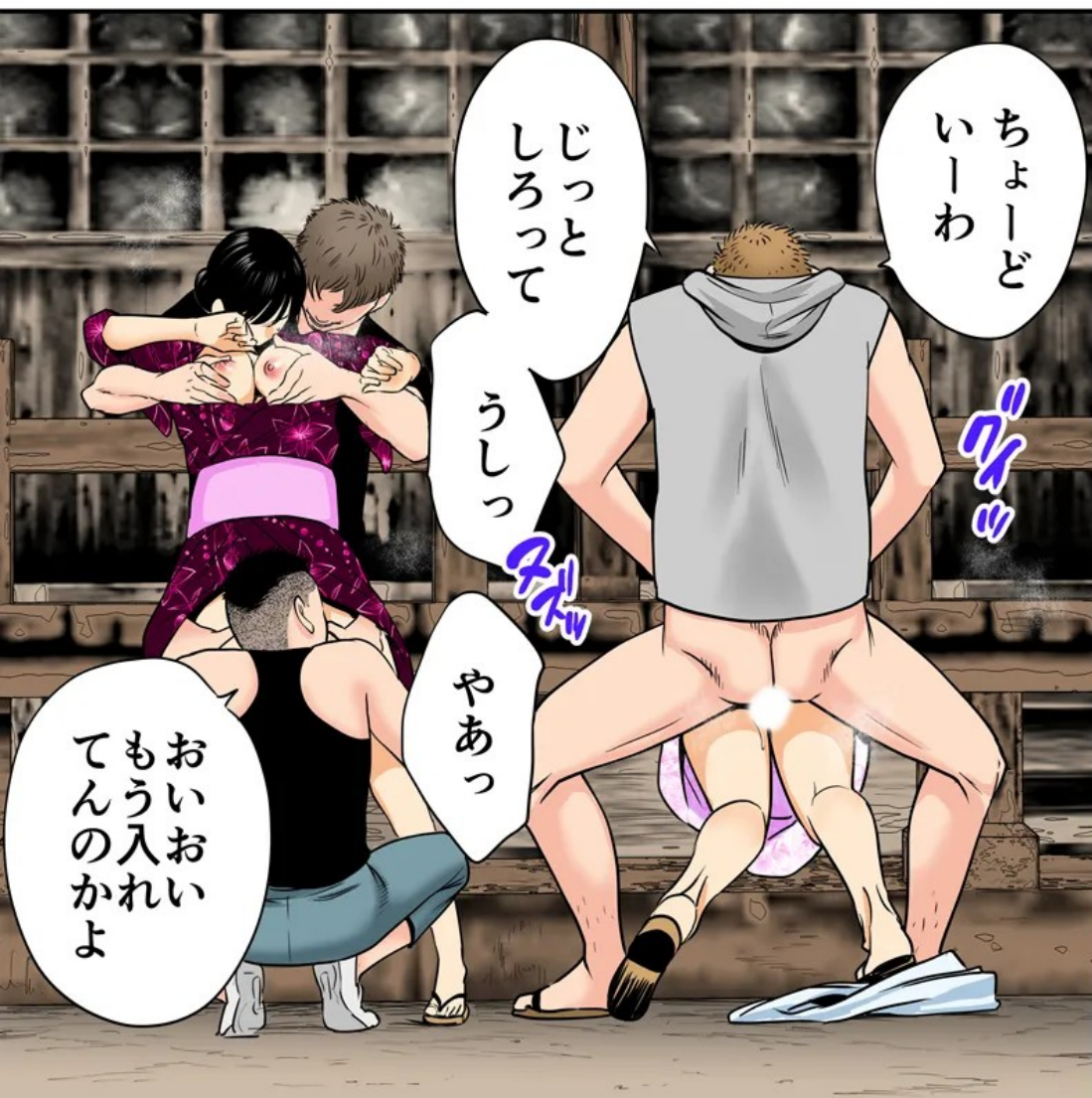


んーっ



おー

きれーな
スジマン



ちよーど
いーわ

じろっ
と
しろっ
と

うしっ
グーッ

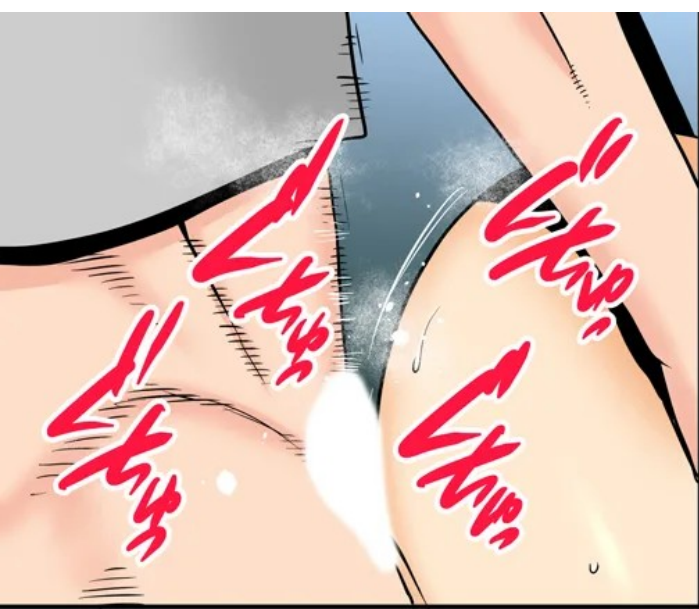
やあっ

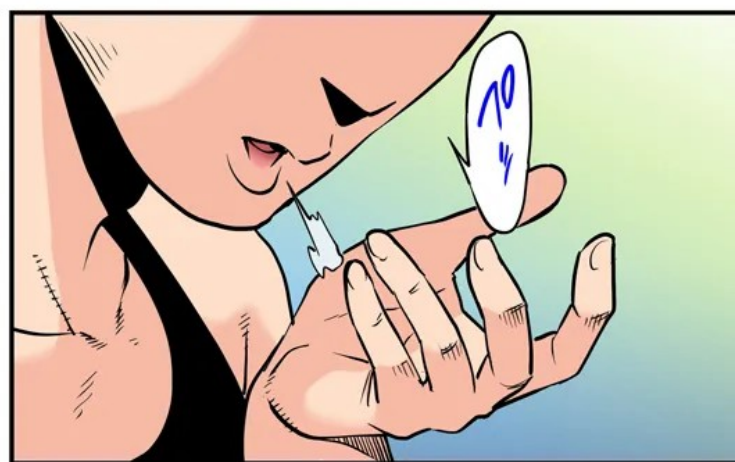
おいおい
もう入
のかれ
いよ



おお？
なんだよ

もうバツ
チリ
濡れてん
じゃん







ふー
やっと先っぽ
入ったぜ

こいつ
きちー

は

は

は



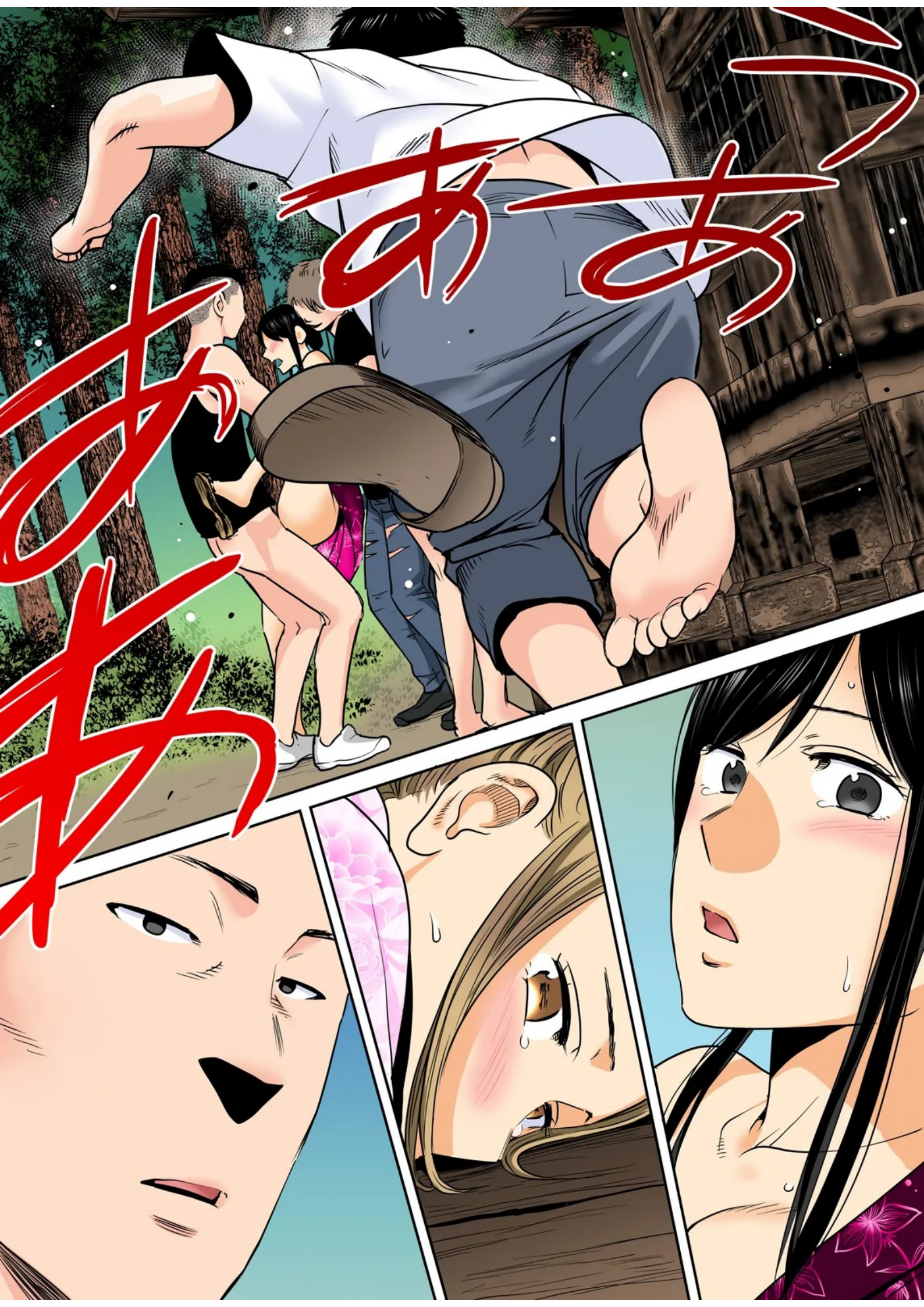
んじや

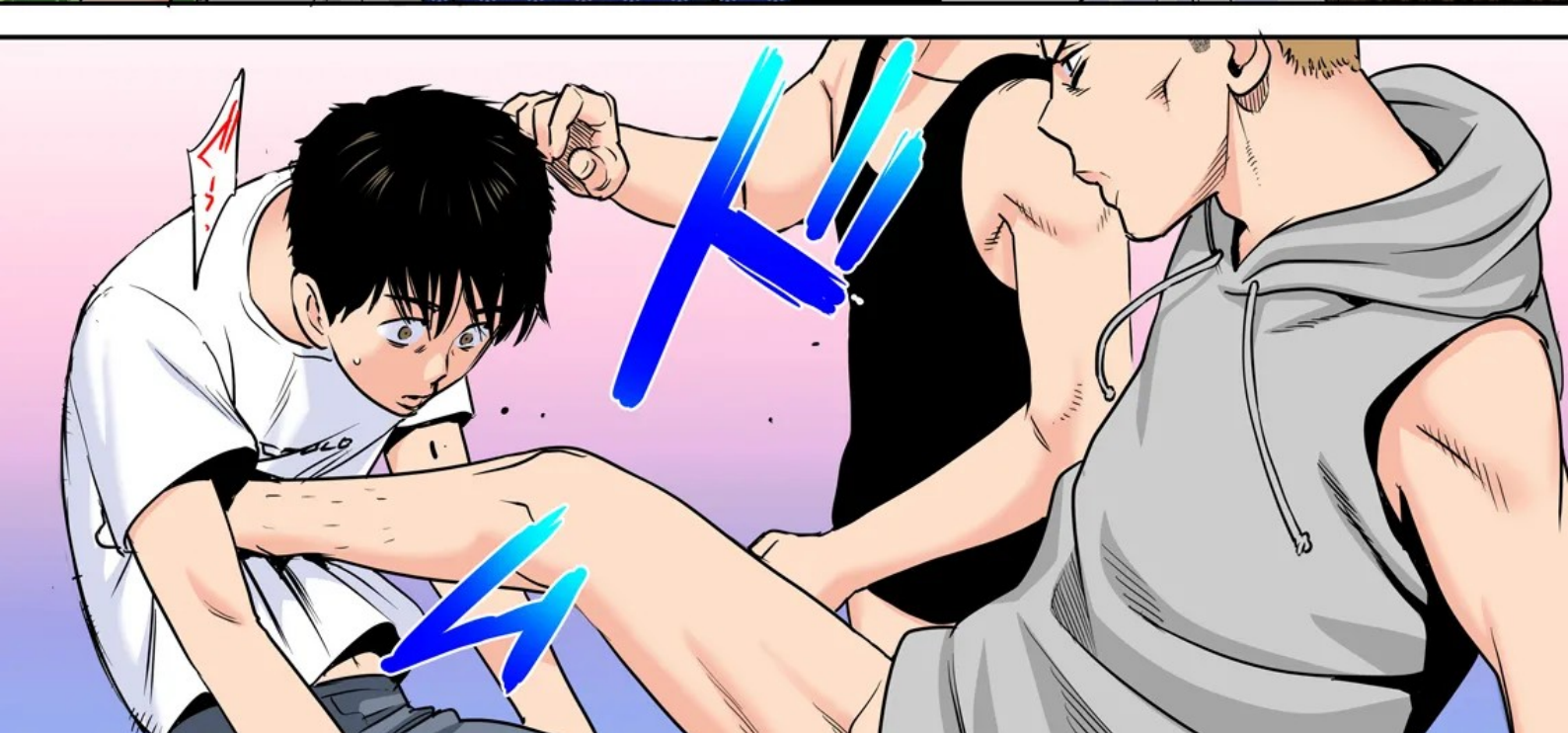
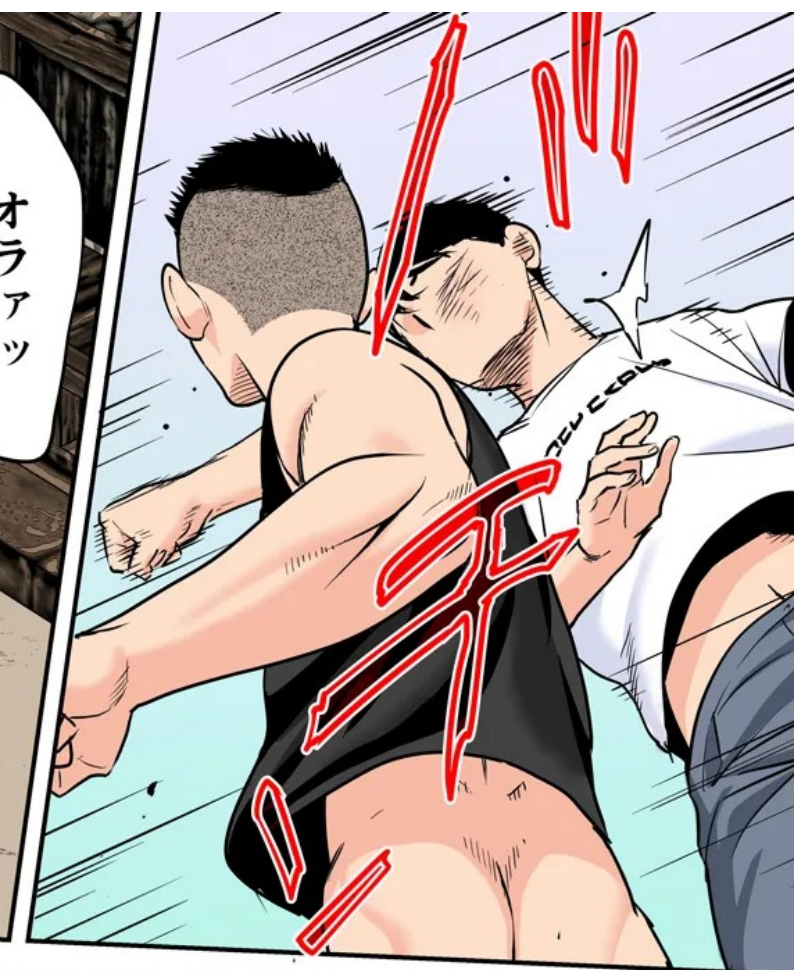
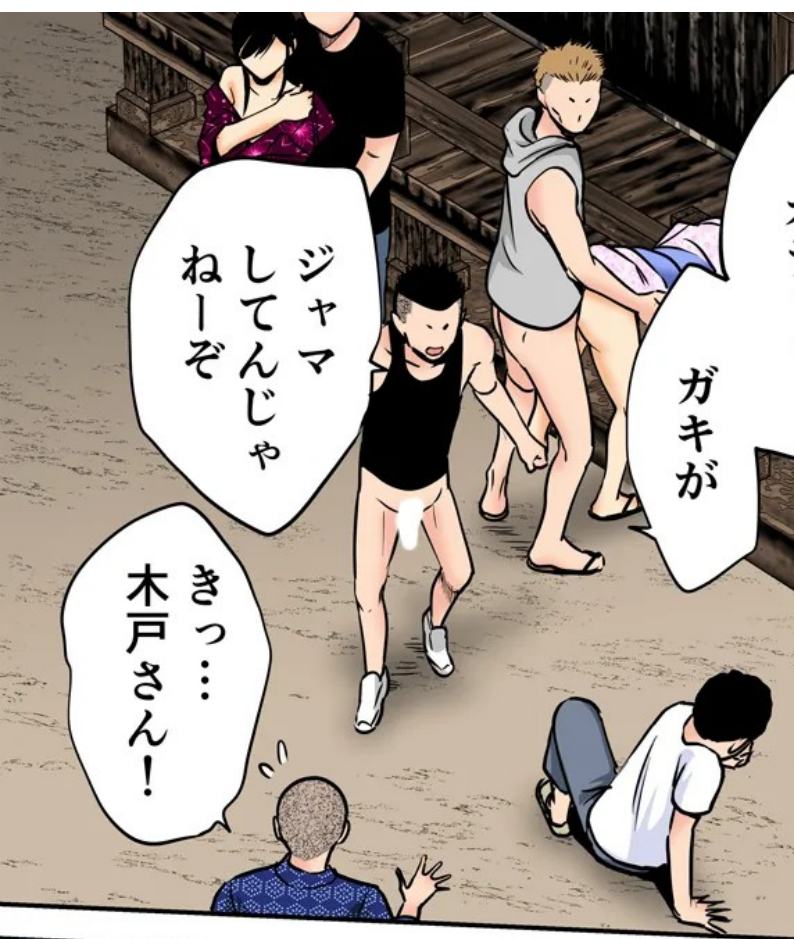
いっきに
押し込むからな

俺のち○ぽ

しっかり
味わえよ

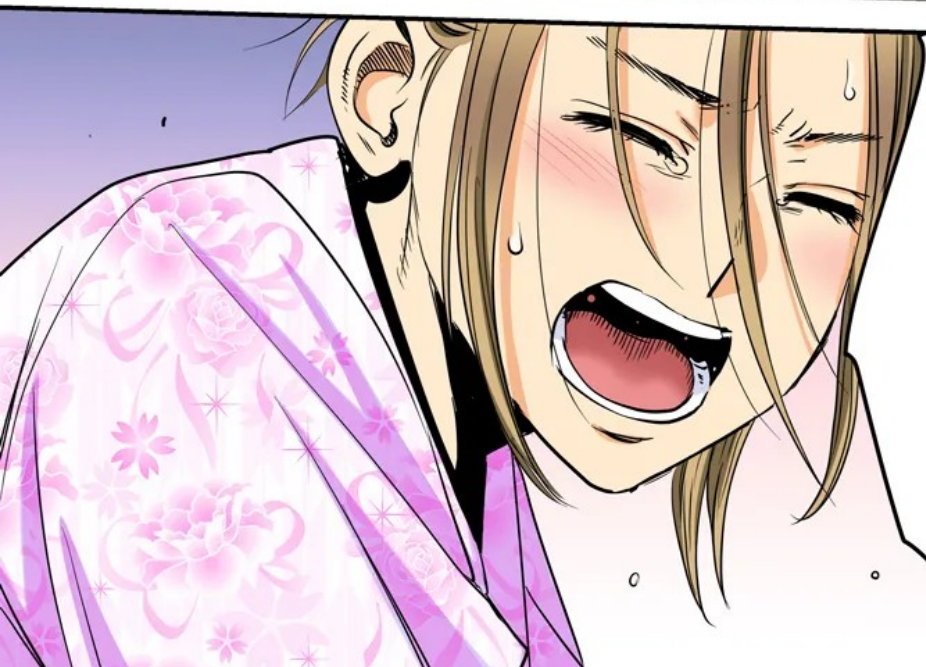
.....あ



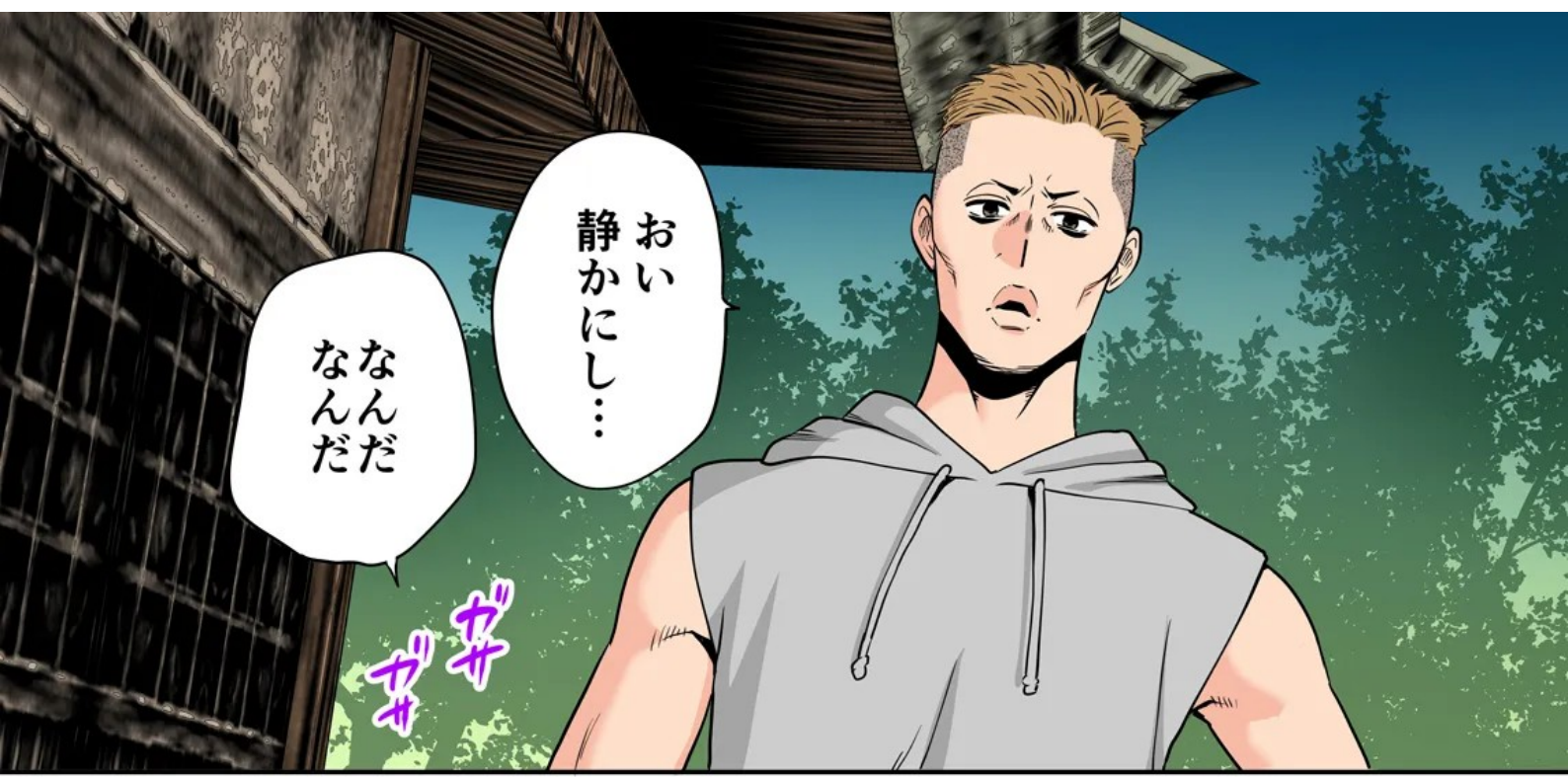




誰かーっ!



誰か 助けてーっ!



なんだ
なんだ

おい
静かにし…

ガッ
ガッ

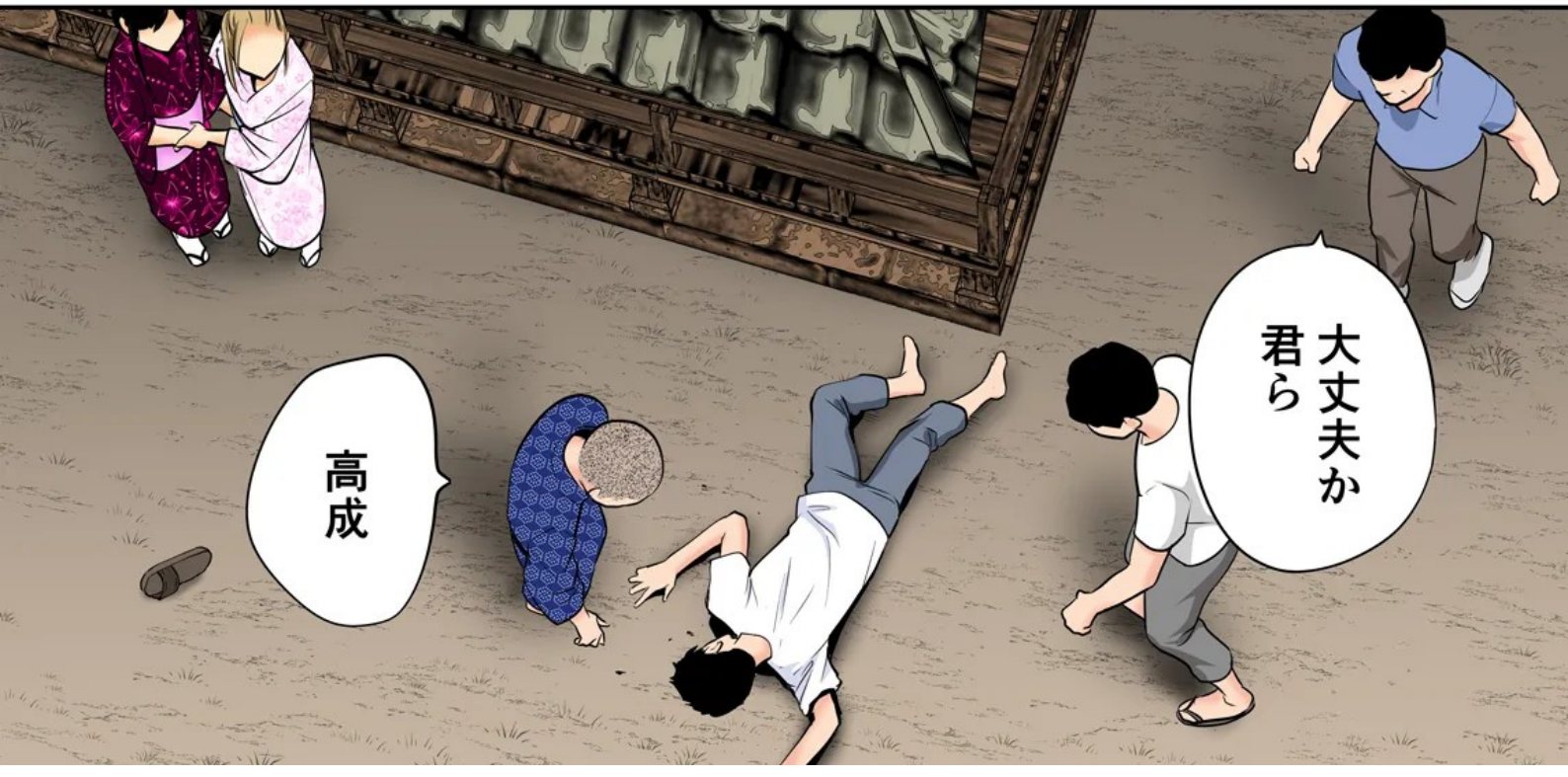


おい
行くぞ

クソっ

何かあったのか

おい
どうした？



高成

大丈夫か
君ら



この出来事を
きっかけに

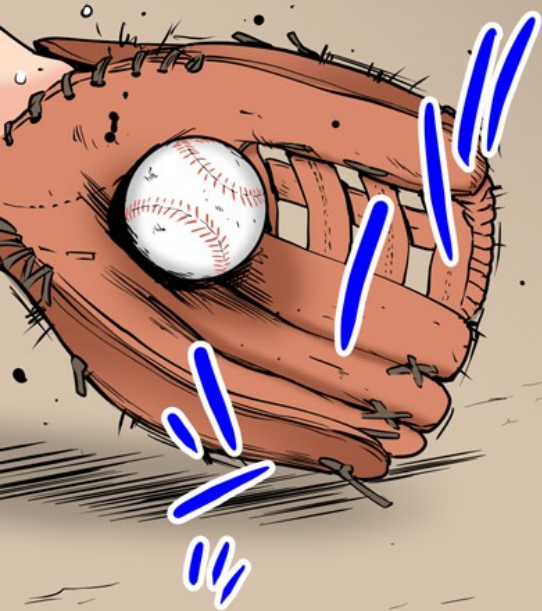
僕たちは

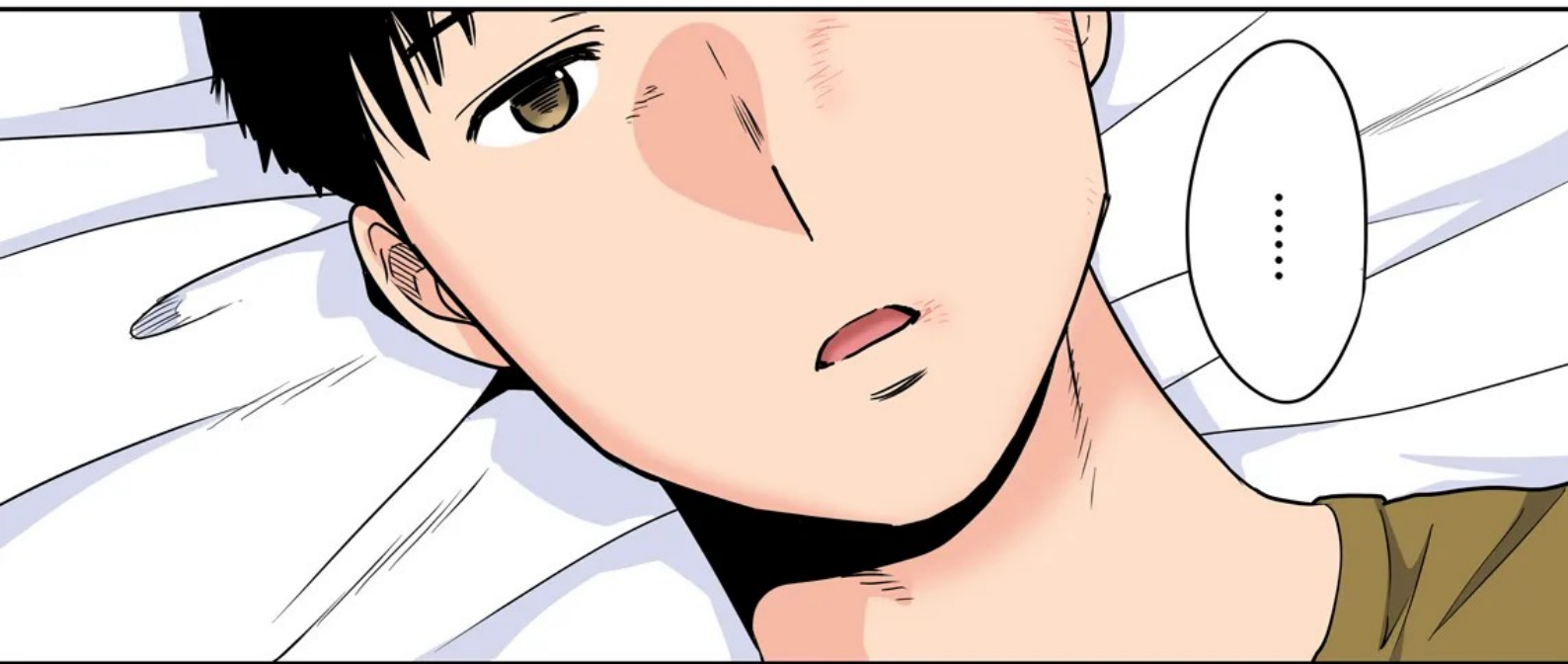
お互いに

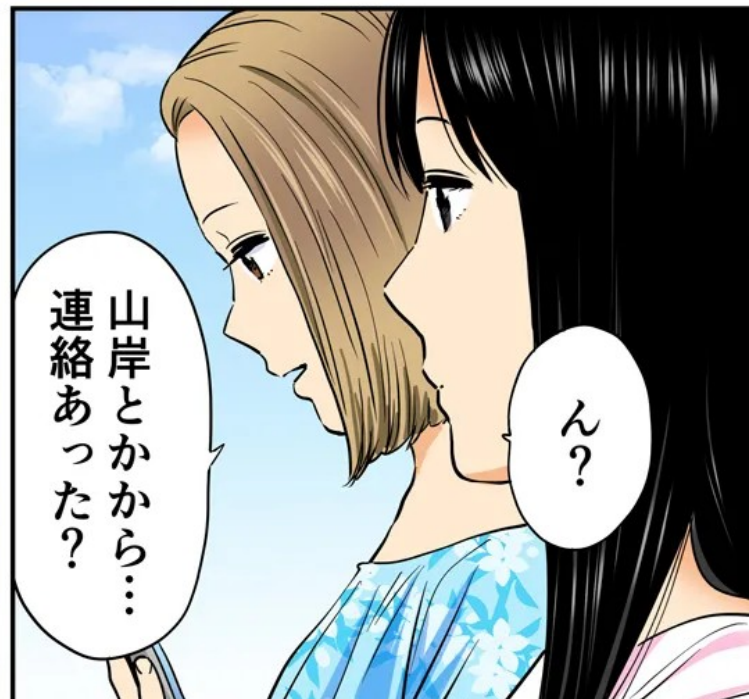
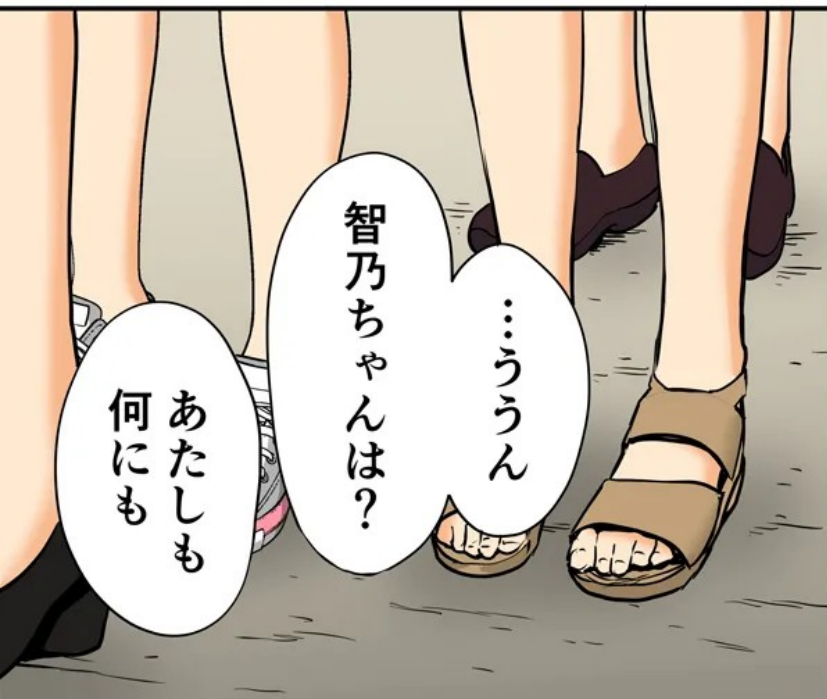
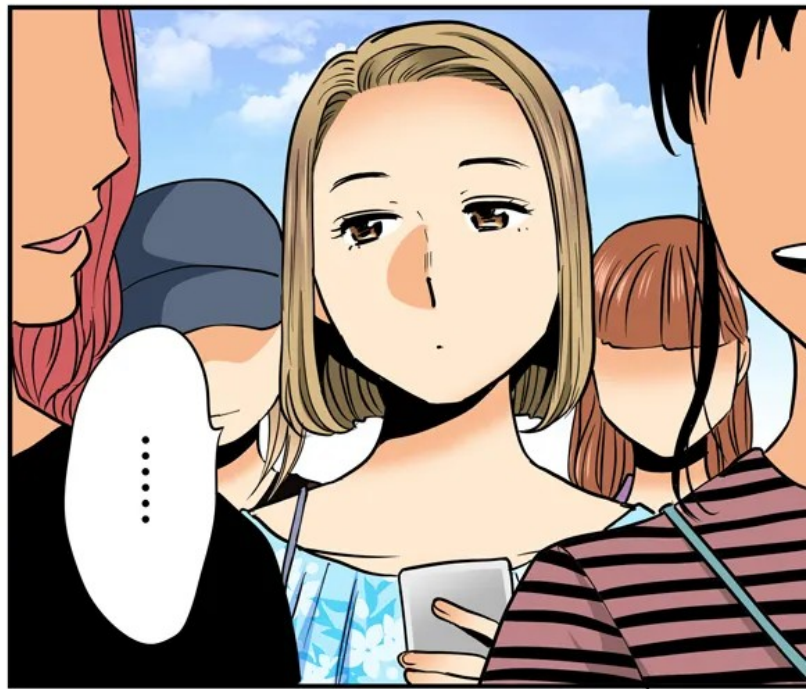
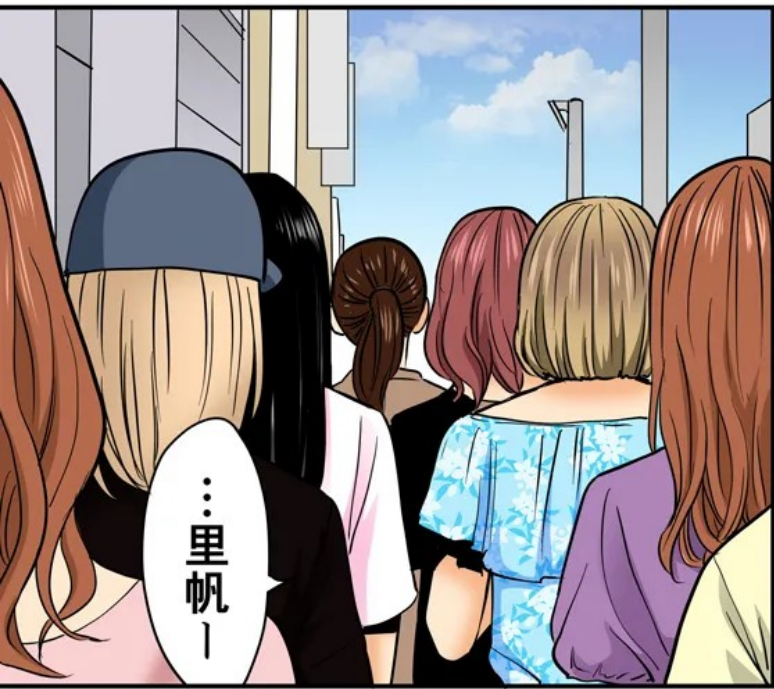
連絡を
取り合う
回数も減り

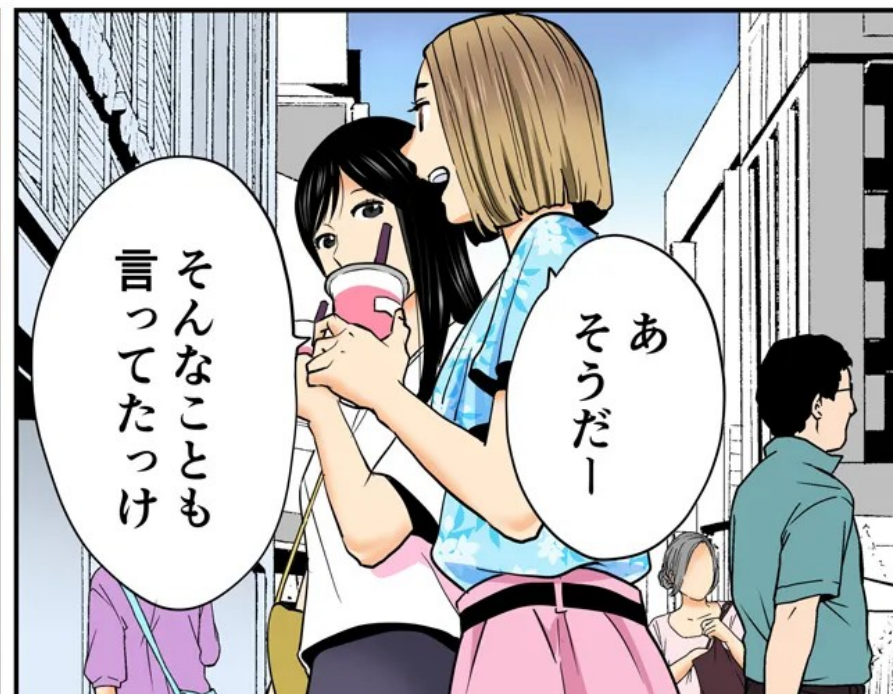
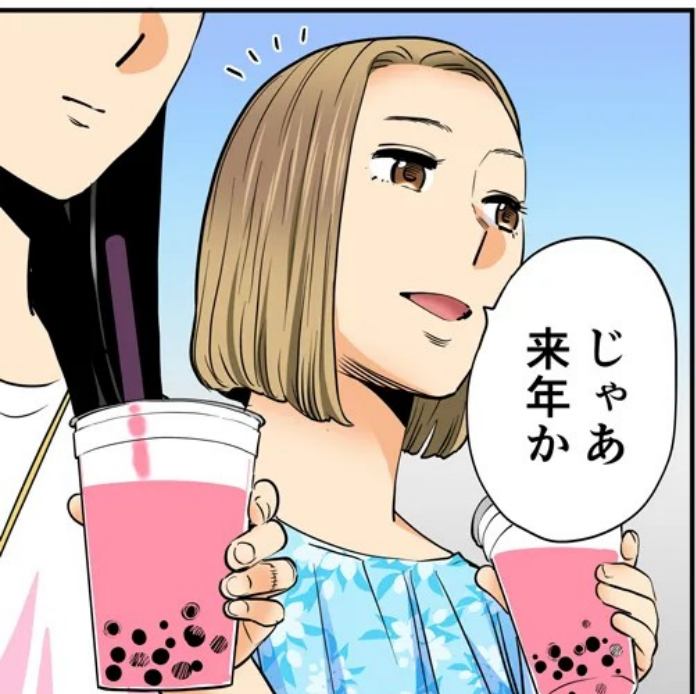
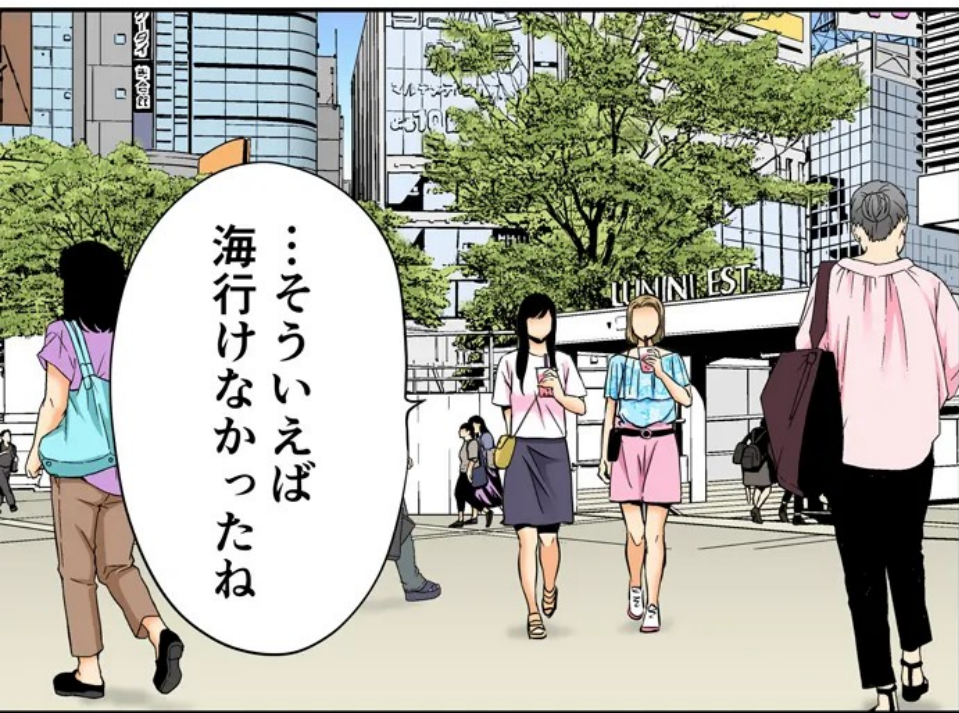
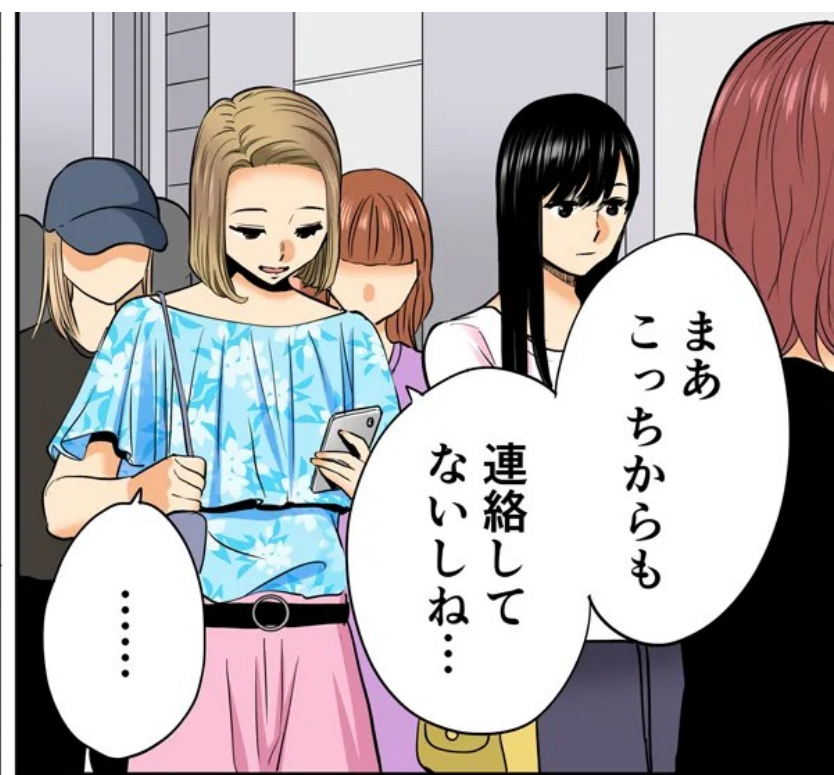
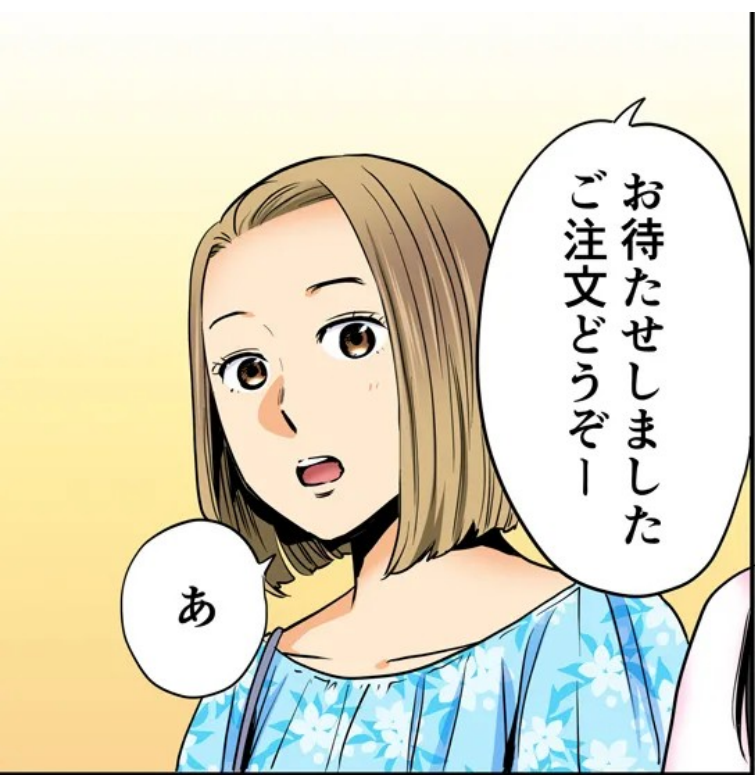
だんだんと

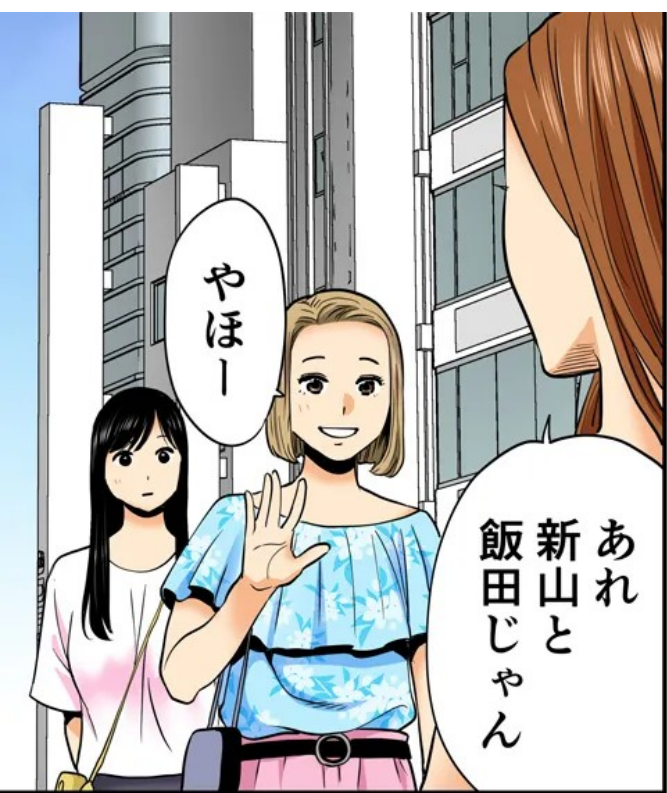
疎遠に
なっていくた





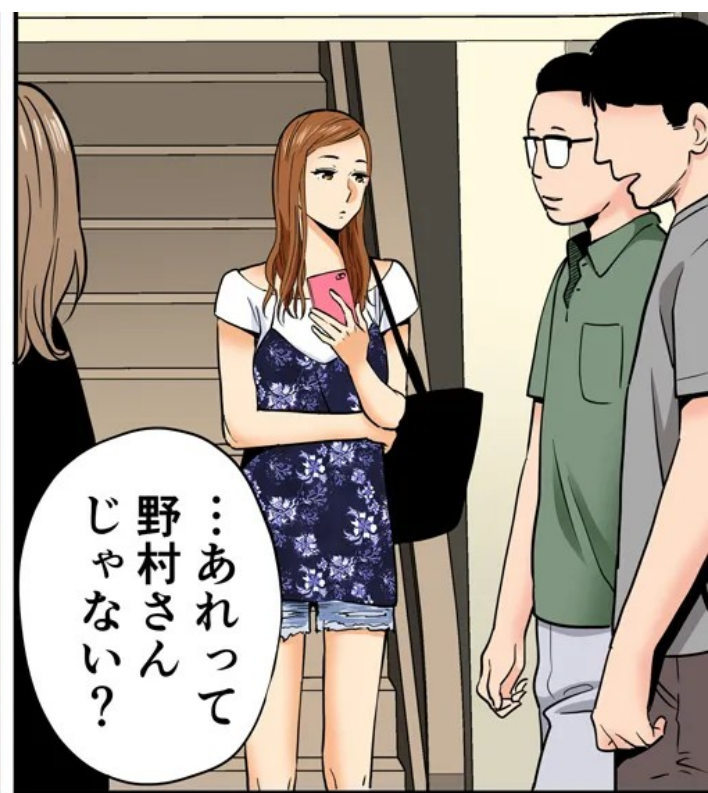




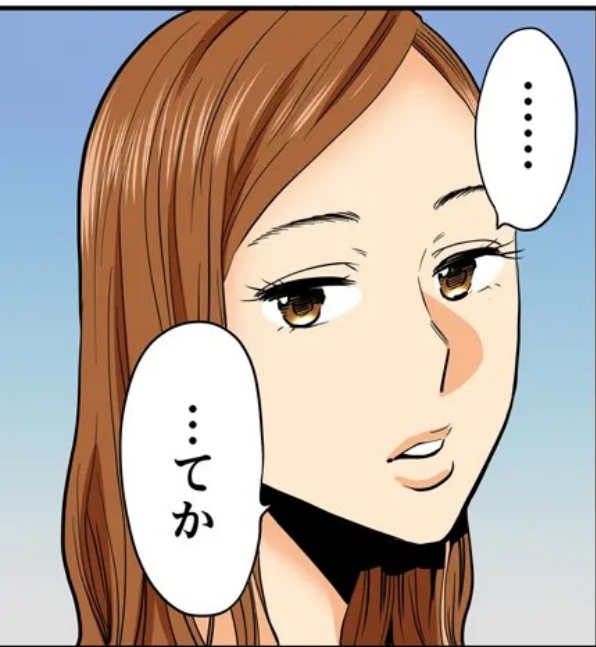


やほー

あれ
新山と
飯田じゃん

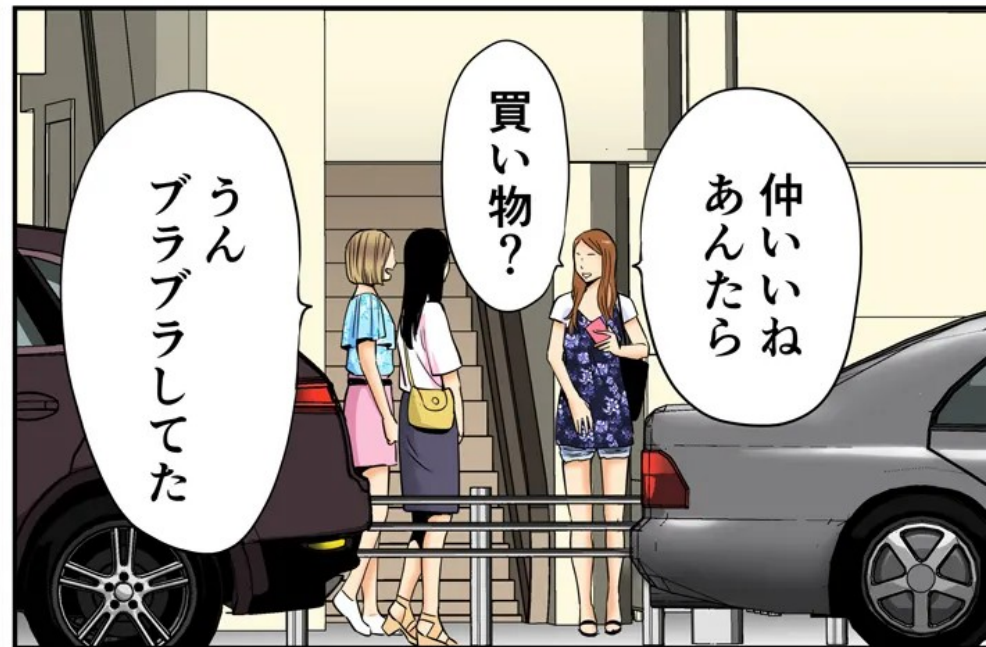


…あれって
野村さん
じゃない？



……

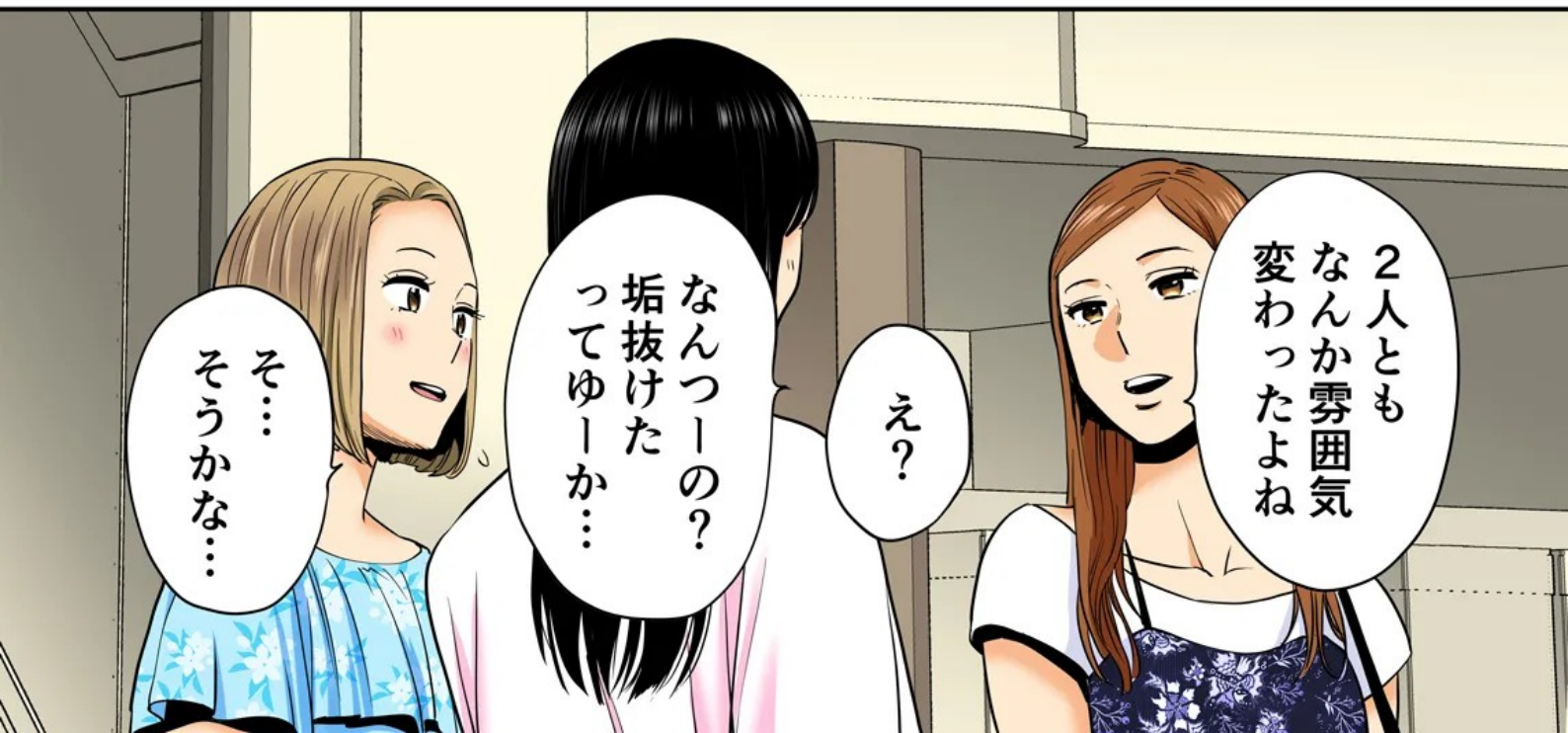
…てか



うん
ブラブラしてた

買い物？

仲いいね
あんたら

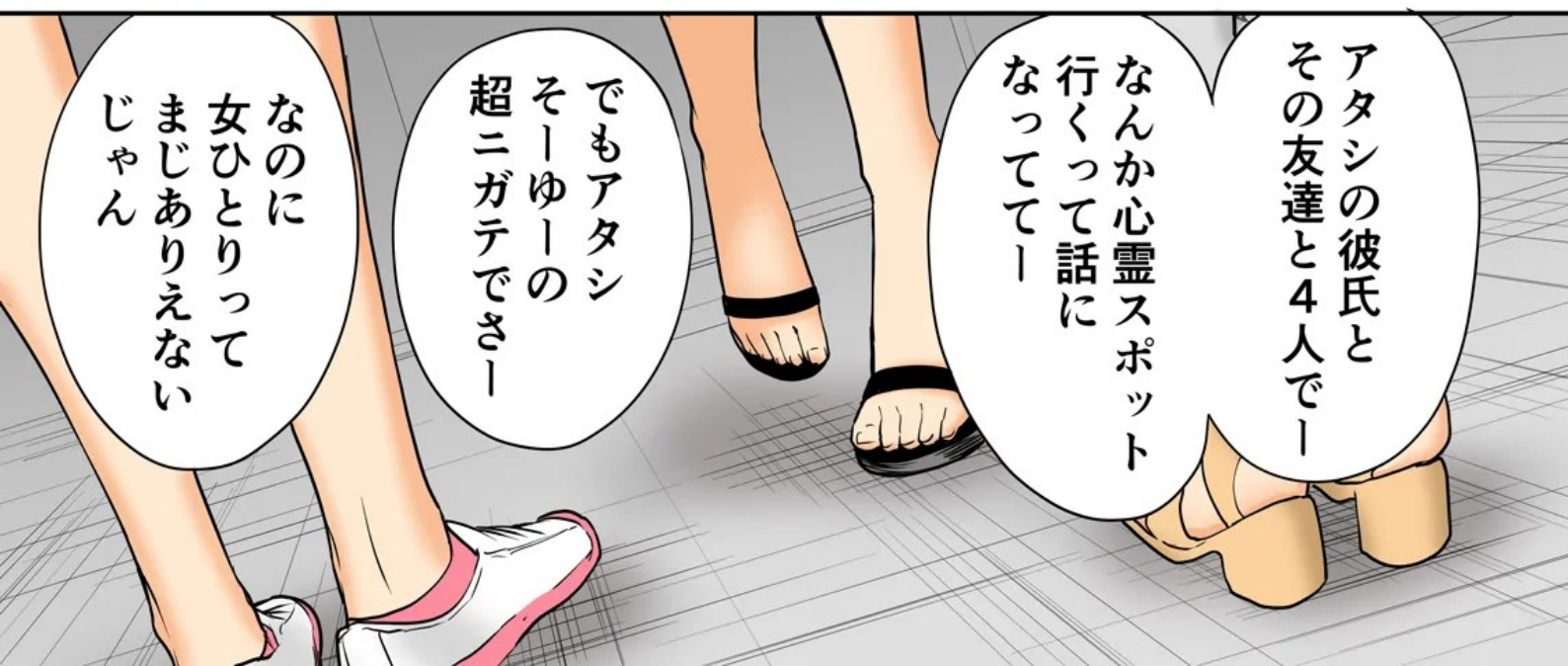
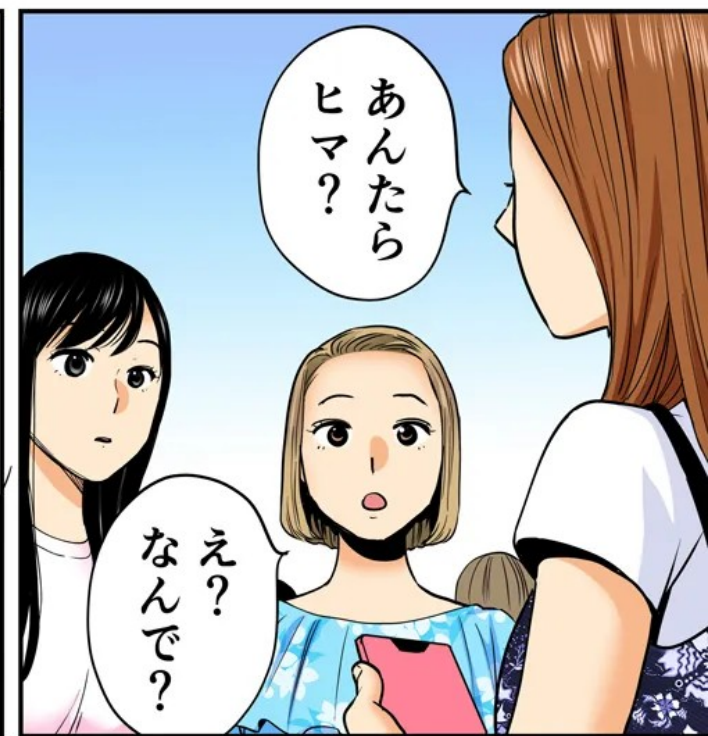
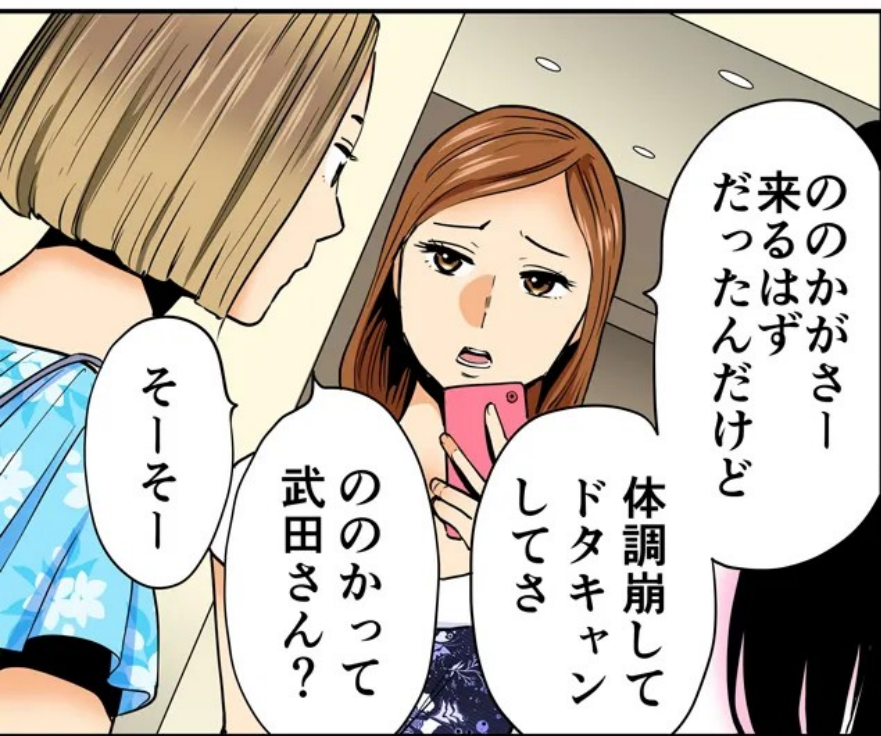
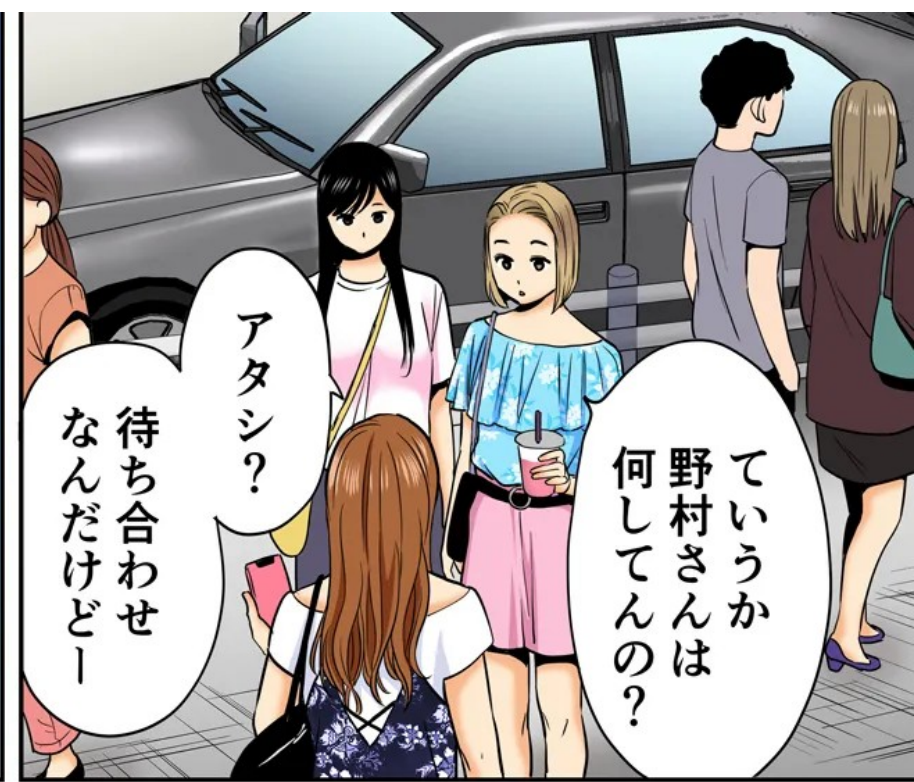
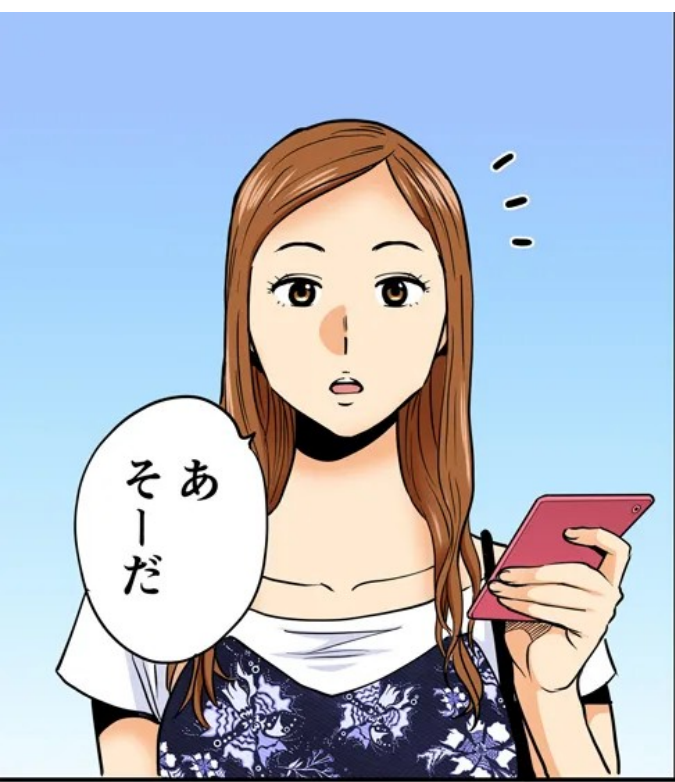


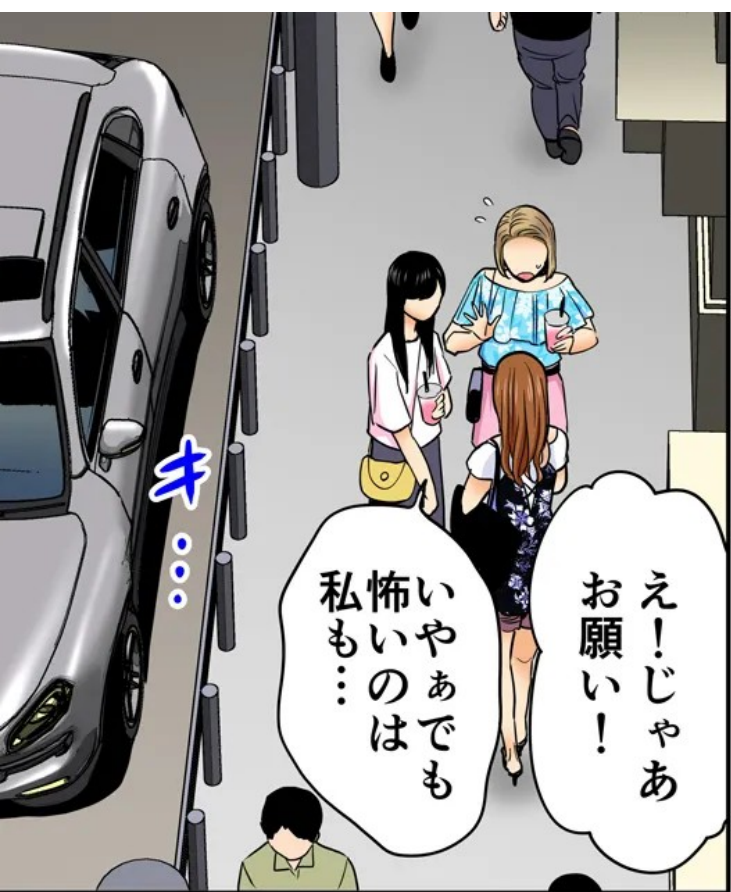
そ…
そうかな…

なんつーの？
垢抜けた
ってゆーか…

え？

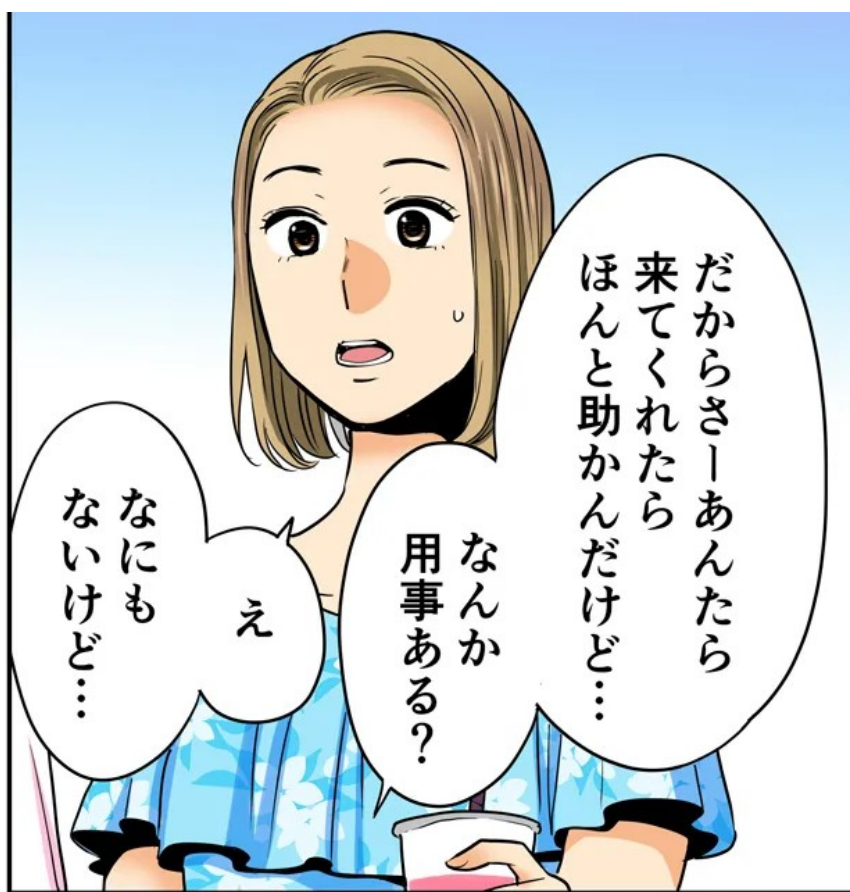
2人とも
なんか雰囲気
変わったよね





私怖いのは
私も…

え！じゃあ
お願い！



だからさーあんたら
来てくれたら
ほんと助かんだけど…

なんか
用事ある？

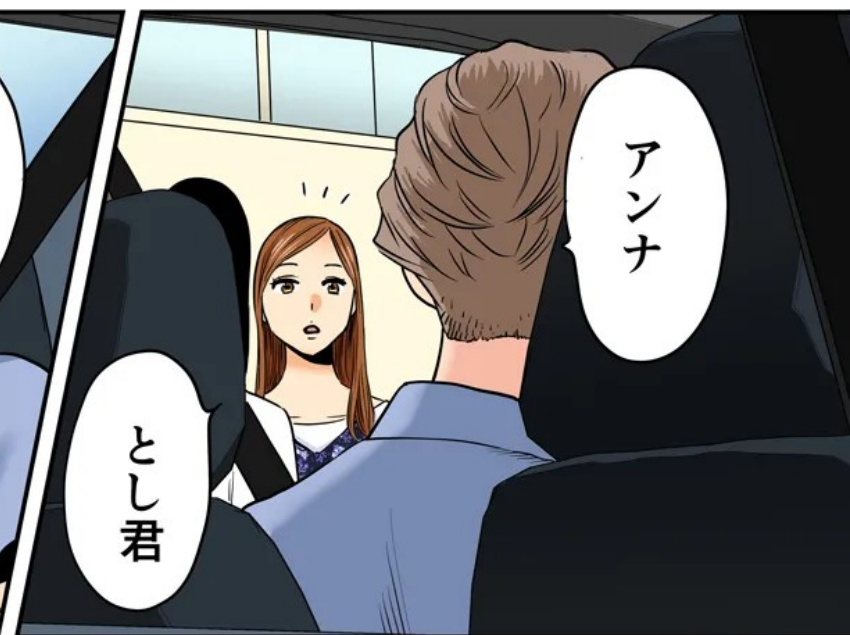
え

なにも
ないけど…



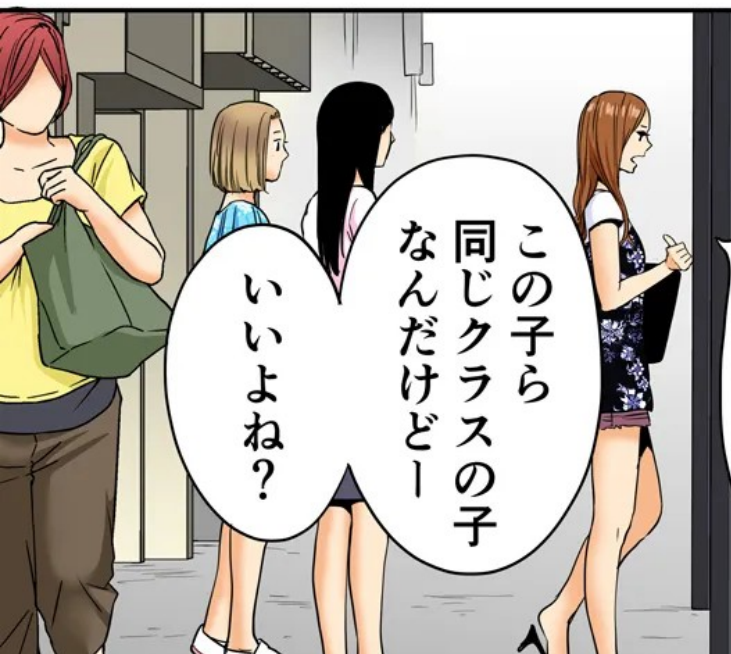
あれ？

えーっと…



アンナ

とし君



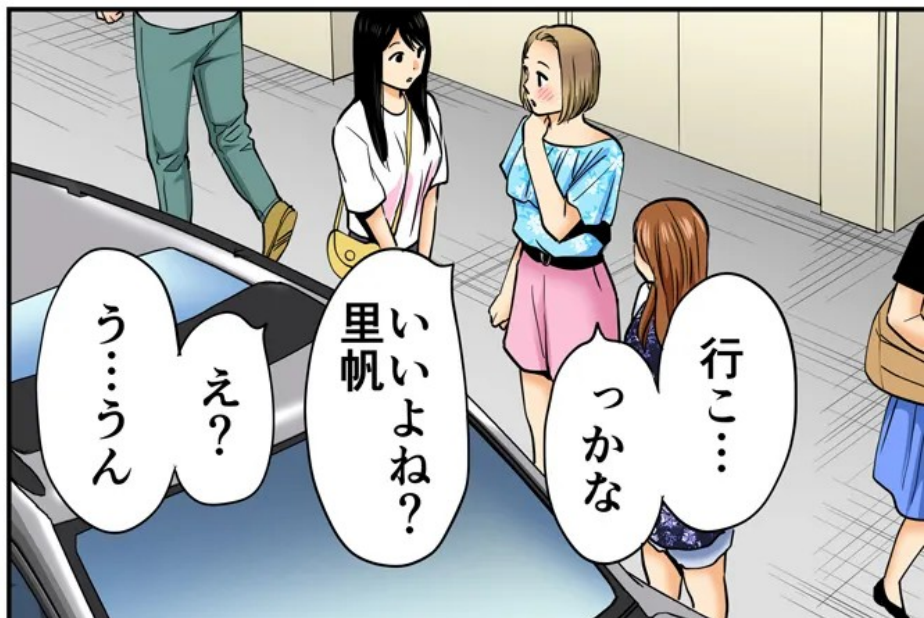
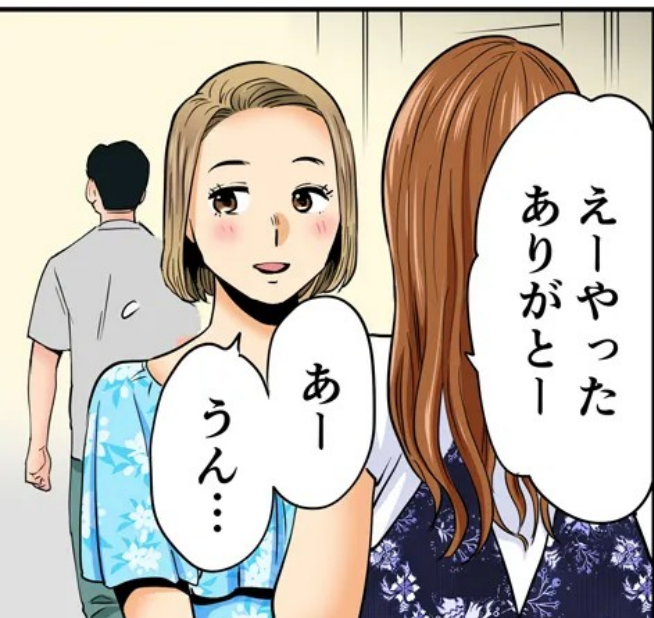
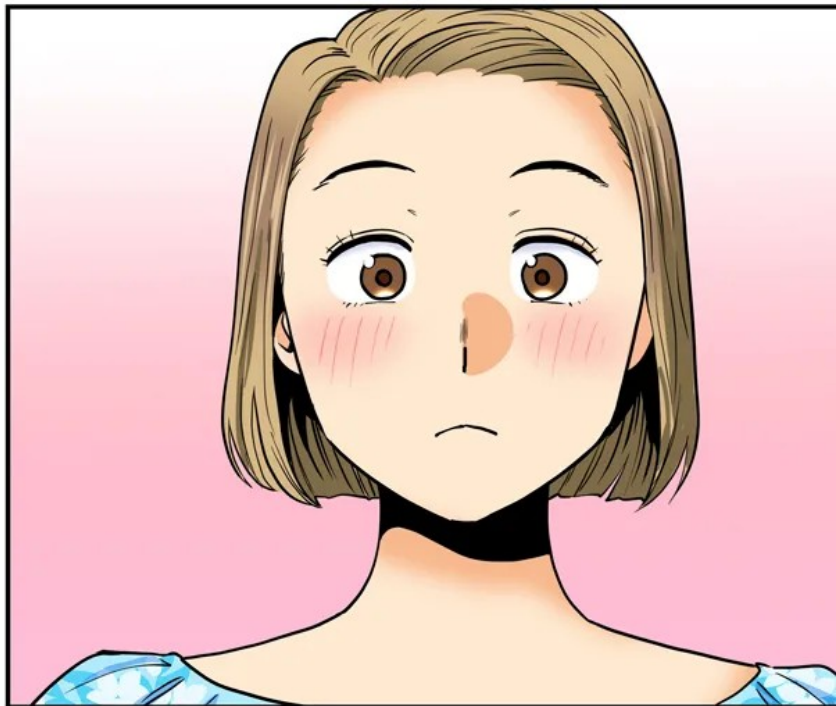
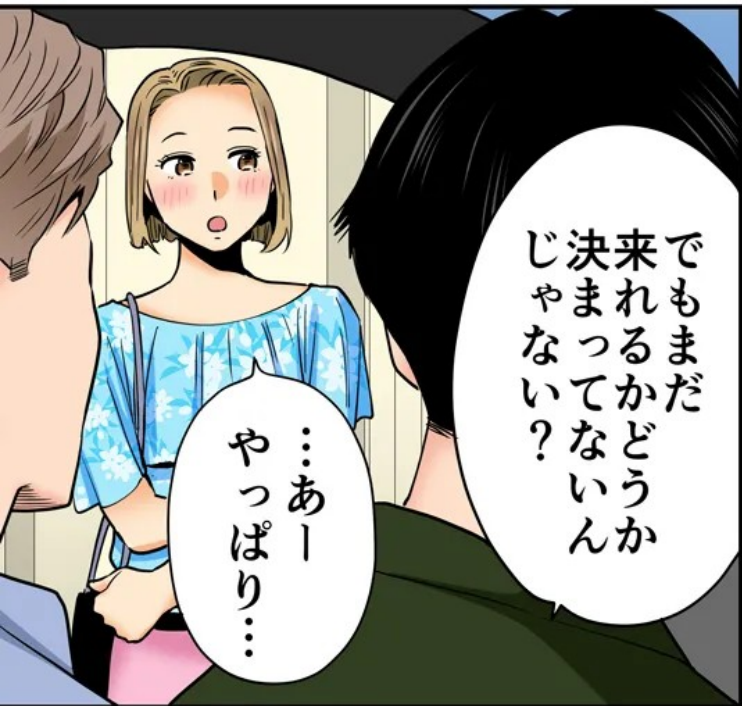
この子ら
同じクラスの子
なんだけどー

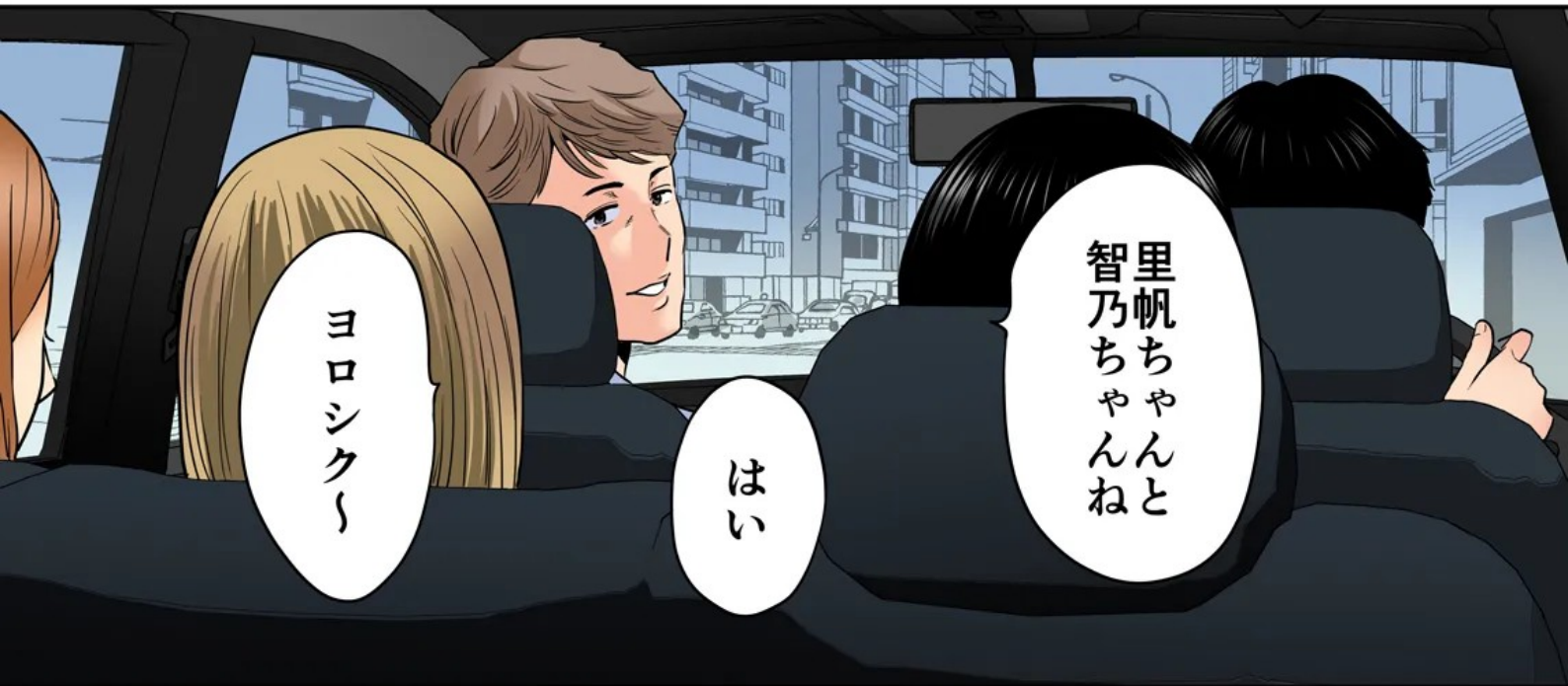
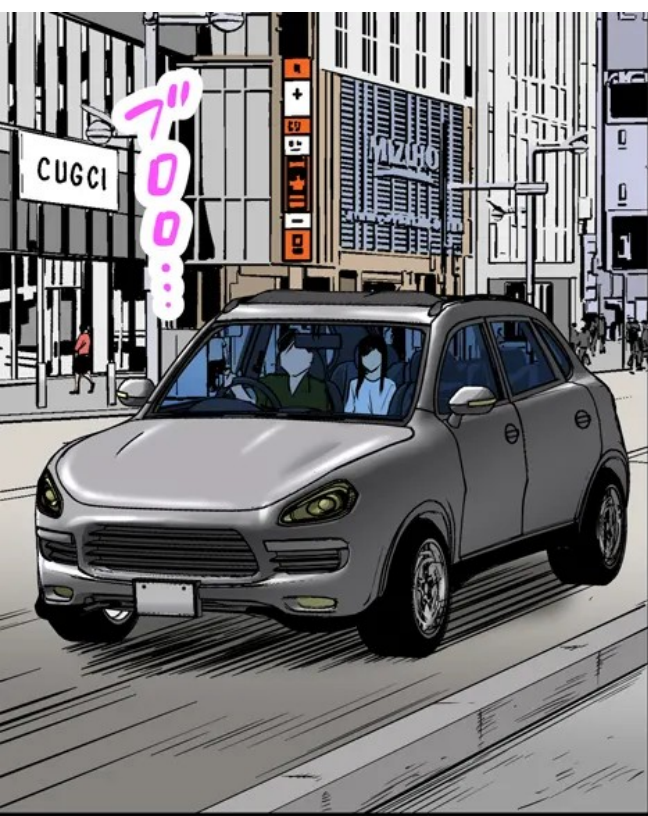
いいよね？

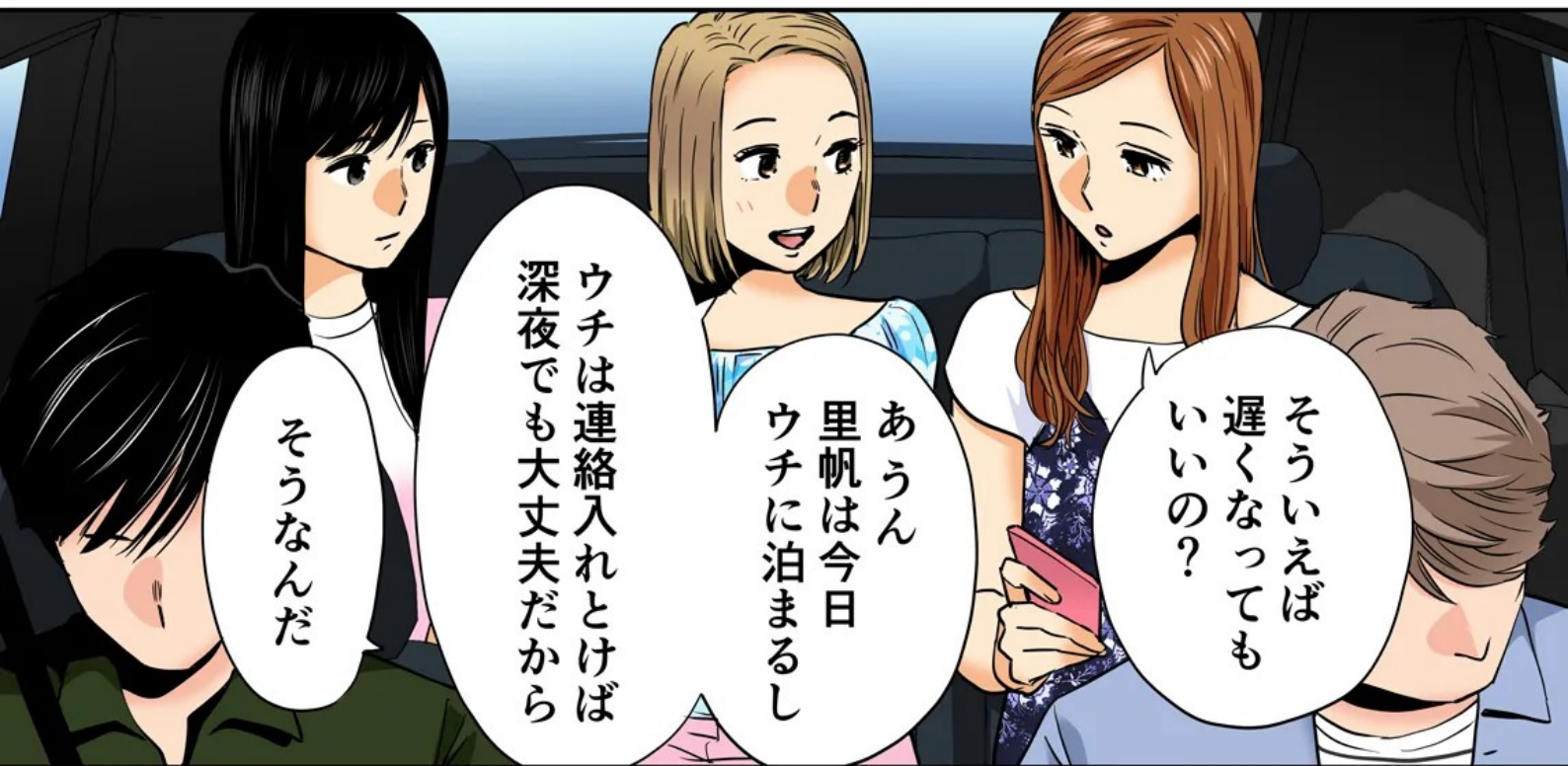


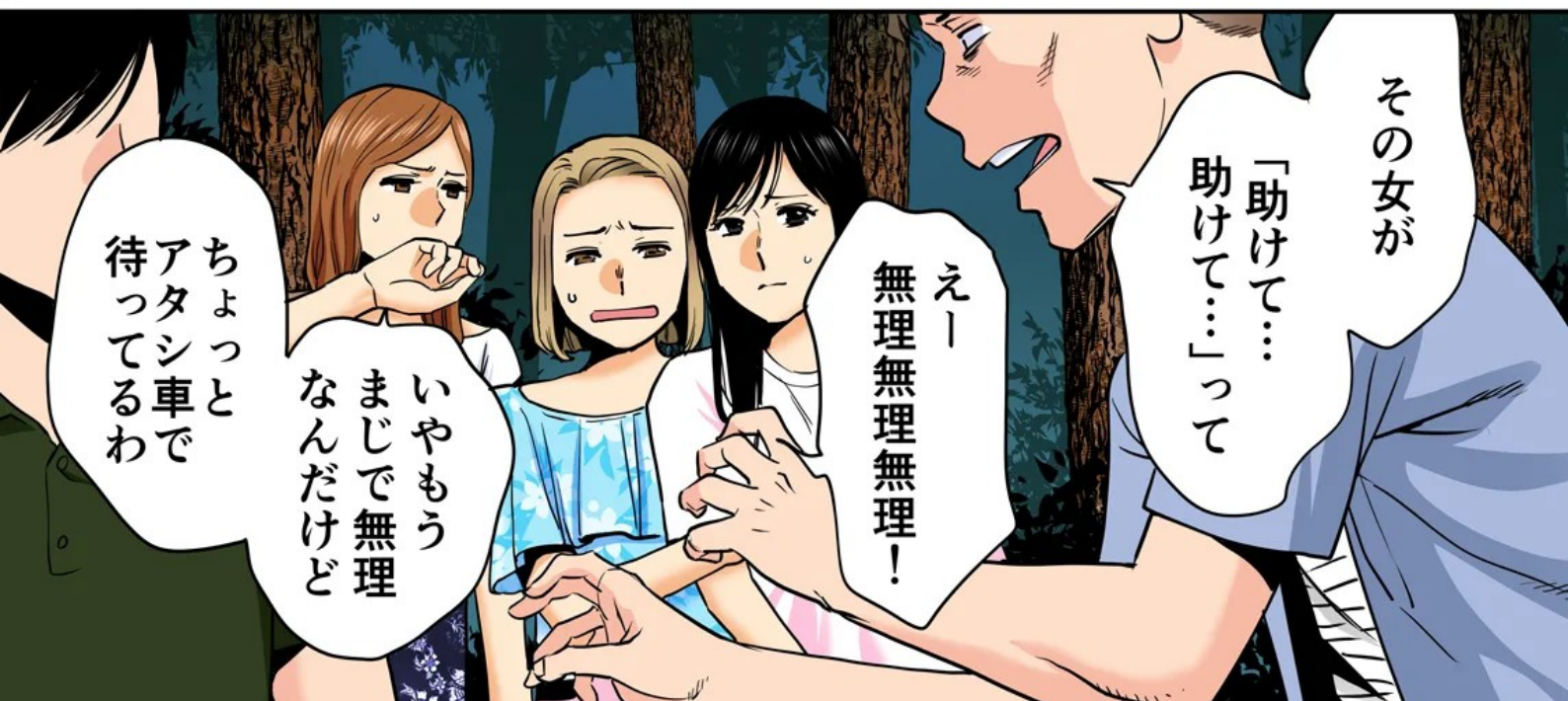
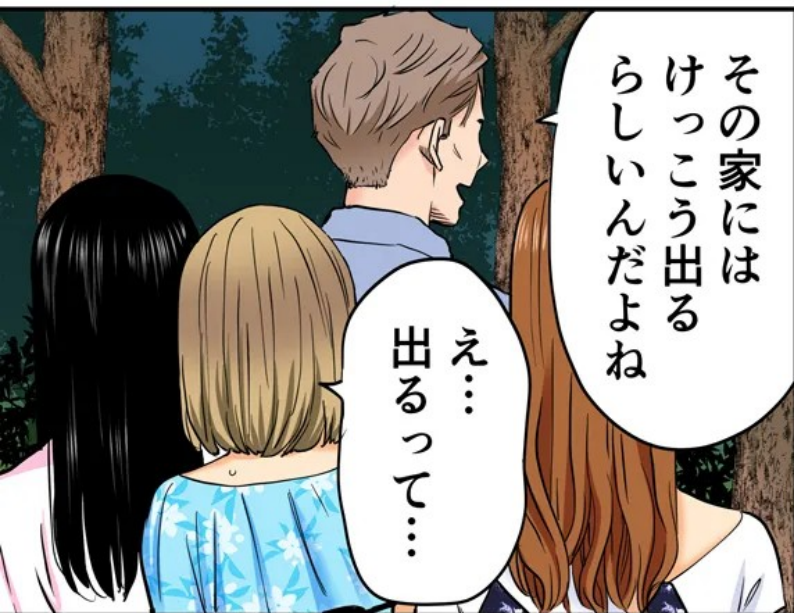
どっちが
ののかちゃん？

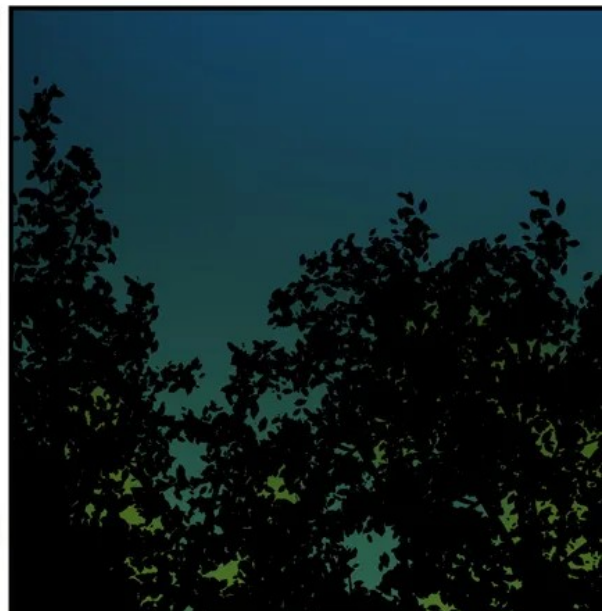
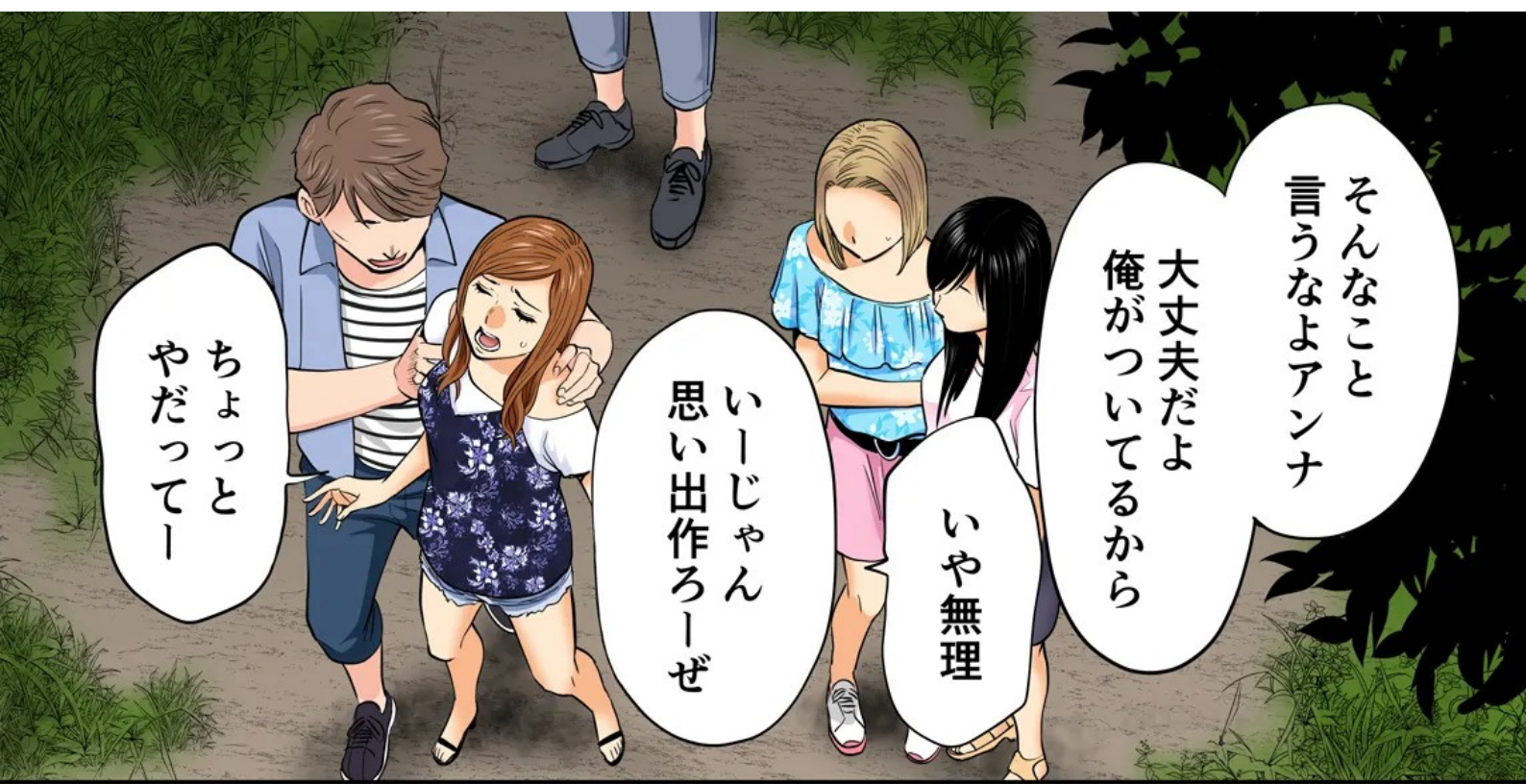
ののか
来れなく
なっちゃってー













えー…ホントに
行くんですか？

その奥の家…

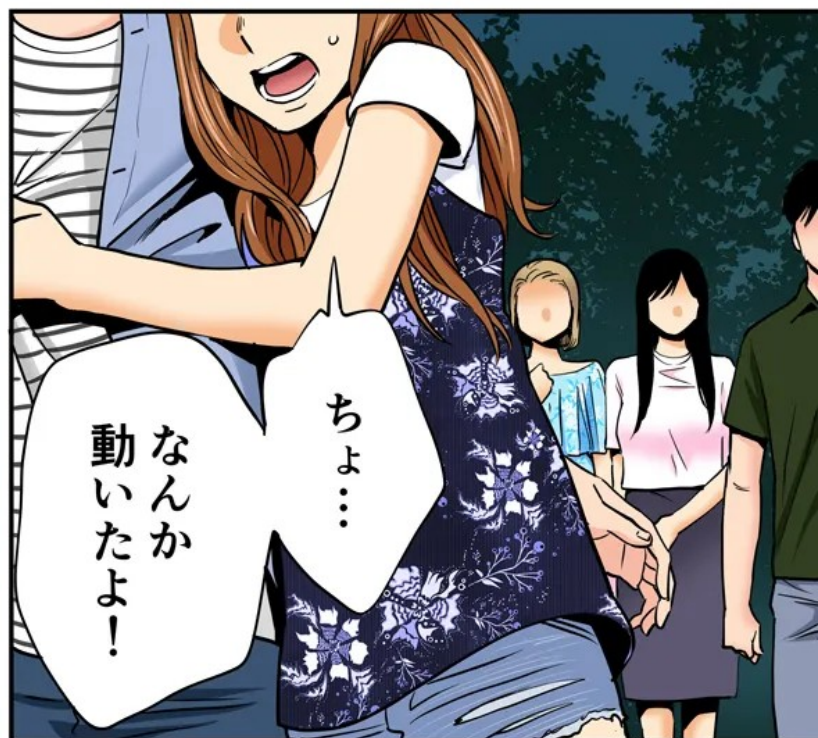
まあ
肝試し
だからね

うう…



ええ？

風で葉っぱが
揺れただけだろ

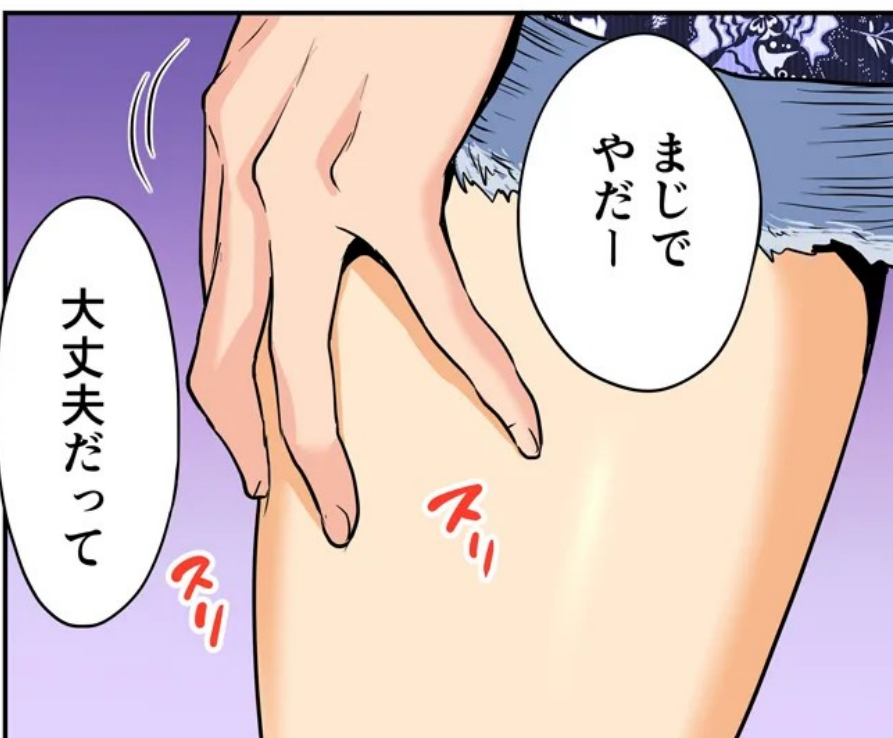


ちょ…

なんか
動いたよ！



もー
とっとな行って
帰ろーよ

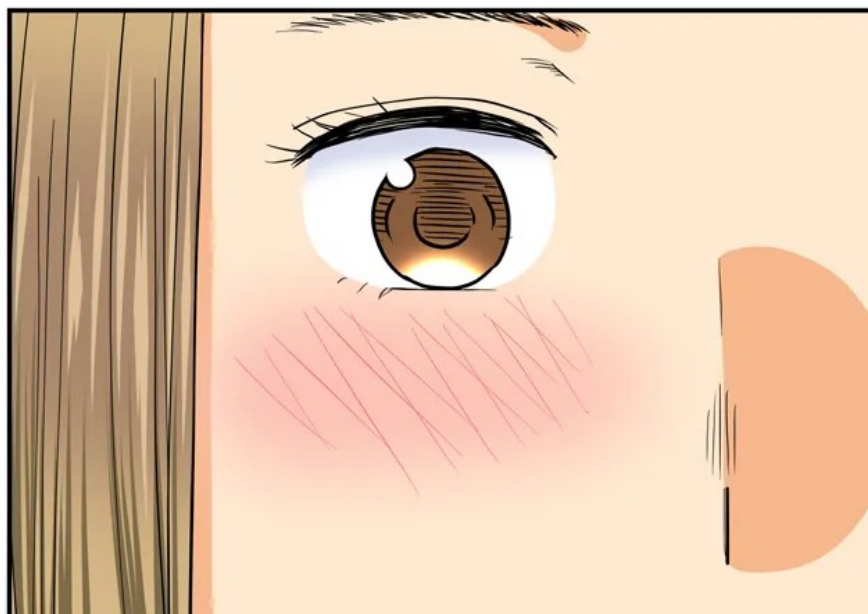
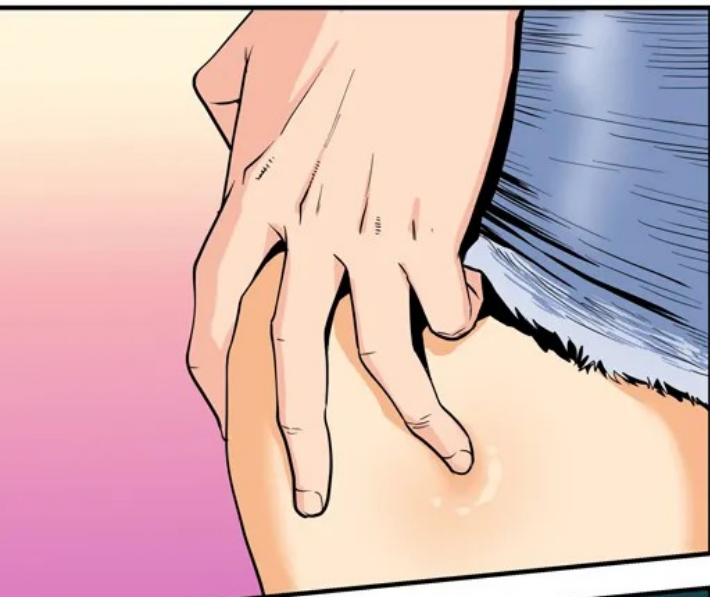
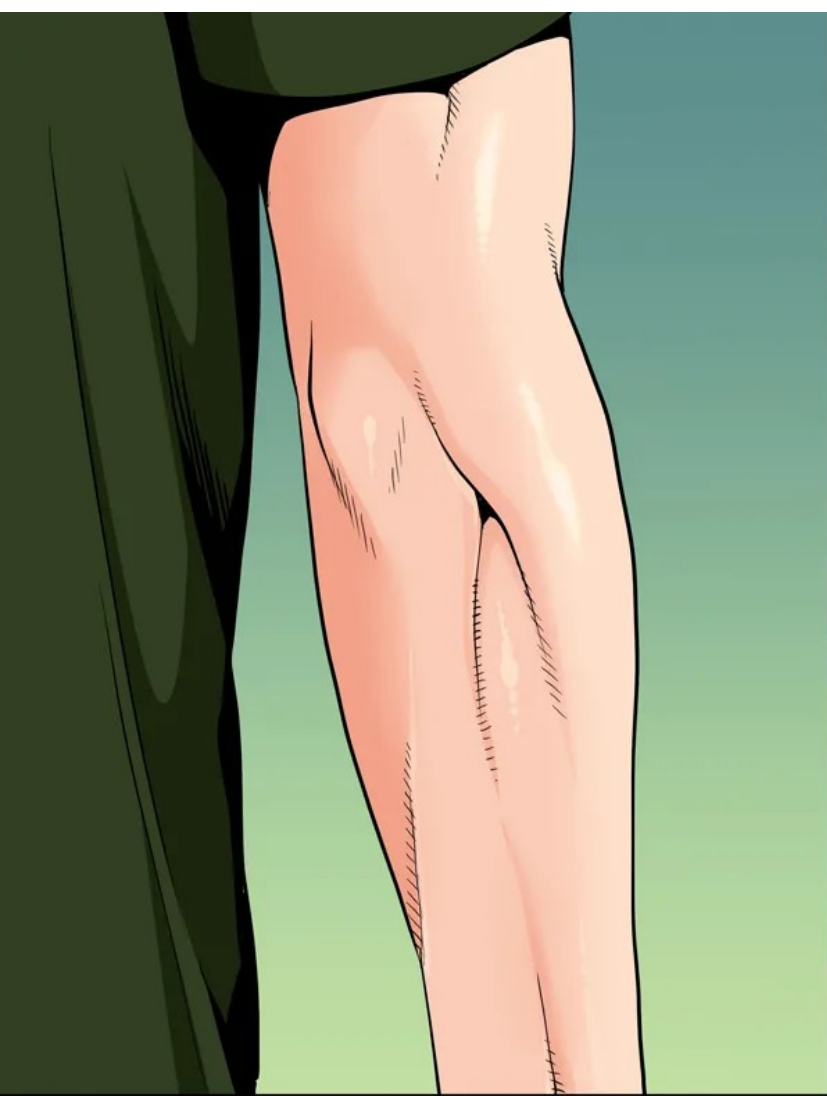


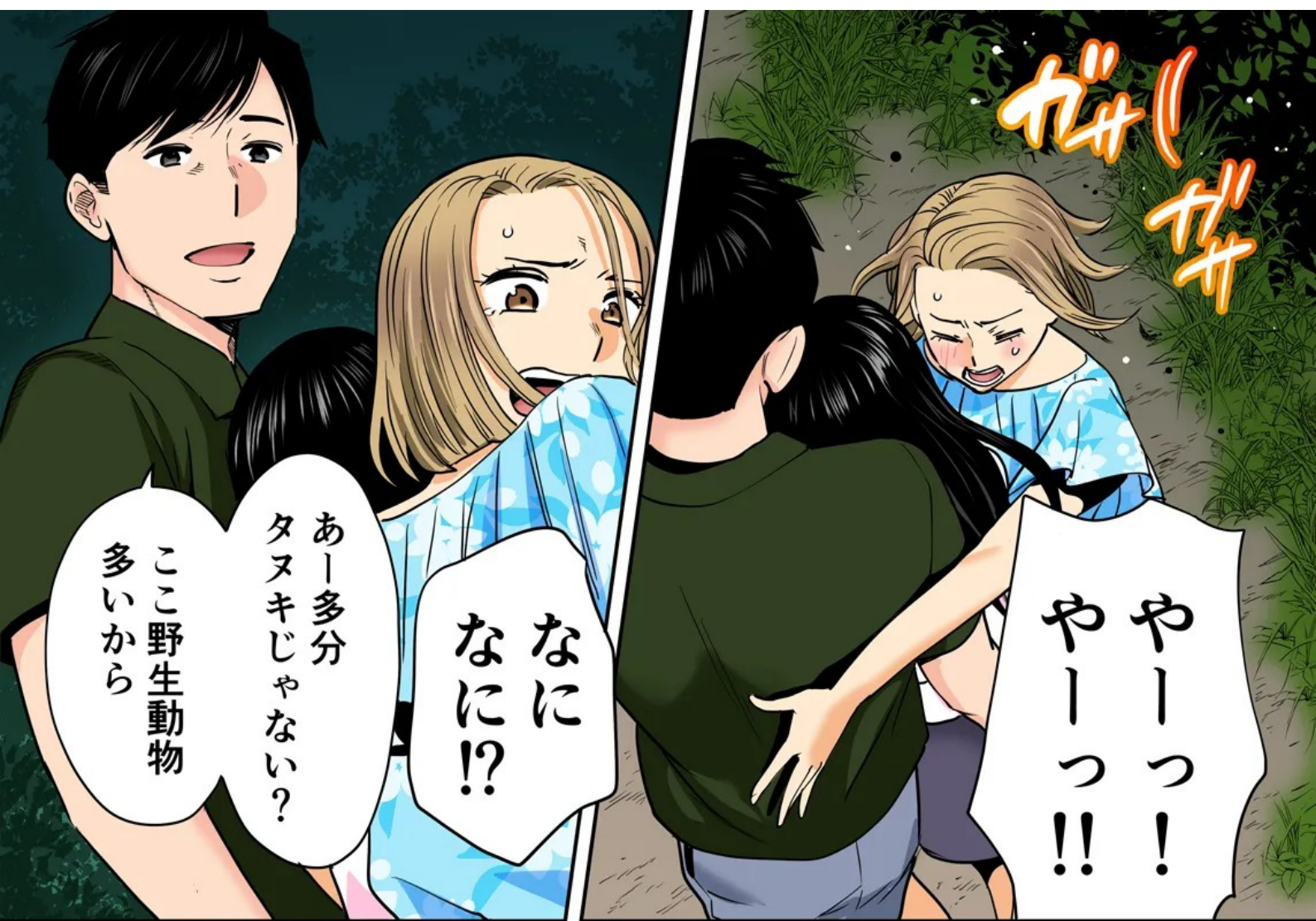
まじで
やだー

大丈夫だって

スリ

スリ





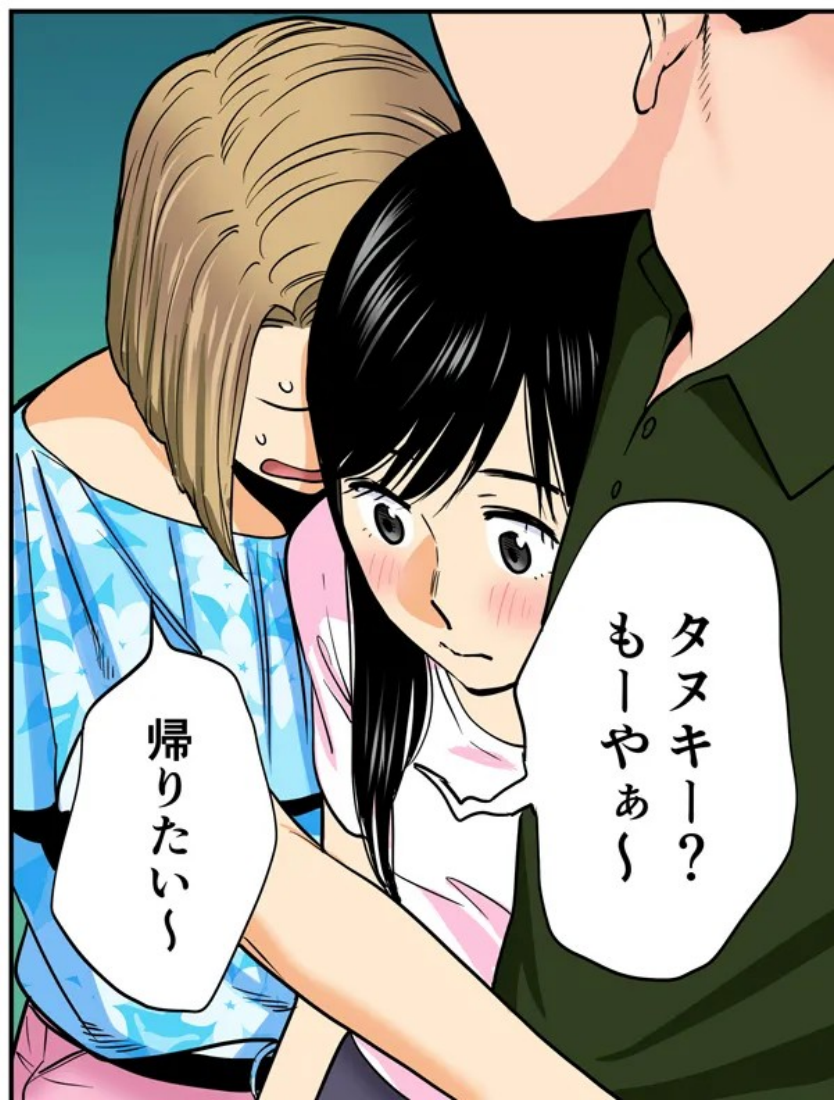
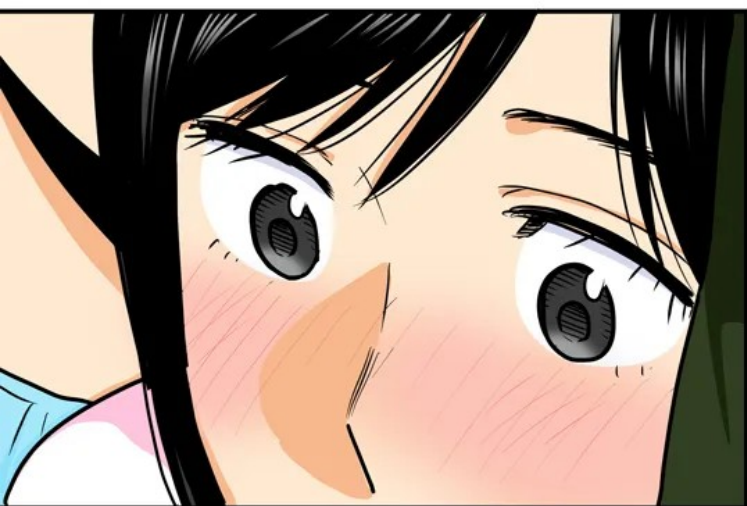
ここ野生動物
多いから

あー多分
タヌキじゃない?

なに
なに!?

やーっ!
やーっ!!

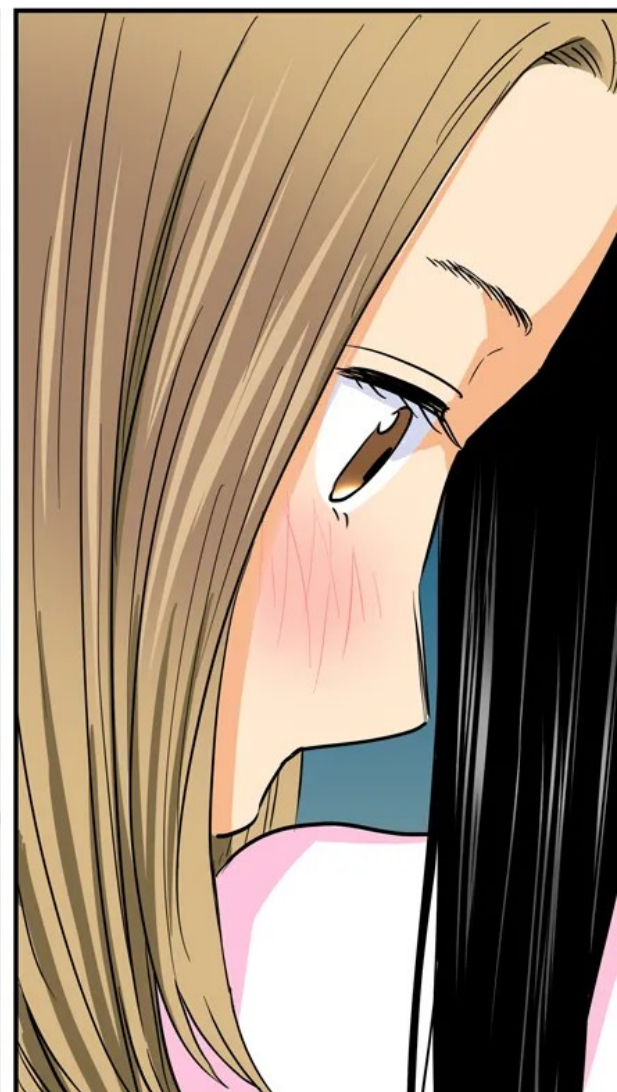
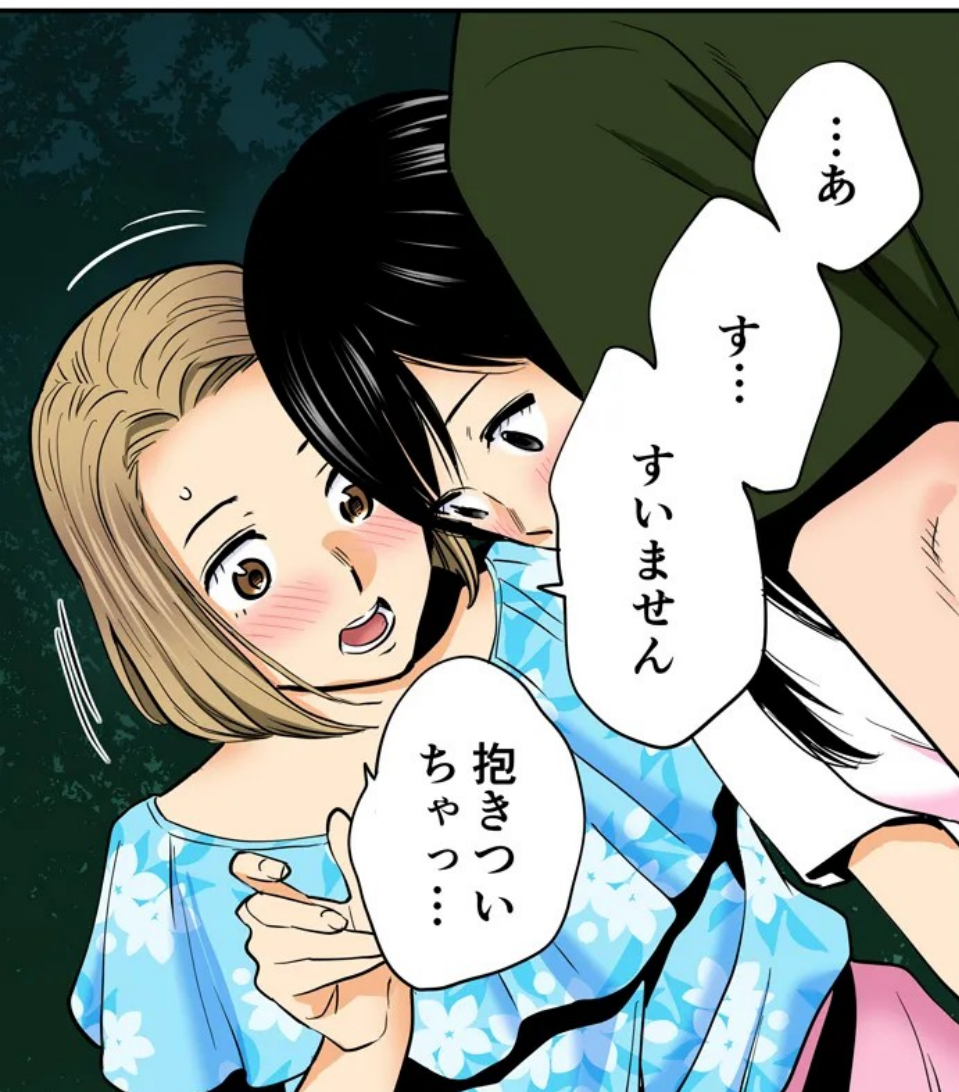
ガッ
ガッ

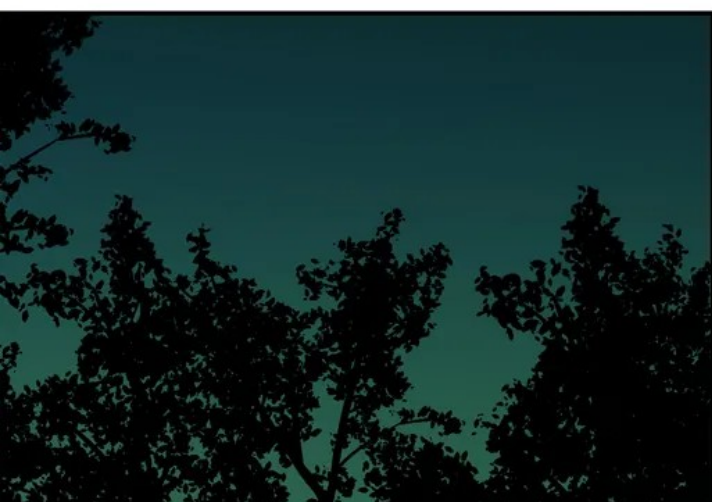
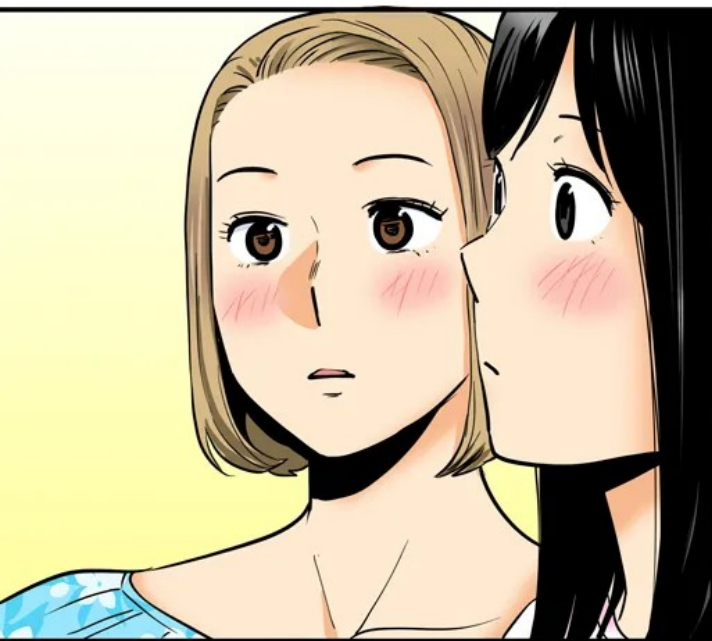


帰りたーい

タヌキー?
もーやあ

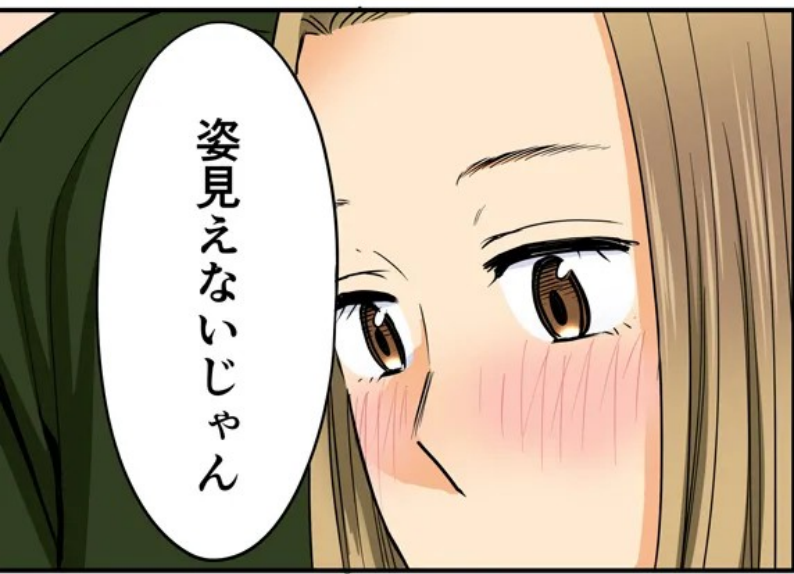
???







てかアイツら
早いよね

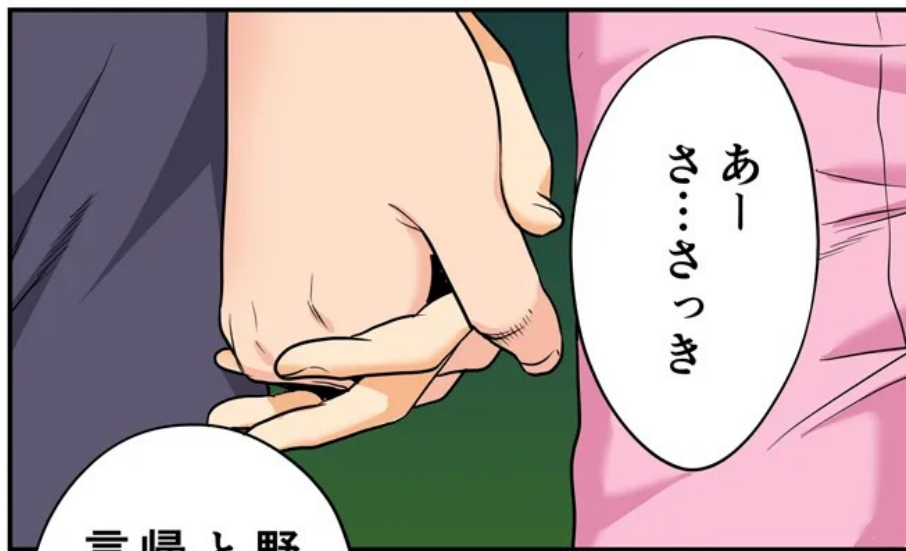


姿見えないじゃん



急いで行…
きゃあつ!!

ガサガサ



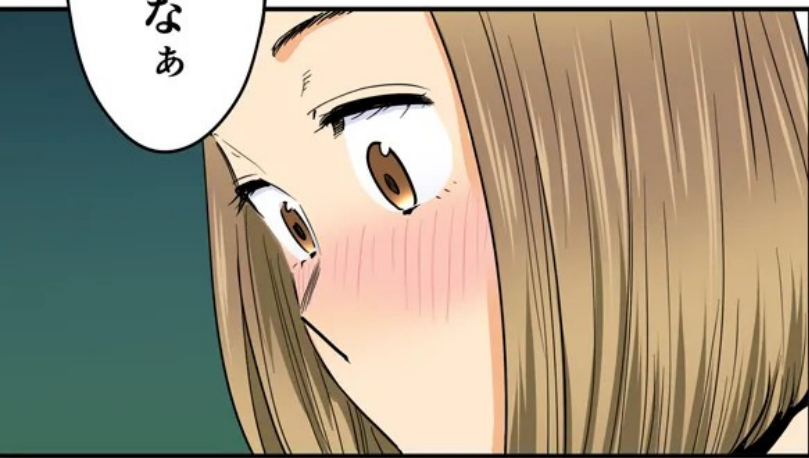
あー
あ…あ…あ

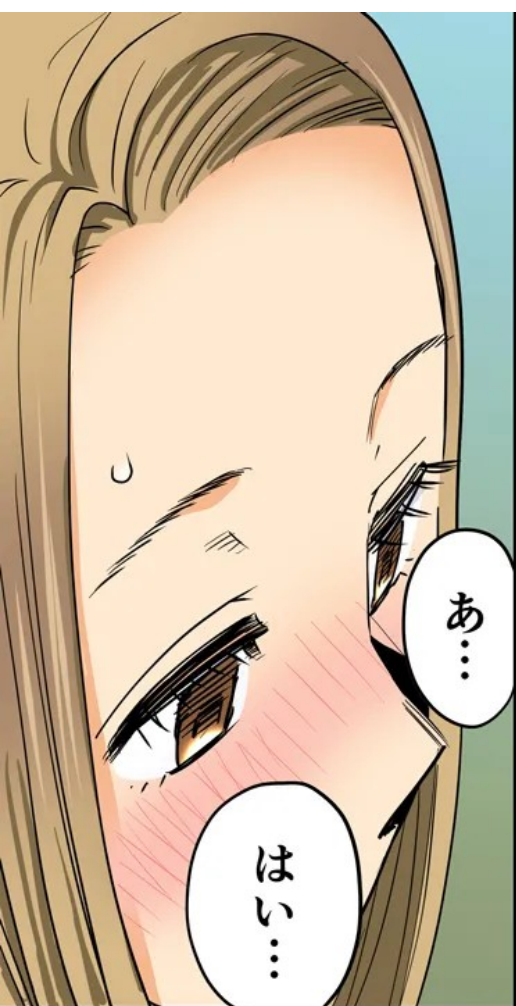


野村さんが
とっとと行って
帰ろーって
言ってたから



動物多いなあ





はい…

あ…



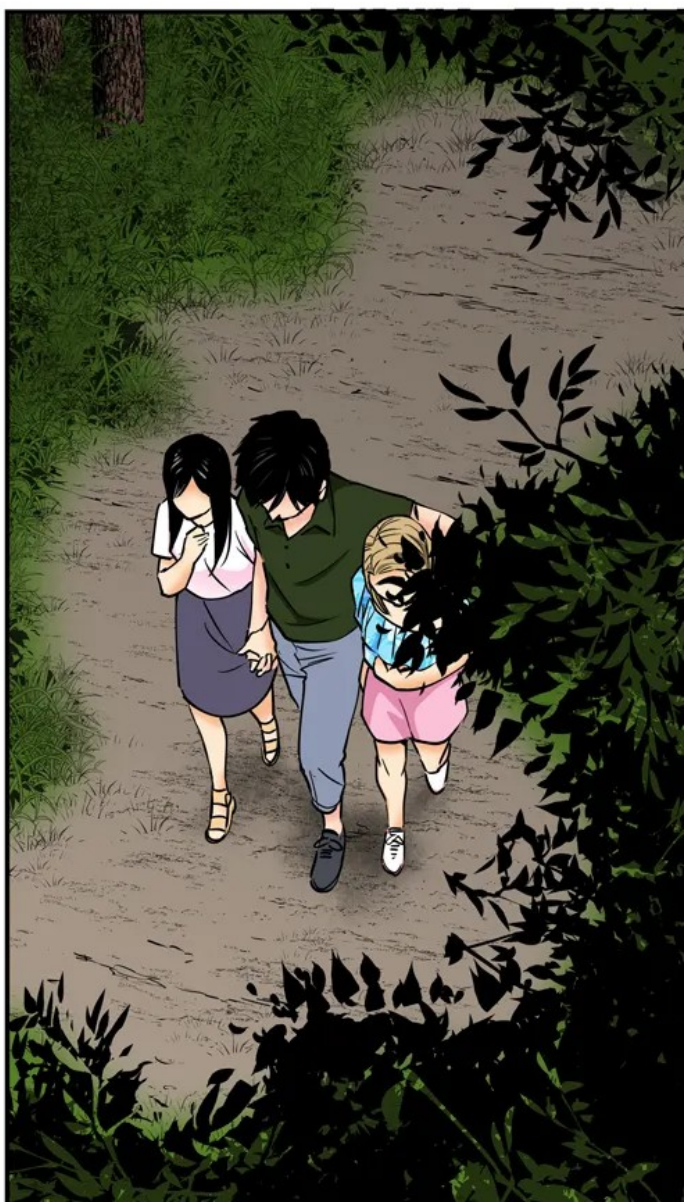
それじゃ

進もうか



もうちょっとで奥の家に着くよ

あいつらそこで待ってんのかな



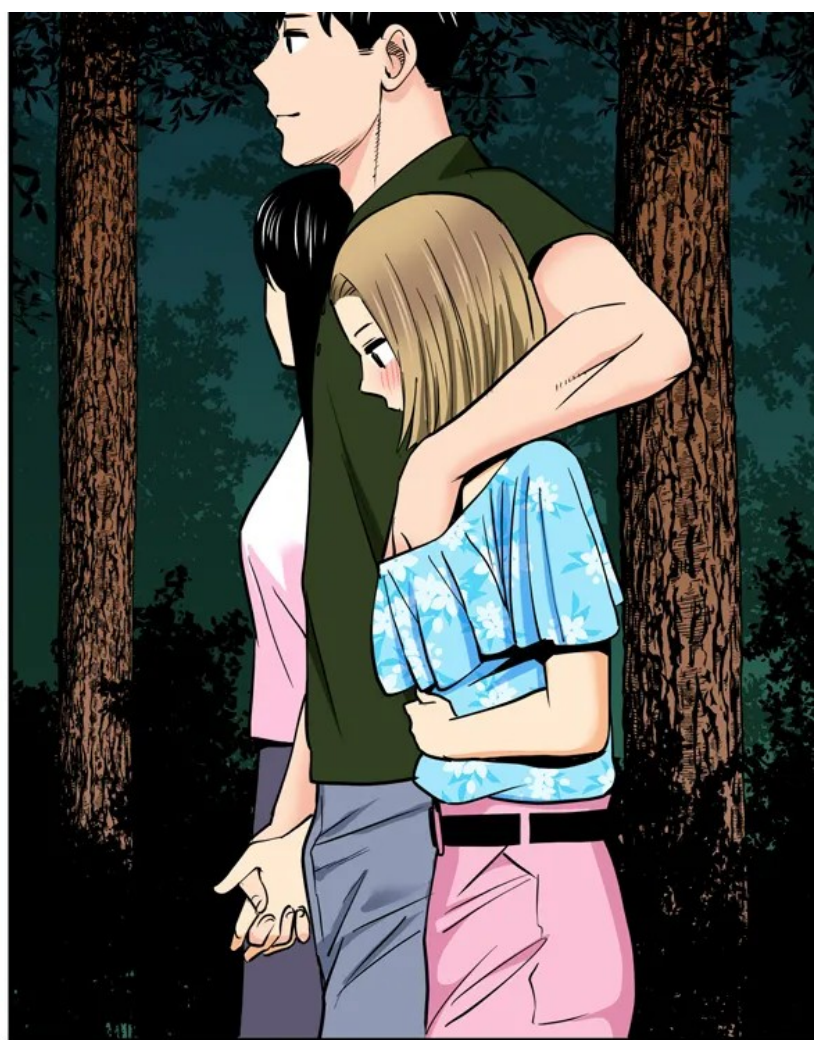


そーいえば
その家の中に
鏡があつて

あ…

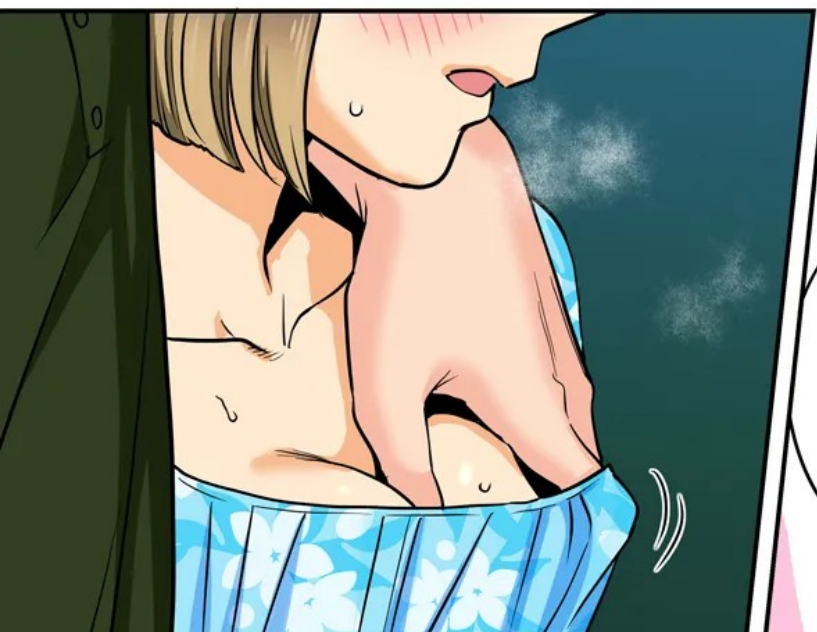
はあ…

そこに
その死んだ女の人が
映るんだって



えー？里帆ちゃんは
意外と行けそうな
感じするけどなあ

全然…



入ってみたい？

いえ
そんな

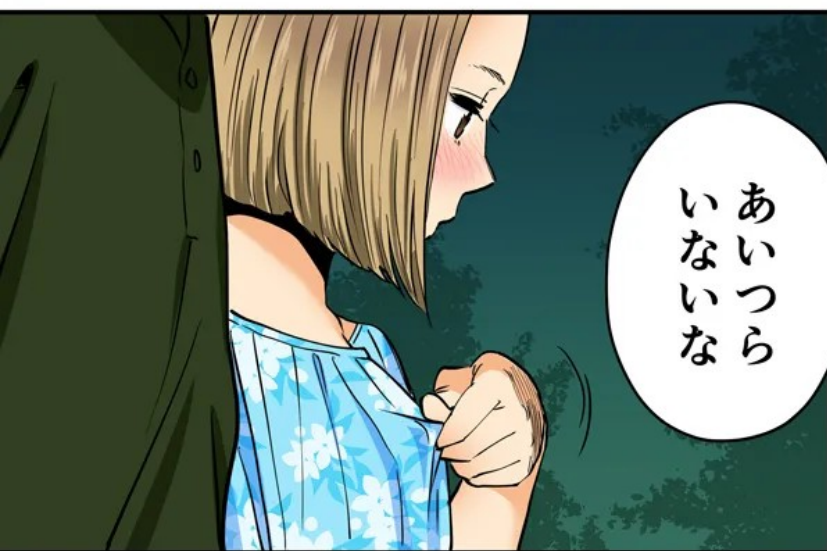
絶対
無理です



うわー
やっぱ不気味だな



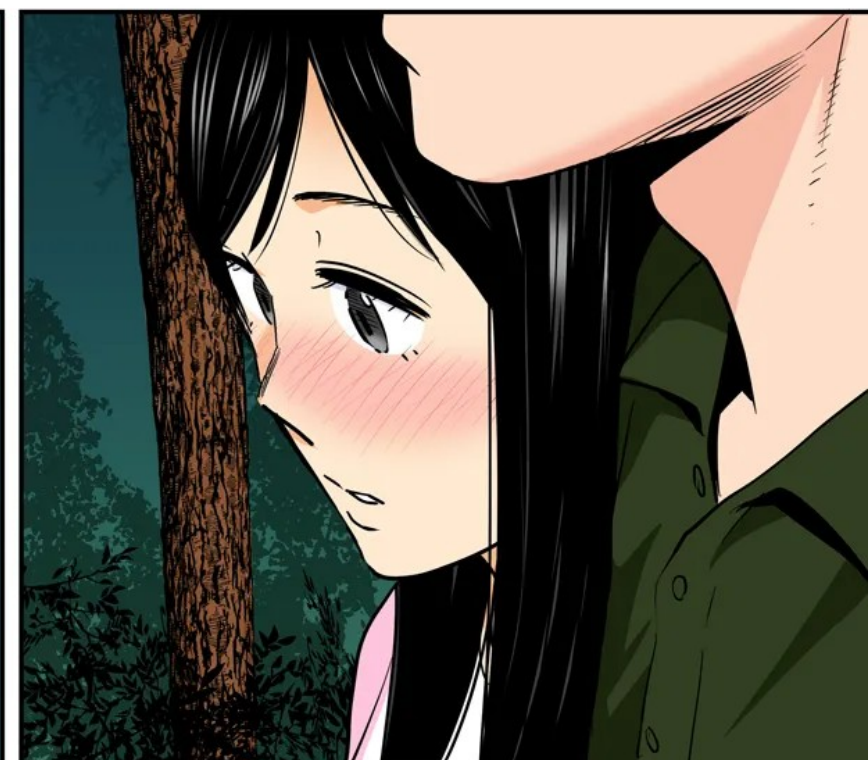
あ
着いたよ

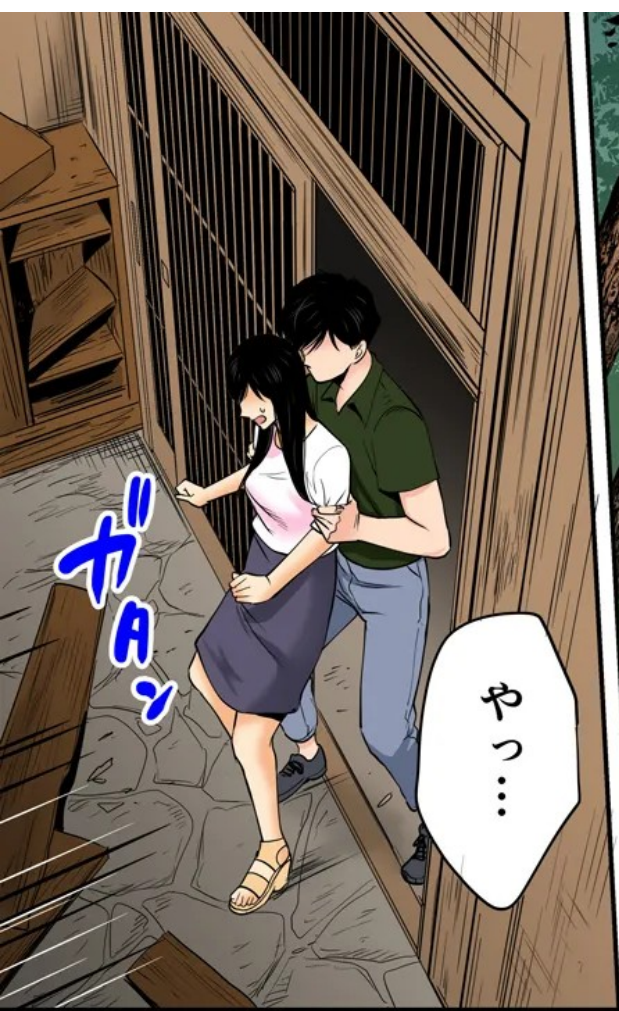


あいつら
いないな



あれ？





ガァン

やつ…

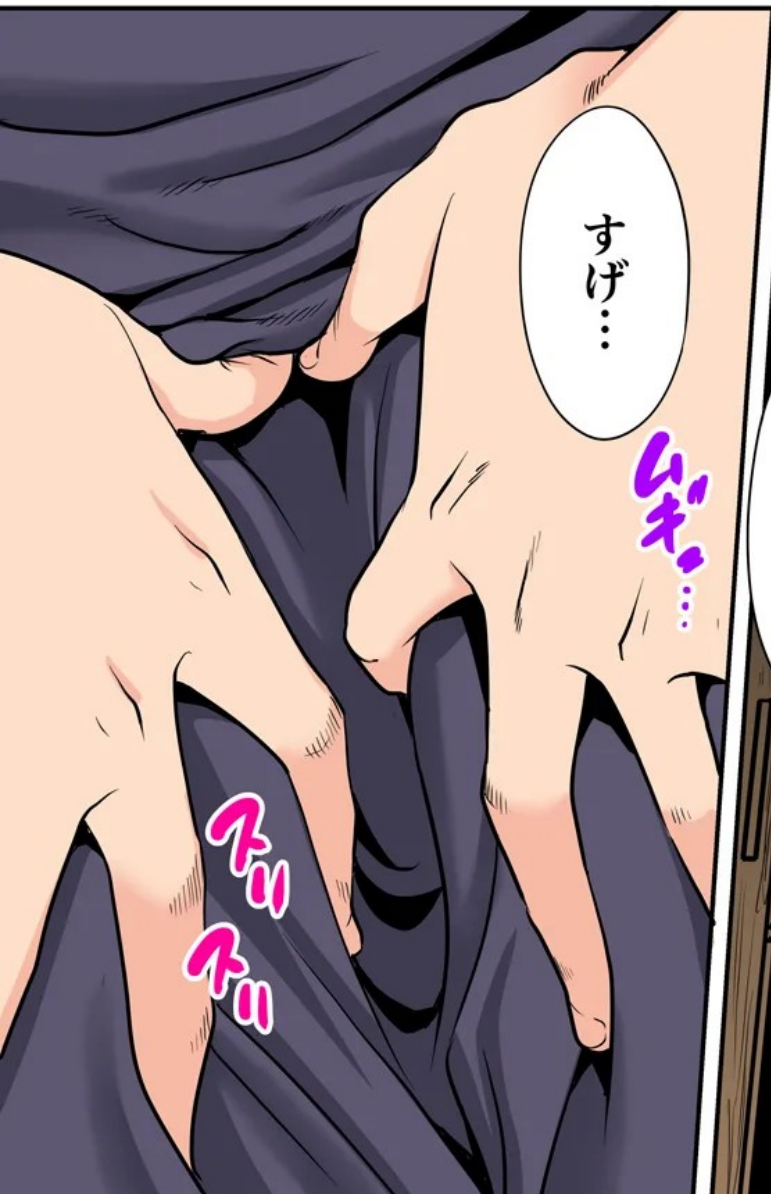


おい!

えっ?!

よし

じゃあ
入ってみよう



すげ…

いぎ…

フッ
フッ

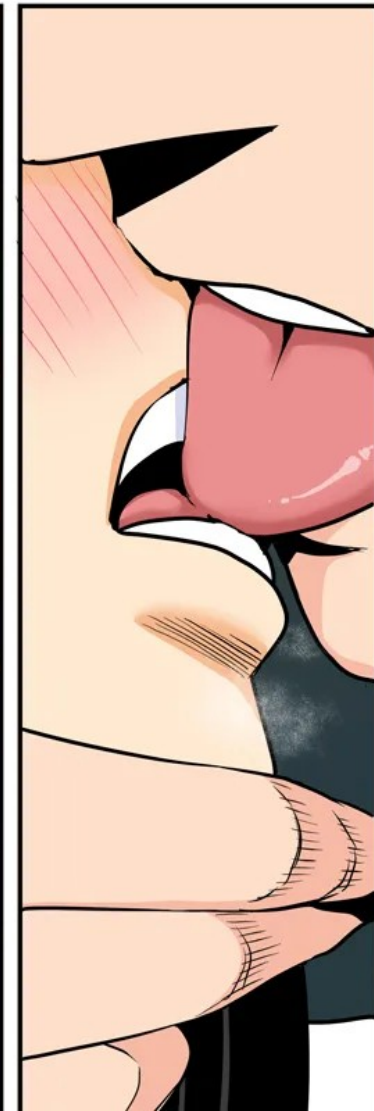


うわ

見て

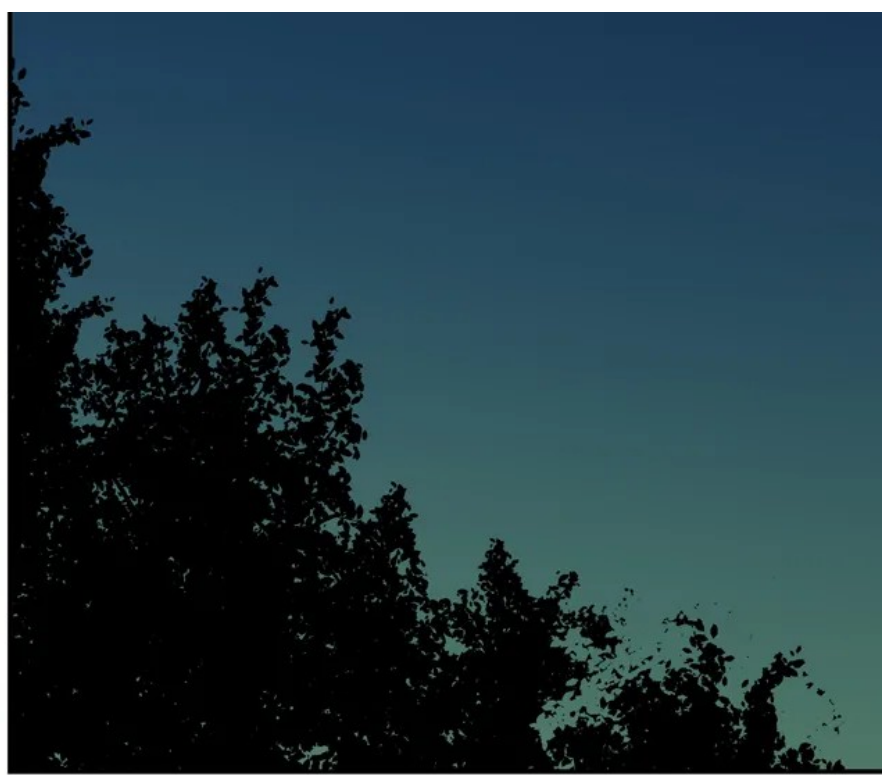
真っ暗だね

フッ
フッ





出た出た
出た出た
出たぜ



なにが？

女だよ

鏡の中に
すうーって

ヤベー俺
見ちゃった

取り憑いて
ねーだろーな

……



アンナちゃんも
見たの？

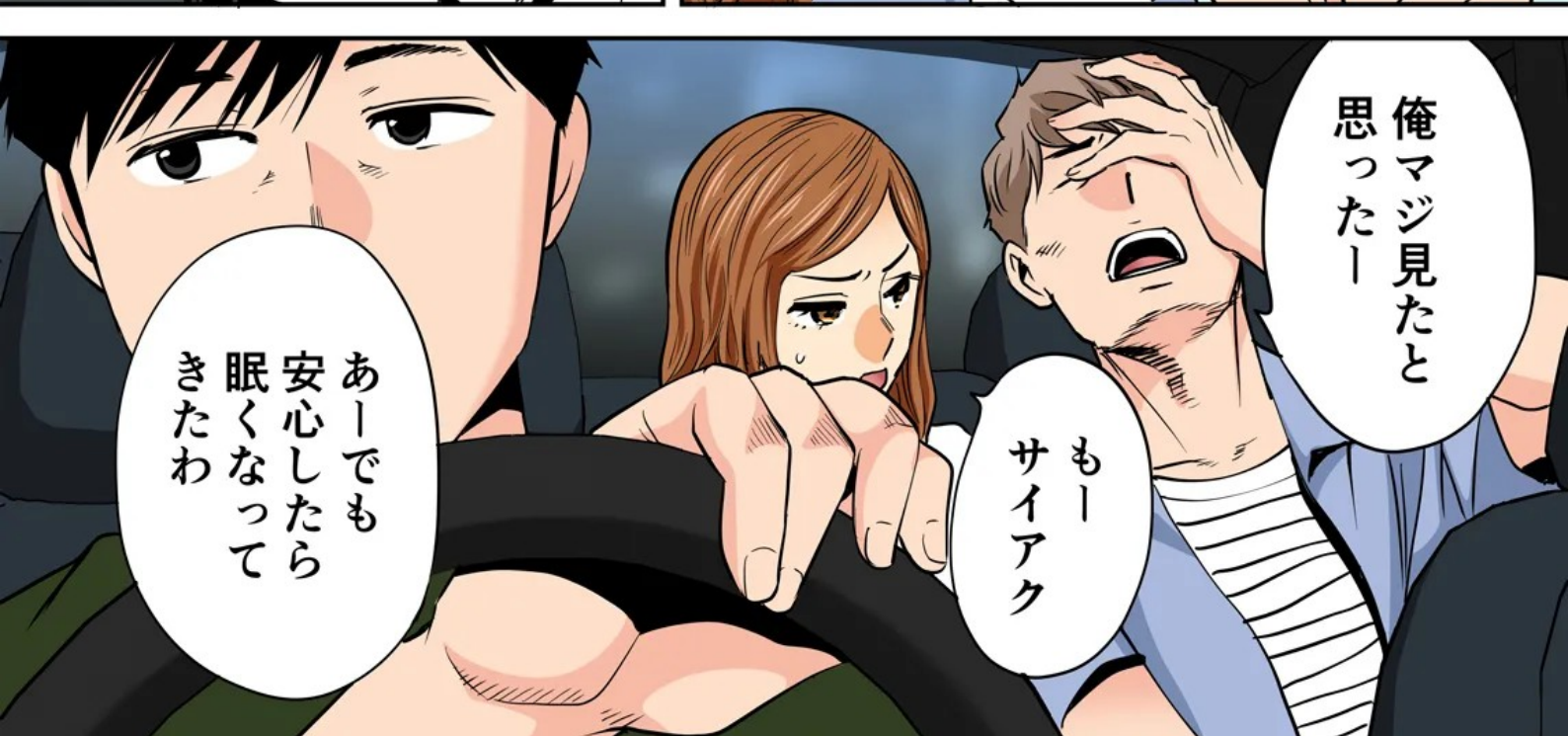
え？いや
アタシは
見てないけど

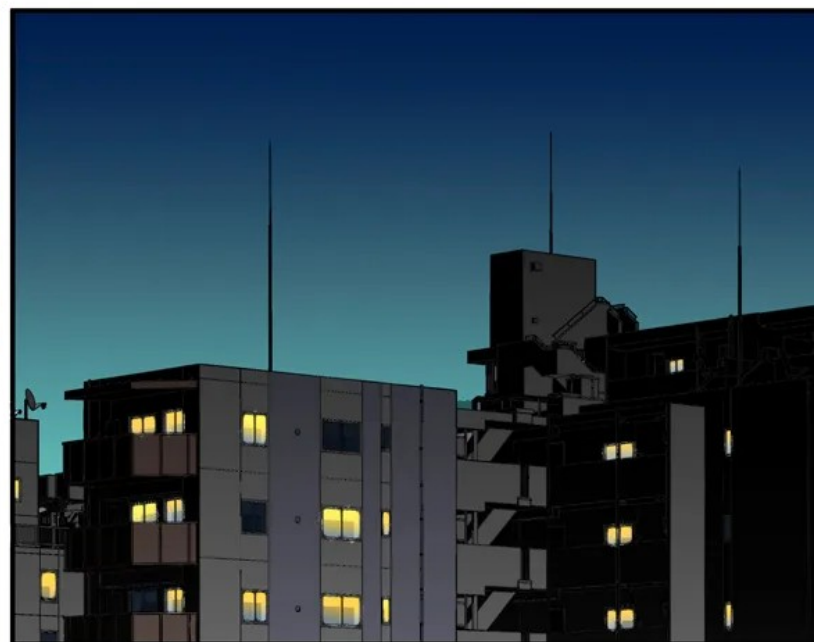
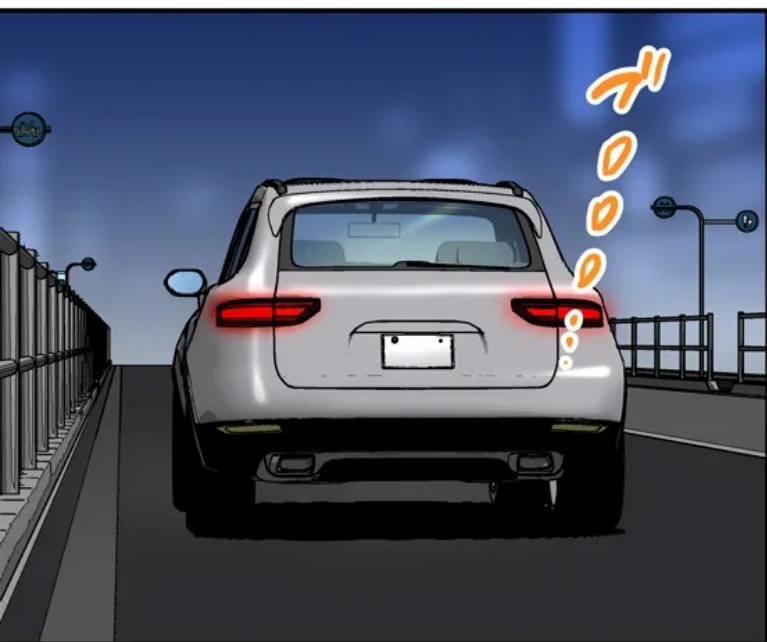
トシ君が
めっちゃ大声
出すから

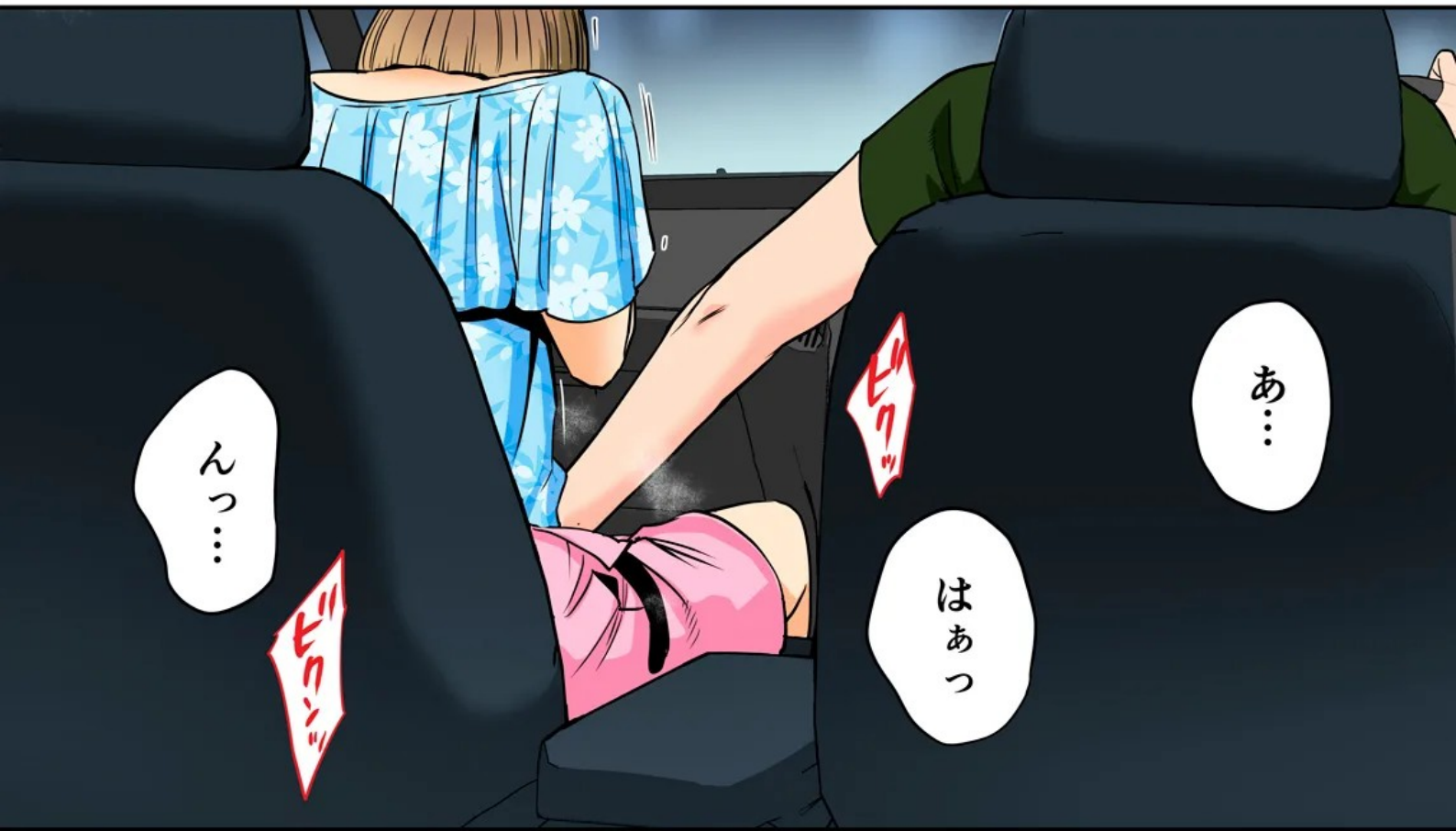
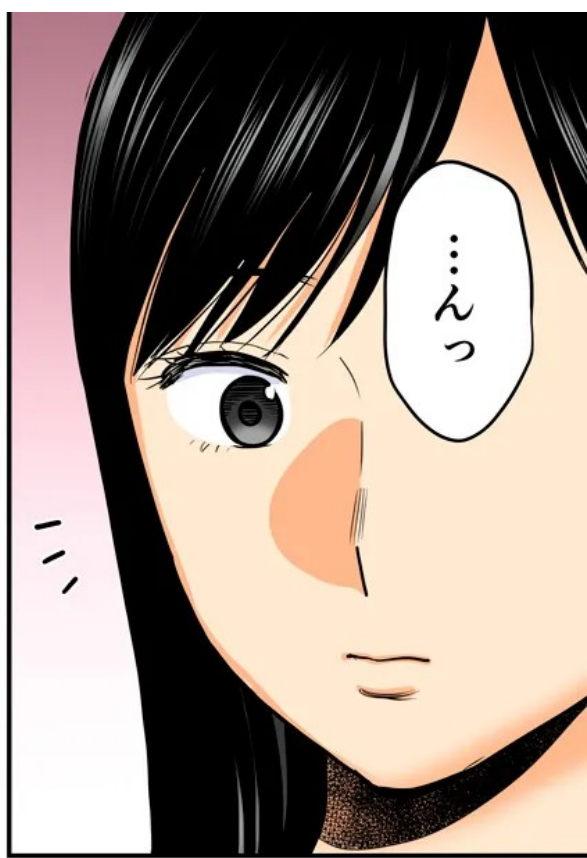
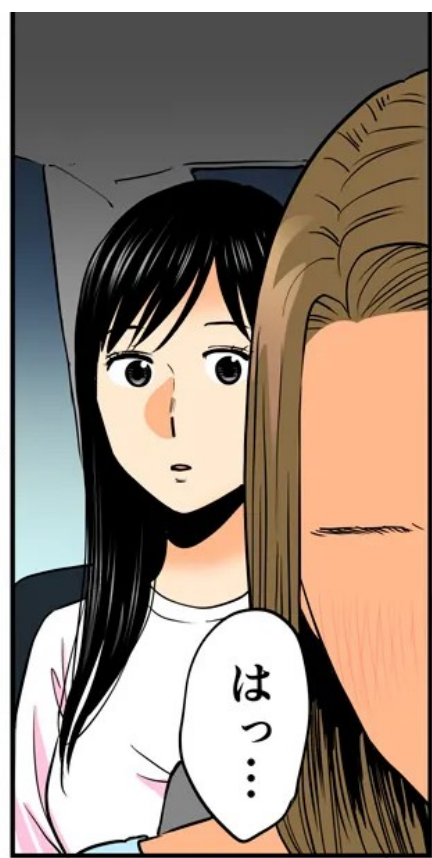
チョーびびってー

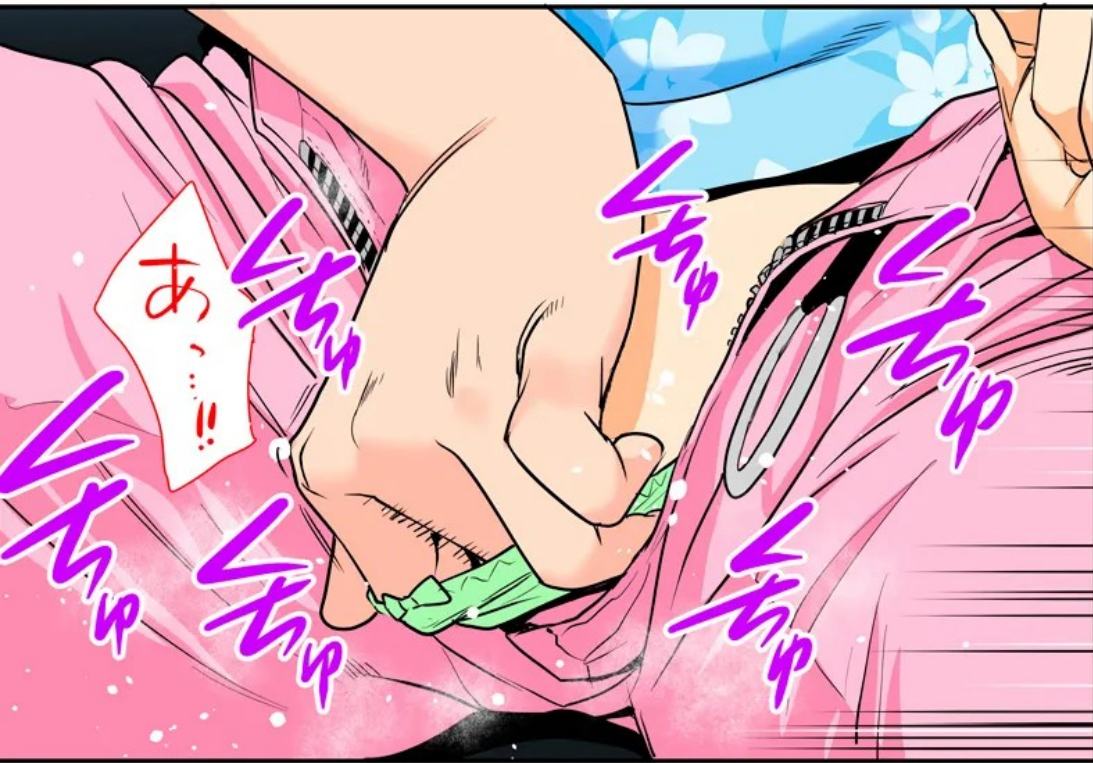
俊也

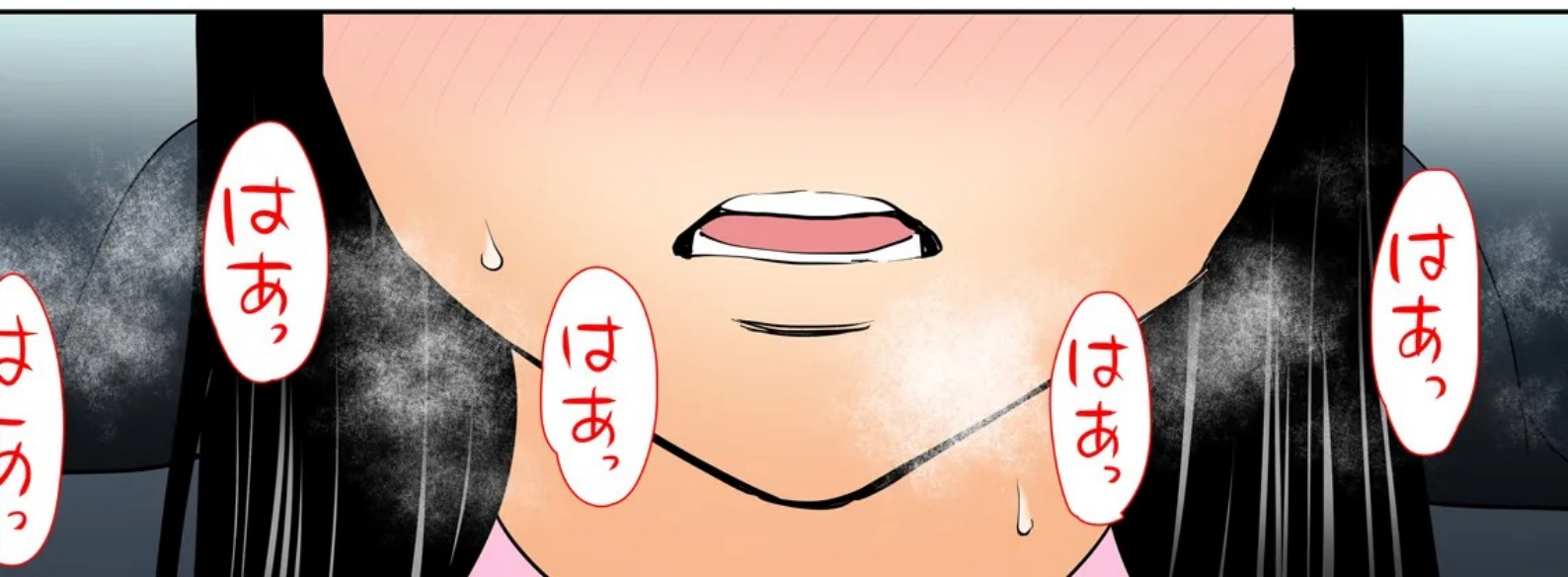
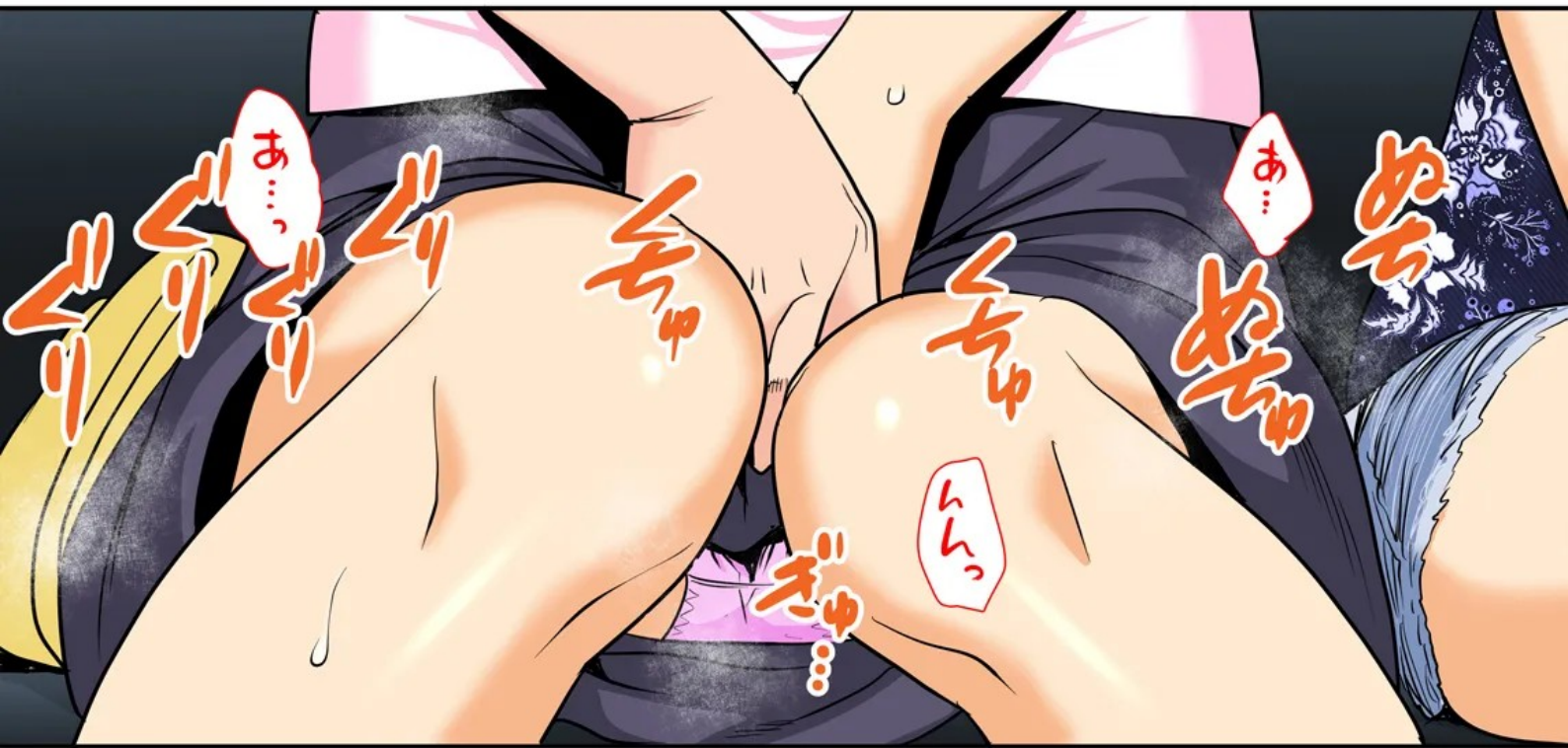
ん？

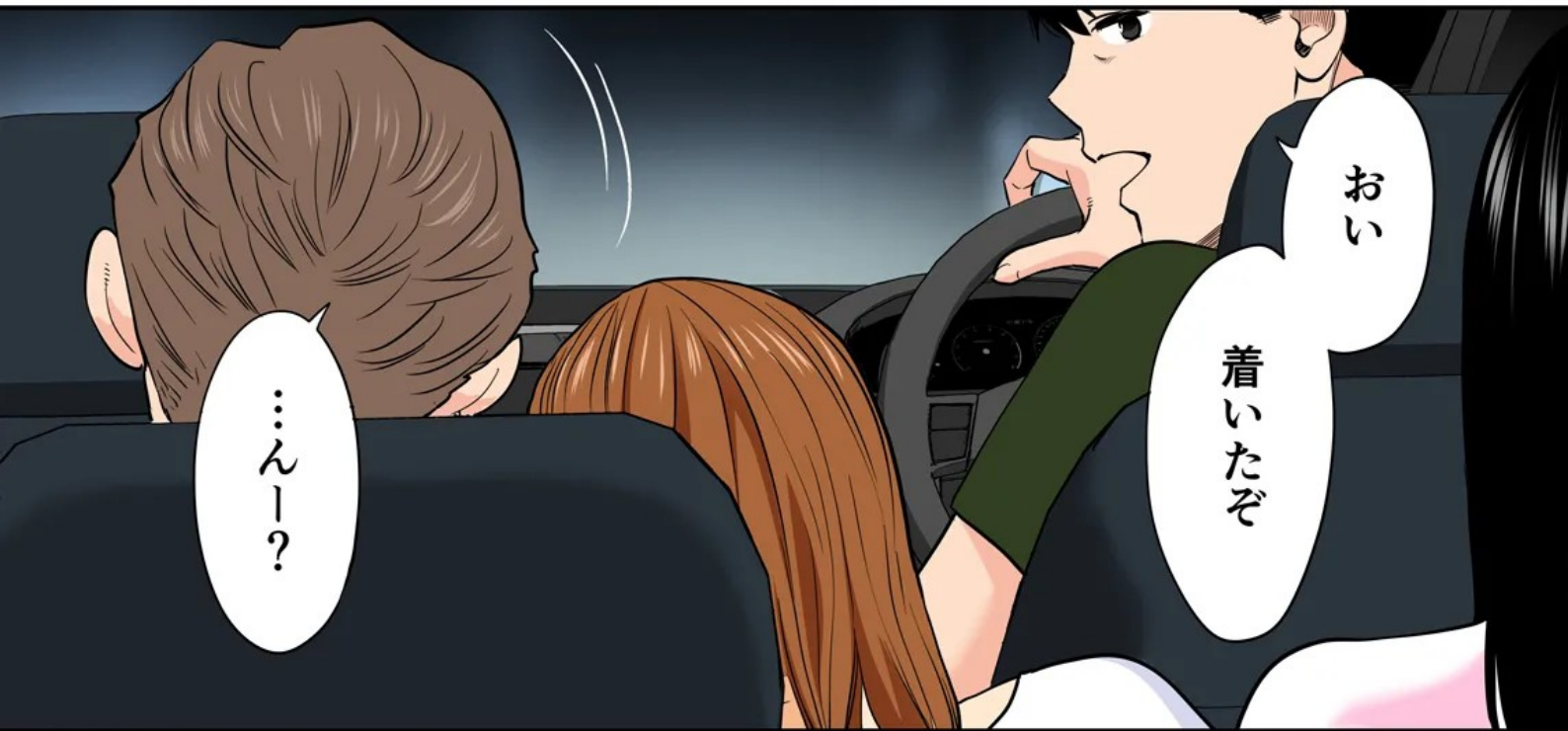
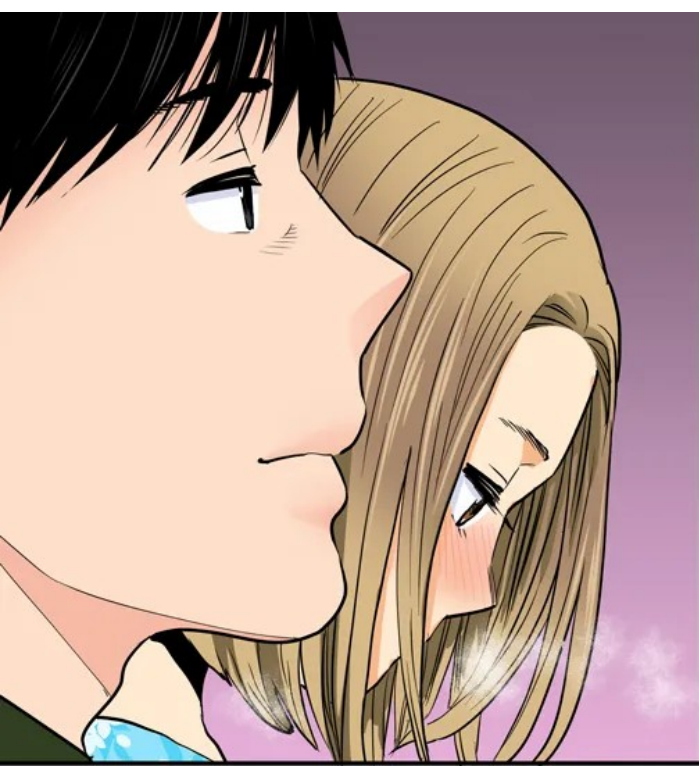












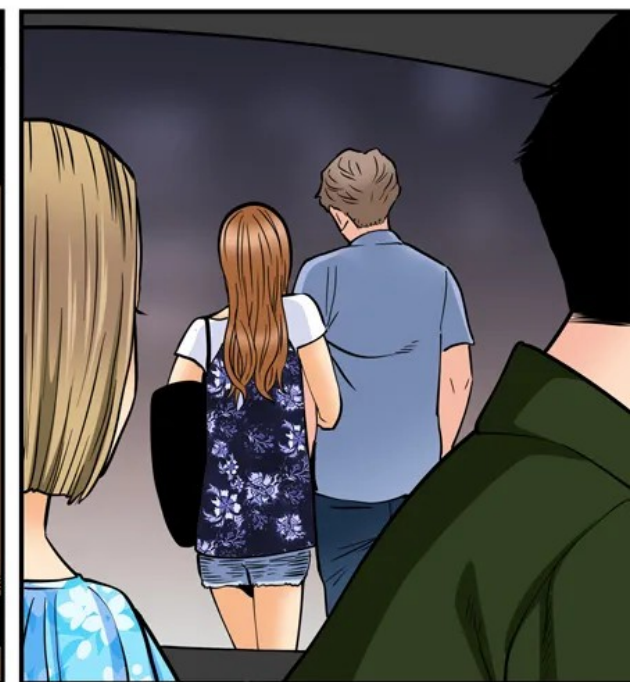
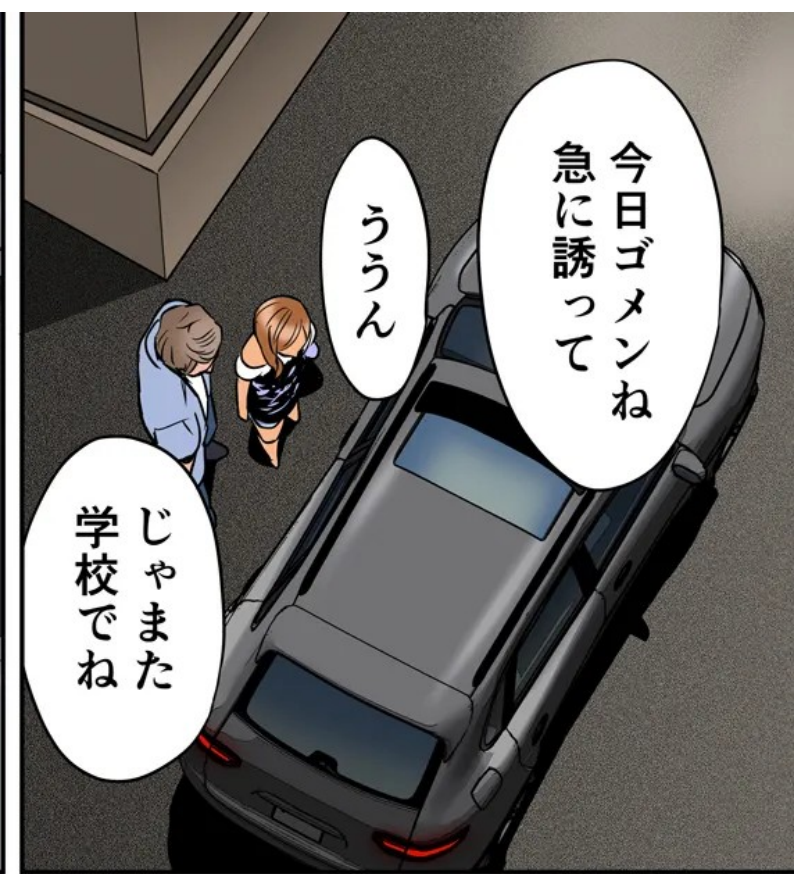
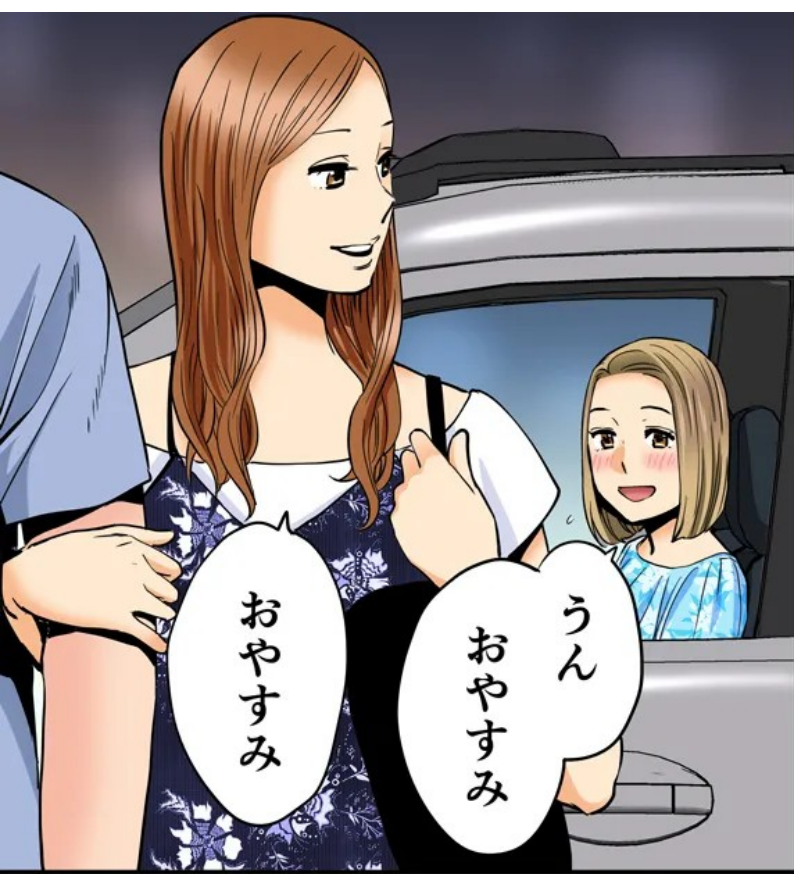
…んー？

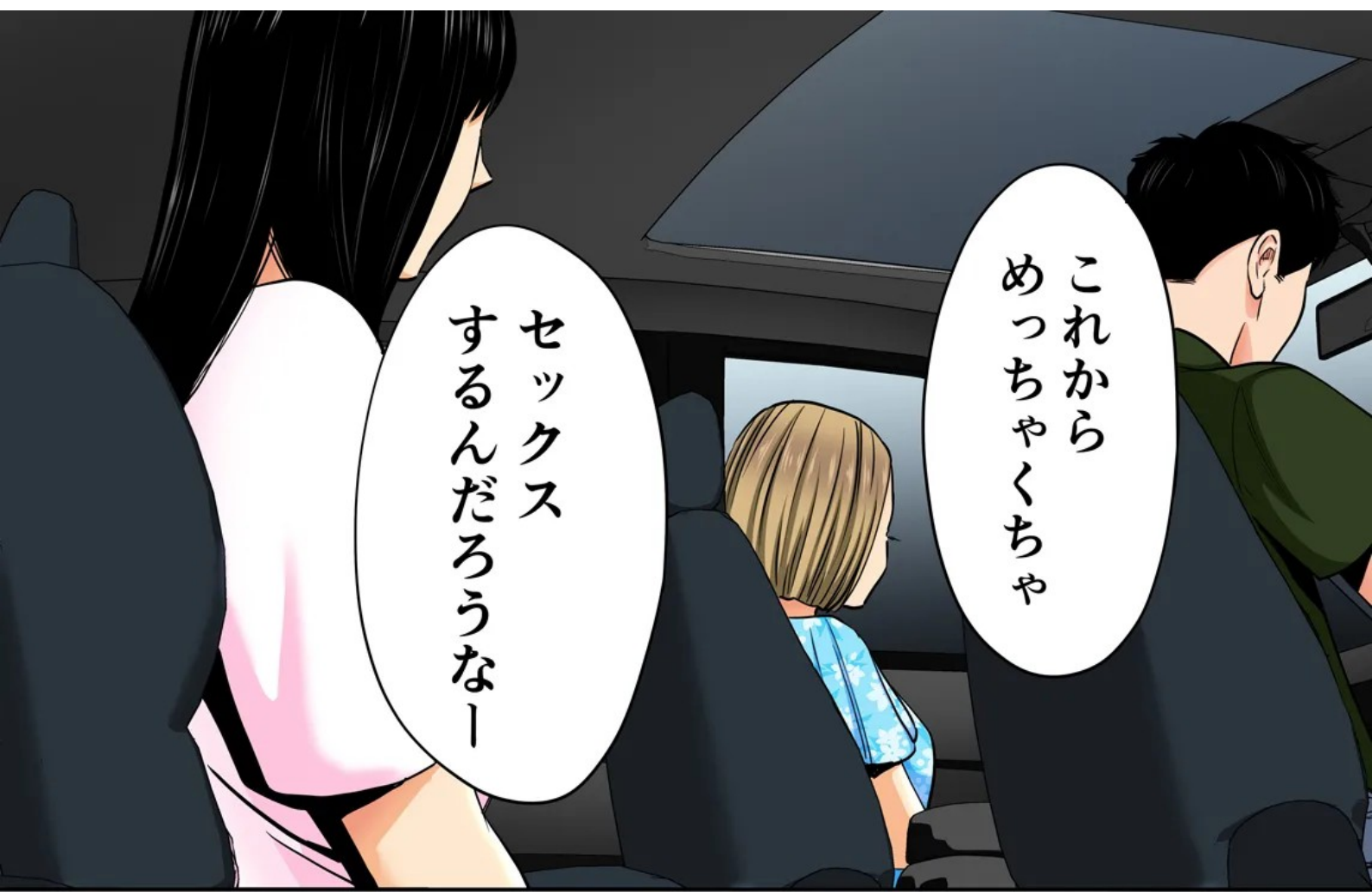
おい
着いたぞ



おー
わりー

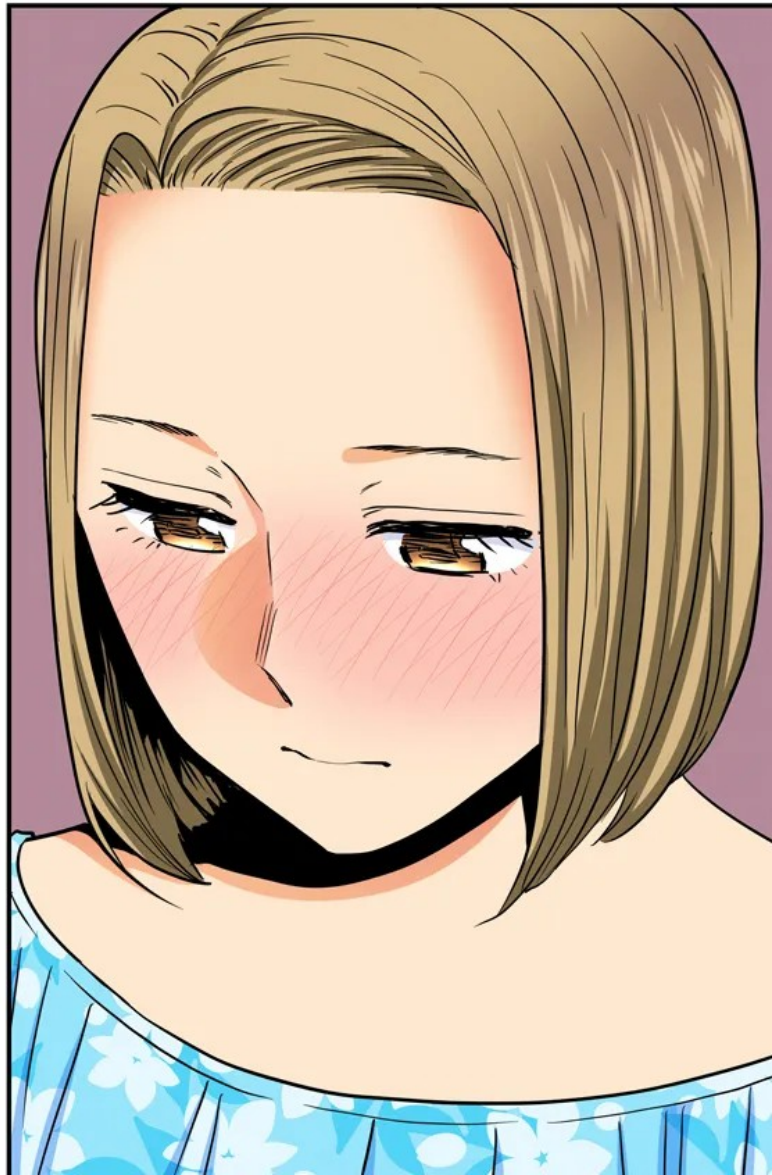
さんきゅー





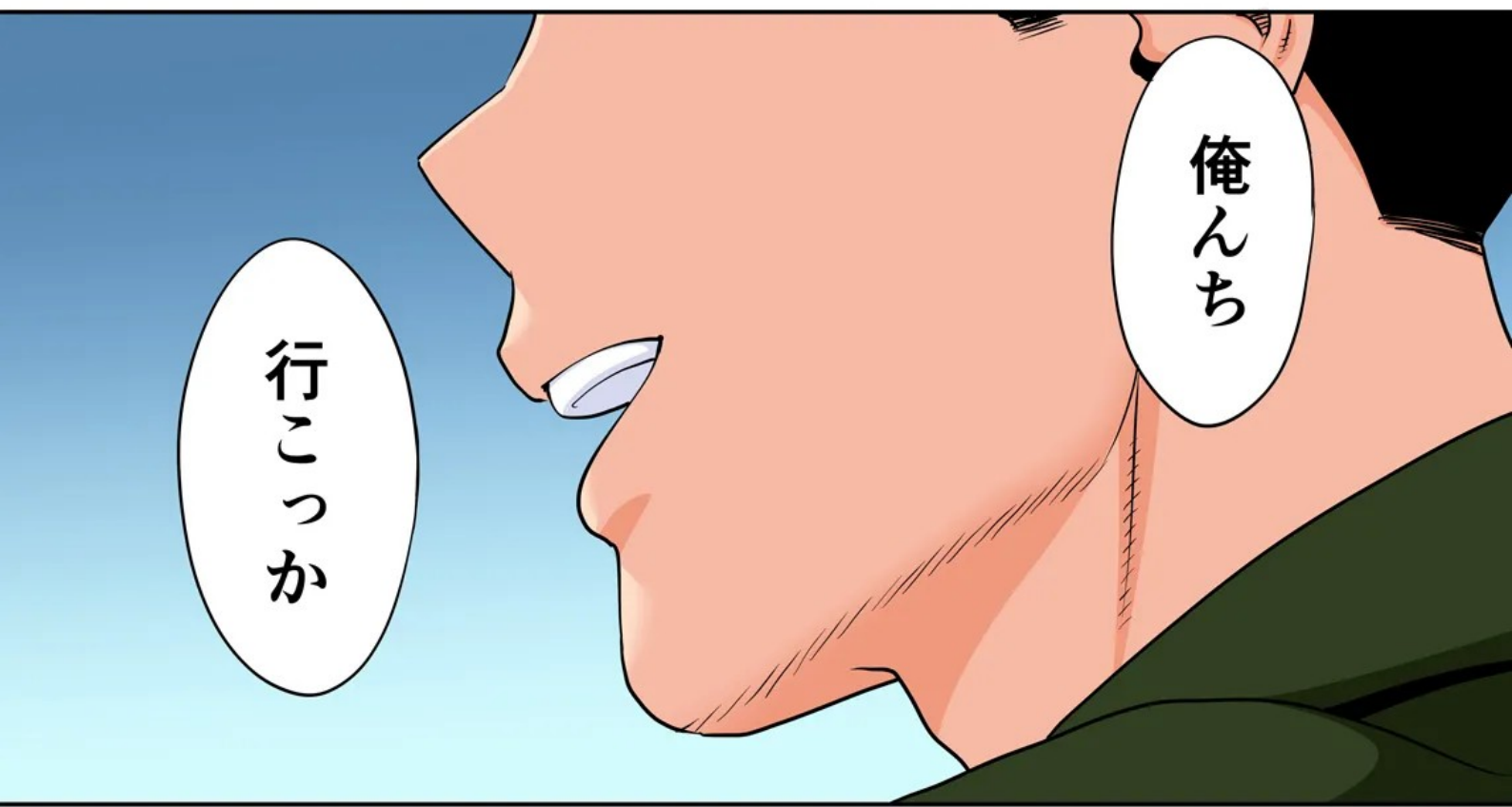
セックス
するんだらうなー

これから
めっちゃくちや





…じゃ



俺んち

行こっか



ガ
ッ



うん

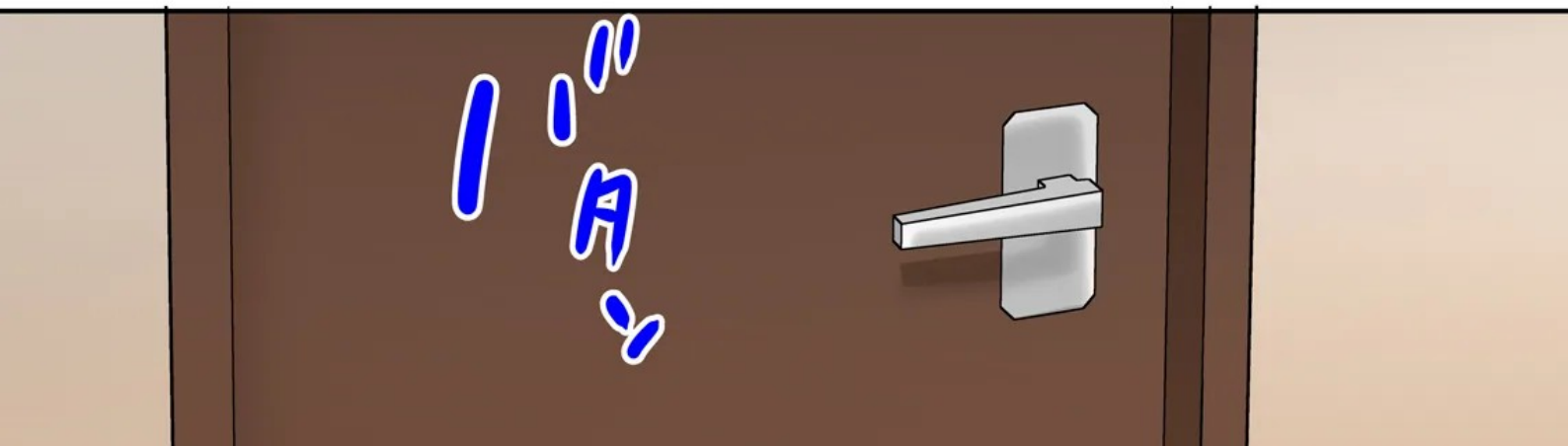
まだ起きてたの

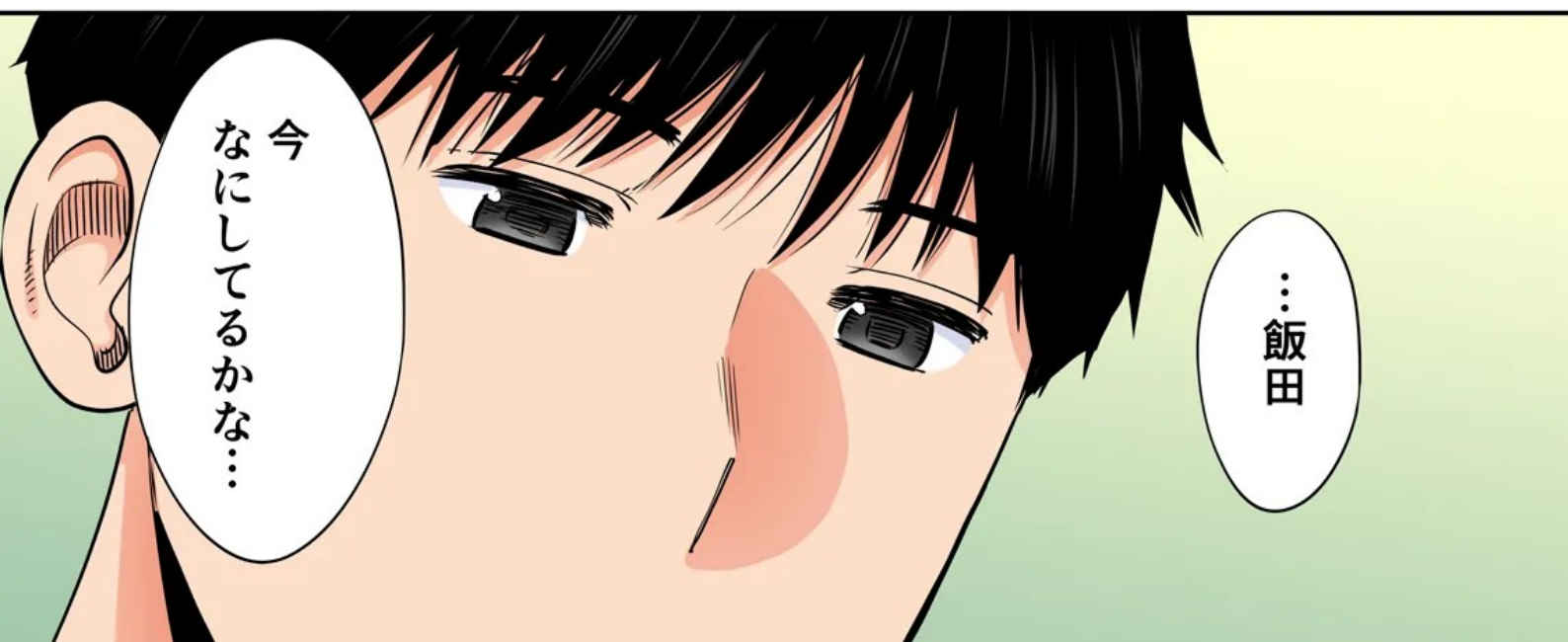
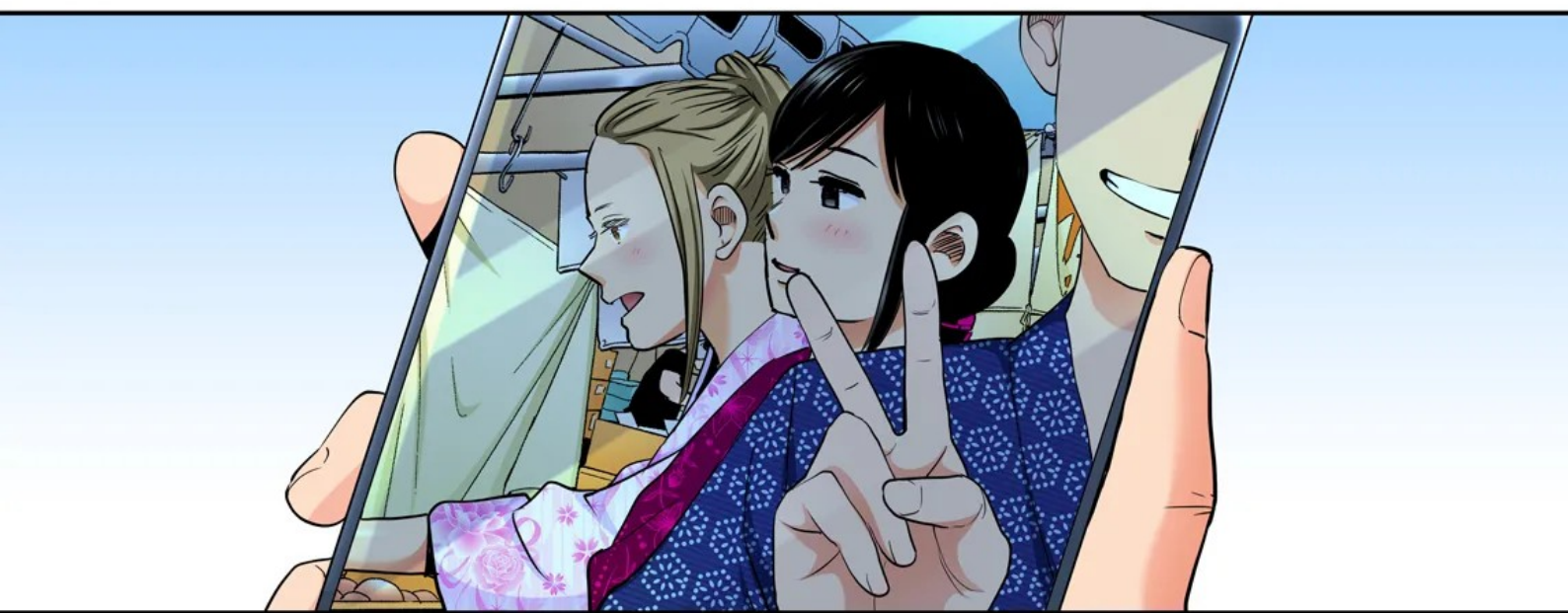
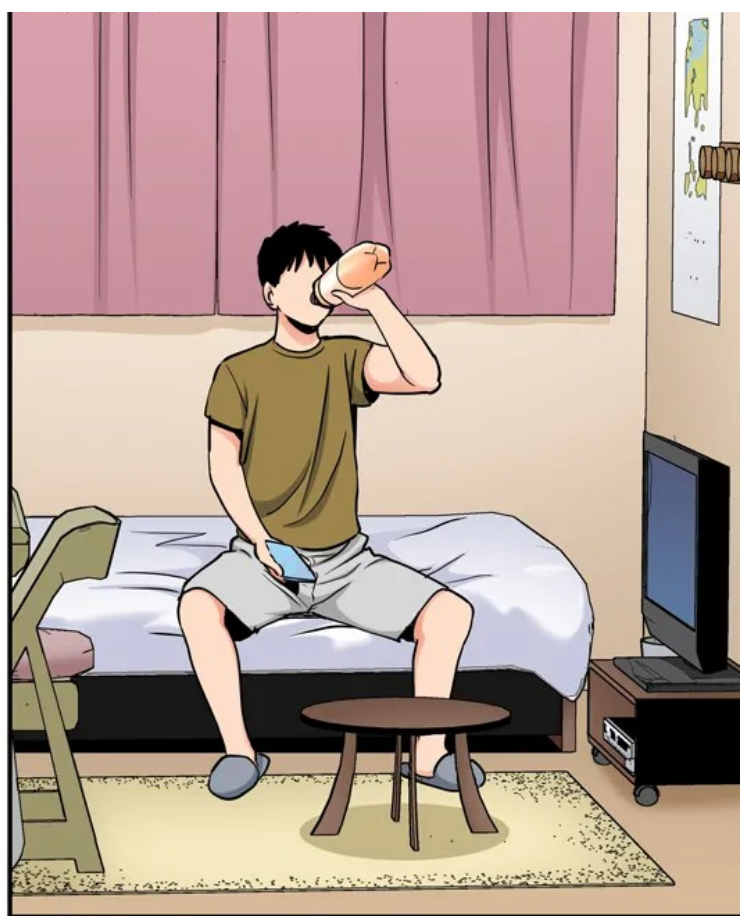
あれ高成

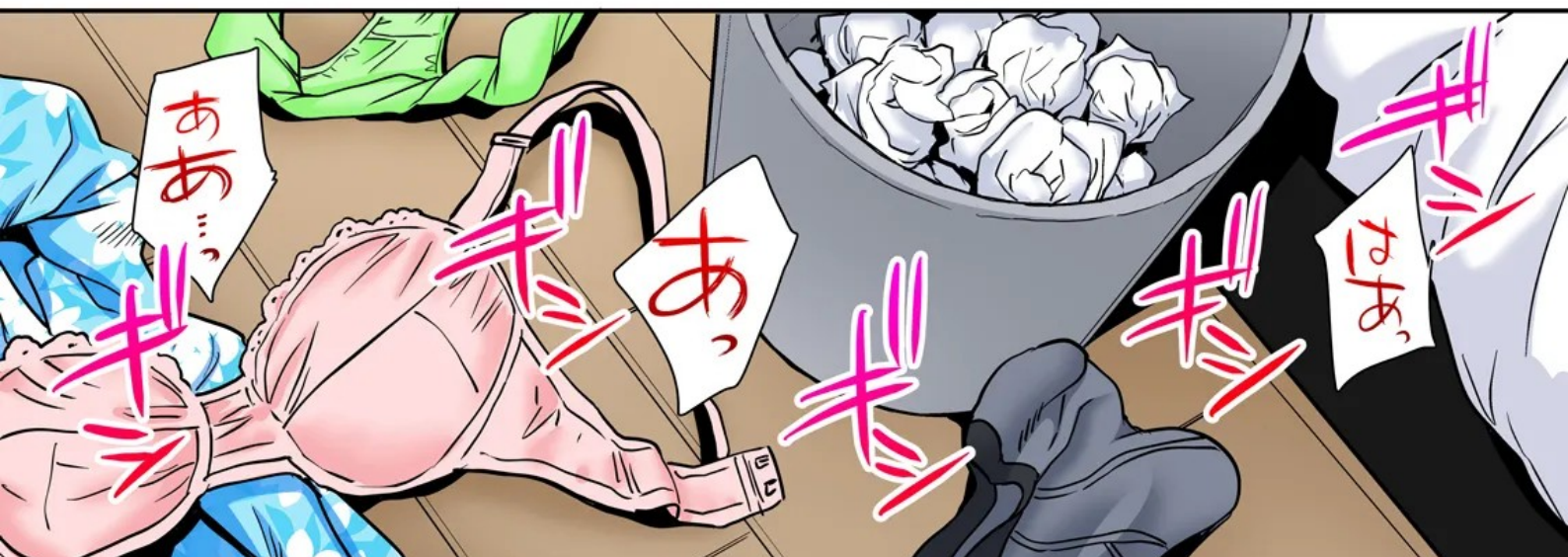


はい

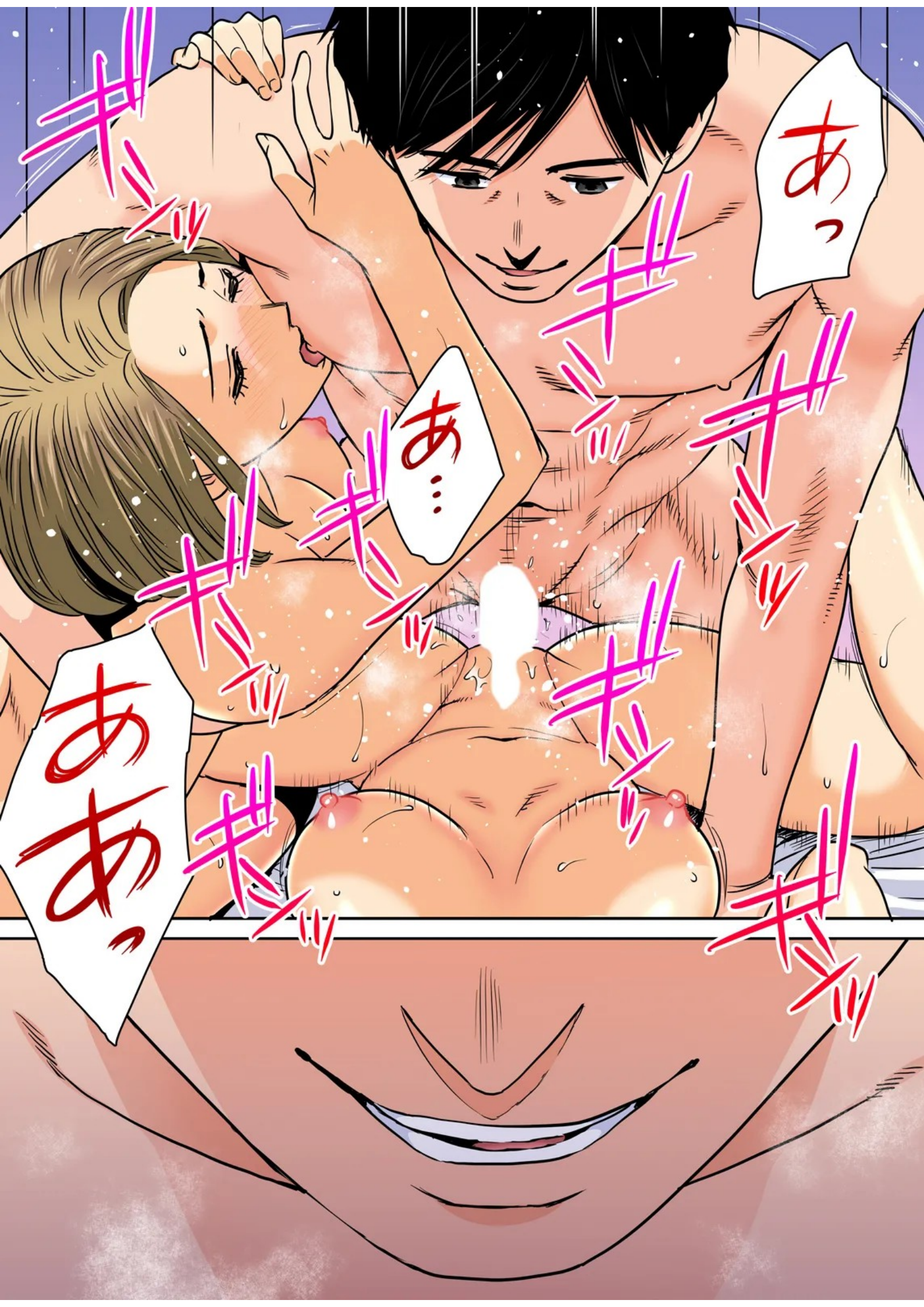
夏休みだからって
あんまり夜更かし
しちゃだめよ

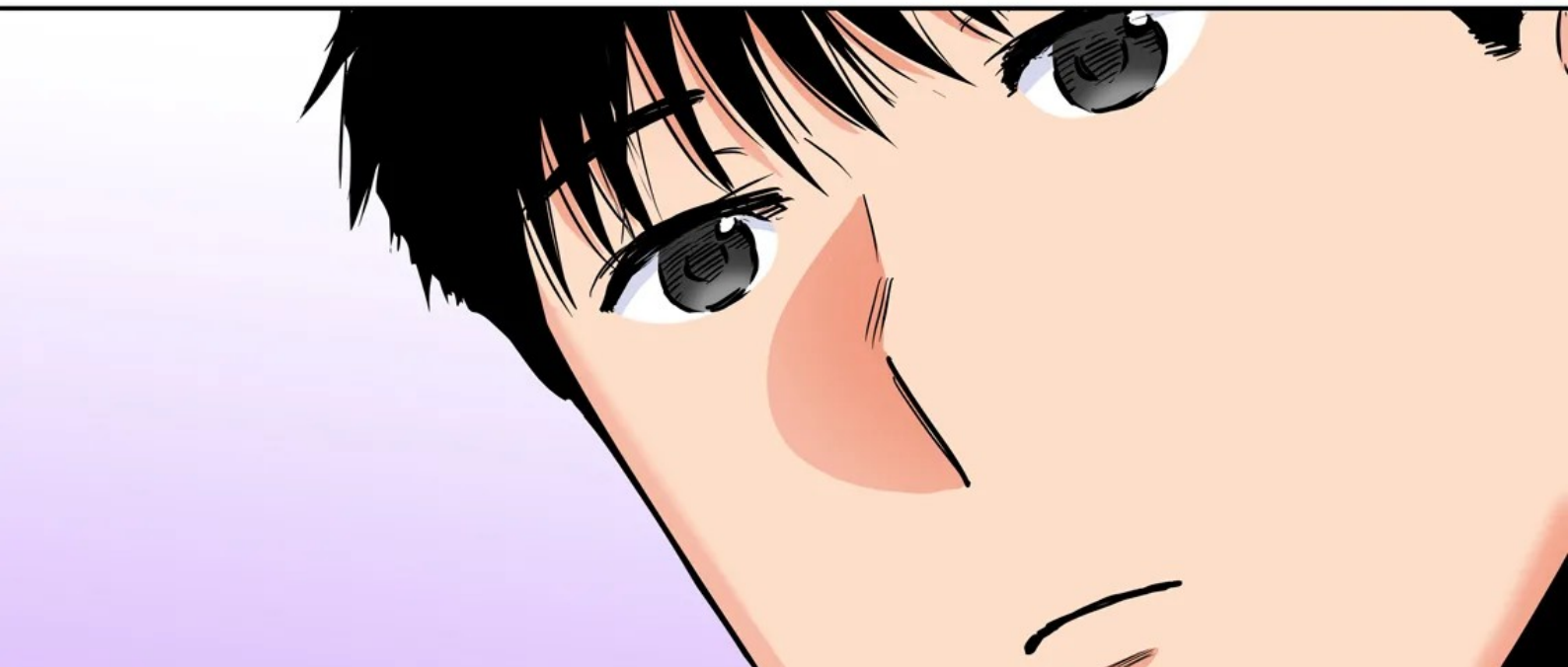
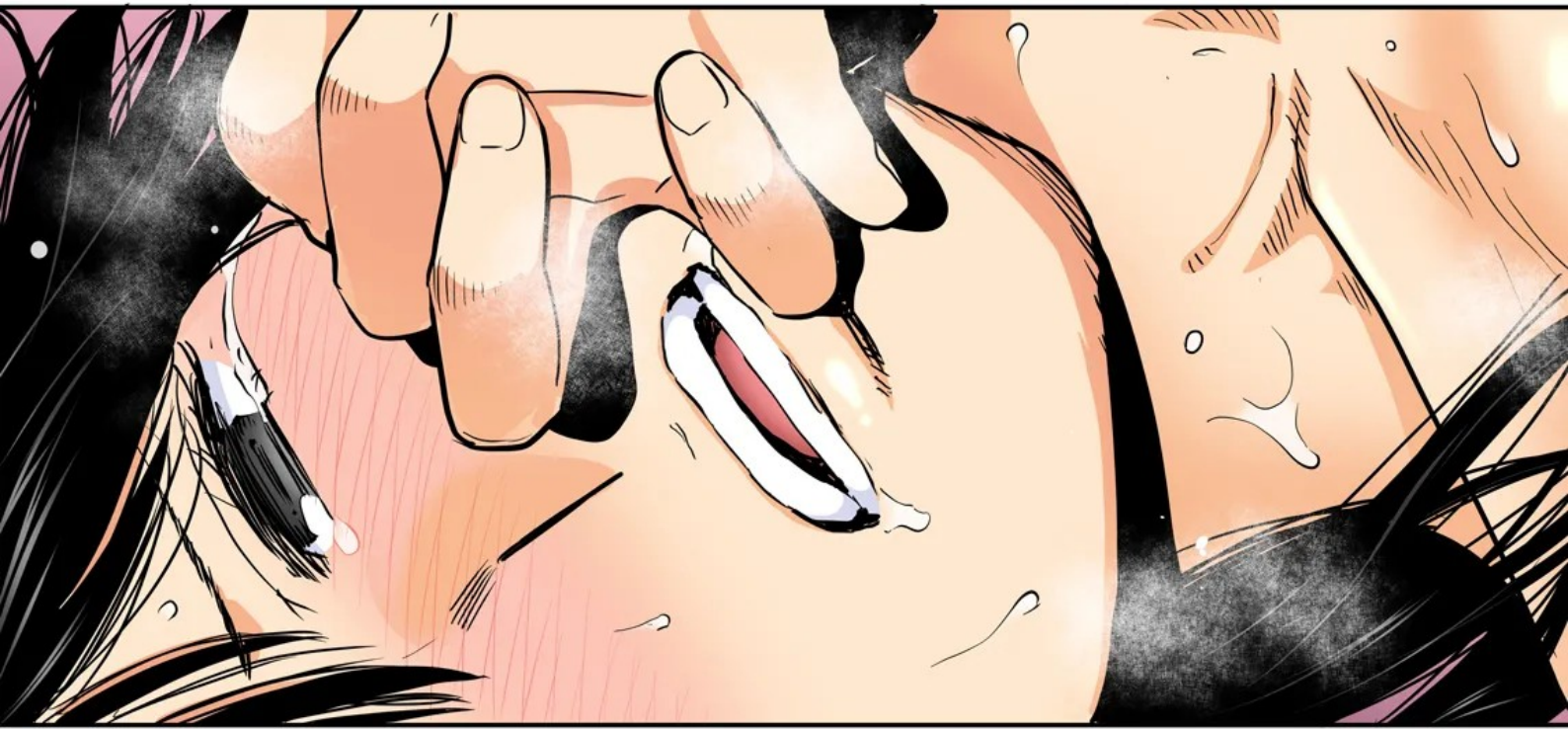
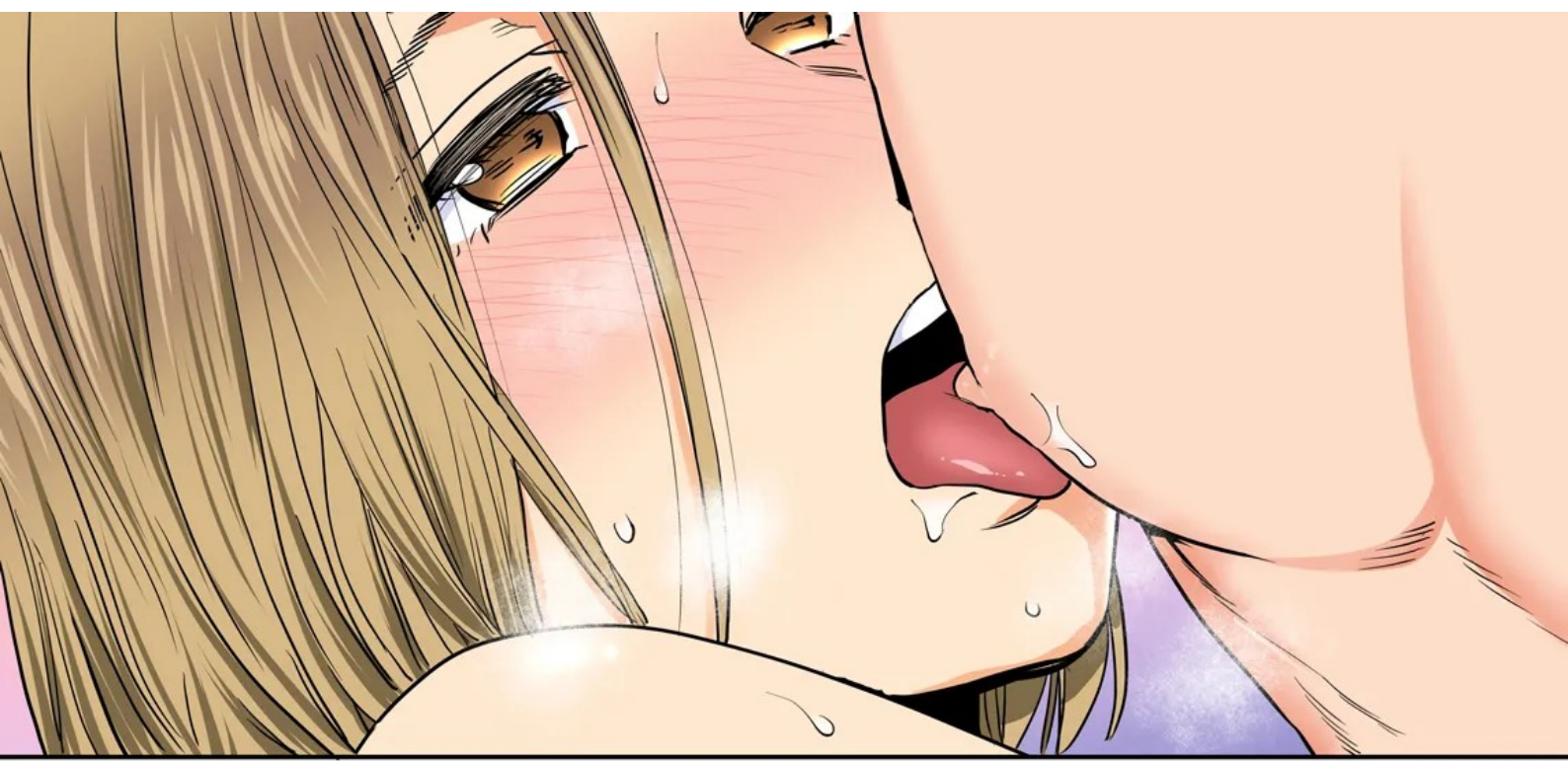












カラミざかり ②後編

著 者 桂あいり
©Airi Katsura 2019

発 行 KATTS
発 売 KATTS

★この物語はフィクションであり、実在の人物・団体・事件などには一切関係がありません。
本書の無断複写・複製・転載を禁じます。